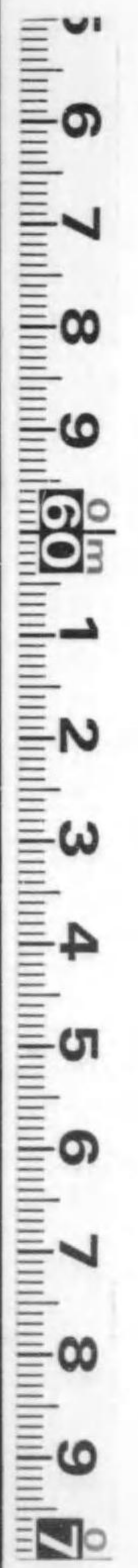


319
367



始



軍友協會編

本基

戰術講授錄

全

東京 一二三館發行

大正
5. 5. 17
内交



緒言

本書ハ有志將校諸君ノ爲メ講述セラレタル
部分ヲ參考ニ適當ナリト思考セシモノ若干
ヲ撰擇シ之ヲ多少秩序的ニ蒐輯シテ發行セ
シモノナリ是ヲ以テ帝國有爲ノ青年將校諸
君之戰術的能力ヲ増補スル事ヲ得バ編者ノ
望ミハ足レリ

大正五年五月

編者識

本基
戰術講授錄目次

第一編

第一章 戰畧ト戰術	一
第二章 戰術隊形沿革ノ概要	三
第一節 上古	四
第二節 中古	一〇
第三節 火藥採用ヨリ佛國革命戰ニ至ル	一一
第四節 佛國革命戰ヨリ現今ニ至ル	一七
第二編	
第一章 歩兵ノ戰鬪	三〇
第一節 中隊	三〇

二

- 第二節 大隊.....三七
- 第三節 聯隊.....四三
- 第四節 旅團.....四九
- 第五節 密集隊形及散開隊形效用.....五五
- 第二章 騎兵戰鬪.....五六
- 第一節 騎兵ノ隊形.....五八
- 第二節 騎兵ニ對スル乘馬戰.....六四
- 第三節 騎砲兵.....七七
- 第四節 機關銃.....七八
- 第五節 戰鬪斥候地形搜兵.....八一
- 第六節 徒步戰.....八一
- 第七節 騎兵ノ用法ト其戰法.....八七
- 第三章 砲兵ノ戰鬪.....九〇

第三編

- 第一章 野戰砲兵ノ隊形.....九〇
- 第二節 放列.....九五
- 第三節 砲兵斥候.....九八
- 第四節 砲兵戰術ノ趨勢.....一〇四

- 第一章 攻擊.....一一〇
- 第一款
 - 第一節 前衛陣地.....一一〇
 - 第二節 開進.....一一一
 - 第三節 敵情及地形搜索.....一一五
- 第二款
 - 第一節 突貫攻撃.....一一九

四

第二章 攻撃動作……………一二〇

 第二節 包圍攻撃……………一二一

 第三節 迂回……………一二五

 第四節 高地攻撃一般ノ要領……………一三〇

 第五節 攻撃點撰定要旨……………一三七

 第六節 攻撃開始時期ノ決定……………一三八

 第七節 攻撃計畫ノ要旨……………一四二

 第八節 戰鬪間ノ協同動作……………一四五

 第九節 不期戰……………一四九

 第一節 不期戰ノ要領……………一四九

 第二節 遭遇戰ノ要領……………一五二

第三章 諸種ノ手段ヲ盡シテ堅固ニ構成セル陣地ノ攻撃……………一五八

 第一節 敵陣地ニ接近スル方法……………一五八

 第二節 突撃方法……………一六二

第四章 決戦ト持久戦ノ區別……………一六八

 第一節 決戦ノ要領……………一七二

 第二節 持久戦ノ要領……………一七三

第五章 攻勢ト守勢……………一七一

 第一節 攻勢守勢ト攻撃防禦ノ區別……………一七五

 第二節 攻勢守勢ノ利害……………一七七

第六章 防禦

 第一款

 第一節 總則……………一八〇

 第二節 防禦陣地……………一八一

 第三節 防禦戰鬪……………一八二

第二款

第一節 陣地ノ選定.....一八七

第二節 陣地占領法.....一八九

第三節 總豫備隊ノ位置.....一九六

第七章 逆襲

第一節 要領.....一九八

第二節 逆襲ノ時期.....二〇〇

第八章 追撃

第一節 總則.....二一〇

第二節 戰術上ノ追撃.....二一〇

第三節 戰略上ノ追撃.....二一六

第九章 退却

第十章 各種陣地ノ特性

第一節 側面陣地.....二三三

第二節 準備陣 中央陣.....二三七

第三節 前進哨ト前進陣地.....二二九

第十一章 局地戰

第一節 高地戰ノ要領.....二四五

第二節 村落戰.....二五一

第三節 市街戰.....二六一

第十二章 河川ノ戰鬪

第一節 防禦

二六三

第二節 攻撃

二七三

第十三章 森林戰鬪

二八三



戰術講授錄目次終

本基戰術講授錄

春叢居士口述

第一編

第一章 戰略ト戰術

戰爭ニ關係スル凡テノ學ヲ總稱シテ兵學ト曰フ

兵學ヲ更ニ分チテ用兵學(戰略及戰術)ト軍制學(編制

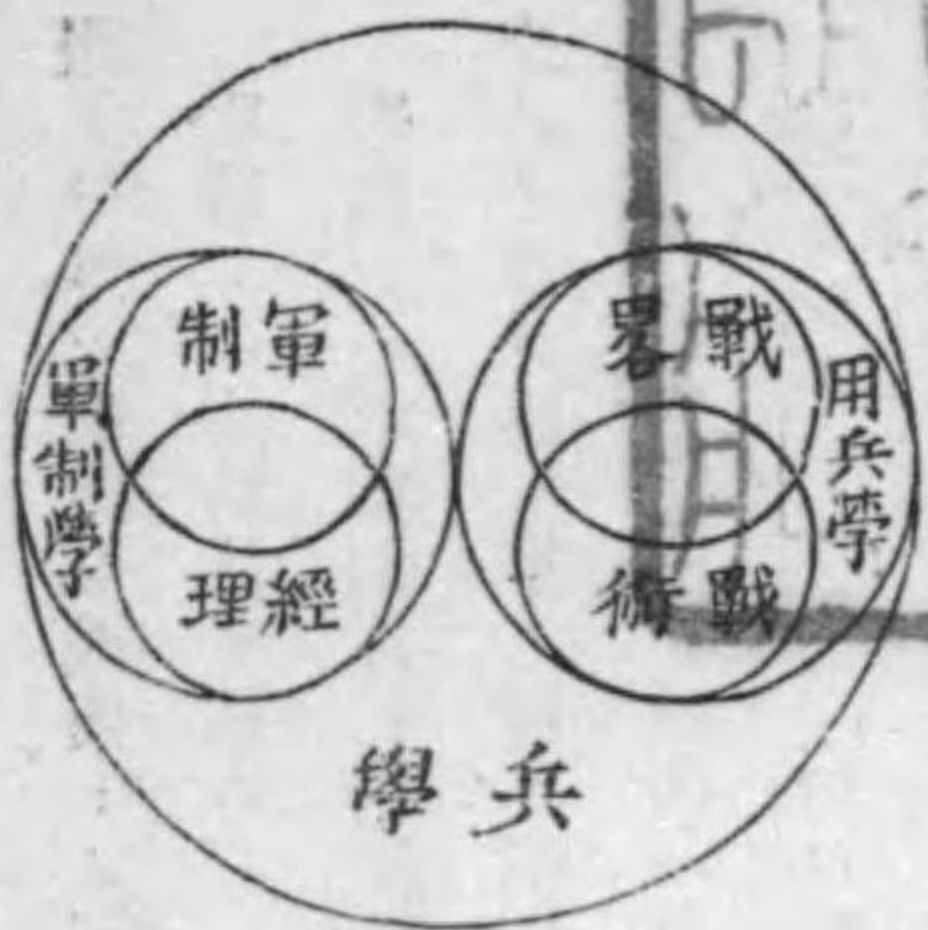
及經理)トノ二ト爲ス而シテ余カ茲ニ諸君ト共ニ研究

セントスルモノハ即チ用兵學ナリ

上圖ノ如ク互ニ相關連シ密接ノ關係ヲ有スルモノナル

ヲ以テ劃然分離シ得ヘカラサルモノナル然レトモ之ヲ

兵學區分



強テ分解シ戰略ト戰術トノ區別ヲ説明スレハ次ノ如シ

戰略トハ用兵法ヲ稱ス

戰術トハ軍隊指揮ノ術ナリ即チ交戦法ナリ

參考ノ爲メ諸大家ノ說ヲ引用セハ次ノ如シ

- 「メツケル」曰ク戰術ハ交戦法ヲ稱シ戰略ハ用兵法ヲ云フ
- 「ホンデルゴルト」曰ク戰術ハ師兵學ナリ決戦ノ爲メ施行スル諸般ノ區處ヲ網羅スルモノヲ稱シ戰略ハ軍隊ノ統帥ノ學ニシテ軍隊ヲ決戦ニ使用スル一般ノ方法ヲ云フ
- 「バルク」曰ク戰術ハ軍隊ヲ統帥スルノ學ナリ戰略ハ戰爭ヲ統帥スル學ナリト
- 「ホンメルレル」曰ク戰術ハ戰闘ノ學ニシテ戰略ハ建制ノ學ナリ
- 「カール」曰ク戰術ハ用兵ノ術ナリ戰略ハ用兵ノ學ナリ
- 「グローツウイツ」曰ク戰術ハ兵力ヲ戰闘ニ使用スル學ナリ
- 「チール」曰ク戰術ハ全軍事動作ノ範圍内ニ於テ一切ヲ應用シ及之ト相關聯スル事

項ヲ云フ戰略ハ戰爭ノ目的ヲ成就スル爲メ戰地上ノ全軍ヲ運用スルノ學ヲ云フ

- 「ブルームー」曰ク戰術ハ戰闘ニ於テ軍隊ヲ使用シ及戰闘ノ主旨ニ從ヒ軍隊ノ動作ヲ規律スルニ關スル一切ノ事ヲ云フ戰略ハ戰術範圍内ニ屬スルモノヲ除キ其他ニ於ケル軍隊ノ統帥ニ關スル一切ノ事ヲ云フ

- 「ラルブリユク」曰ク戰術ハ戰闘ヲ爲スタメ及戰闘中ニ於ケル師兵ノ術ナリ戰略ハ戰爭ノ目的ヲ達センカ爲メニ戰闘ニ於ケル材料ヲ運用スル學ヲ云フ

以上紹介セル諸大家ノ說ハ諸家カ其明瞭ナル點ニ向ツテ命名シタルモノニシテ其微妙ナル點ニ於テハ一言之ヲ掩ヒ得サルハ當然ナリ要スルニ強ヒテ區別スルモ大ナル利益ナカルヘシ

第二章 戰術隊形沿革ノ概要

戰術ノ沿革ハ其古キヲ尙社會ノ歴史ノ如シ隨テ其隊形モ亦幾多ノ變遷ヲ經テ現下ニ至

レリ故ニ基本戰術研究ノ頭初ニ於テ現下採用ノ隊形カ抑如何ナル沿革變遷ヲ經由シタルモノナルカラ講究スルモ亦戰術學研究ノ階梯アリトス戰術ノ隊形ハ各國ノ國體、人情、軍制、地形及兵器ノ進歩ニ依テ變更セラレ且數次ノ實戰ノ經驗ニ依テ漸次發達セシモノナリ從テ其詳細ヲ研究セントスルハ到底短時日ノ能クスヘキニ非ス故ニ茲ニ只沿革ノ大綱ヲ講究スルモノニ止メントス戰術隊形變遷ノ最モ顯著ナルモノヲ次ノ三期ニ區分スルヲ得ヘシ

第一期 火器採用前

第二期 火器採用ヨリ佛國革命戰ニ至ル

第三期 佛國革命戰ヨリ現今ニ至ル

第一節 上古

上古火器採用前ニ於ケル主ナル兵器ヲ舉クレハ次ノ如シ

遠戰用 投石機、擲鎗機、弓、弩弓、
近戰用 刀、劍、鎗、尖矛、巨頭棍、具刀棍、星形錐、斧、鉞、戰槌、
護身用 楯、鐵兜、護脛鐵帶、胸甲、鐵甲、

此時代ニ於ケル戰術隊形ノ著名ナルモノ二種アリ曰ク希臘ノ「フアラランジュ」隊曰ク羅馬ノ「レギオン」隊ナリトス

(一)希臘ノ「フアラランジュ」隊

希臘ノ「フアラランジュ」隊ハ步兵騎兵ノ兩兵種ヨリ成立シ最初步兵四騎兵一人ノ比ヲ爲セシカ後ニ至リ七ト一ノ比ニ變更セリ而シテ其步兵ハ更ニ分テ重步兵、中步兵、輕步兵ノ三種トナス重步兵ハ「フアラランジュ」隊ノ主力ニシテ最小單位ハ二百五十人トシ正面縱深共二十六人ノ正方隊形ナリ之ヲ「ジクタグマア」隊ト稱シ現今ノ步兵中隊ニ相當セリ「ジクタグマア」隊四個ヲ合シテ「フアアルヒー」隊ヲ成形シ「ヒリアルヒー」隊四個ヲ合シタルモノヲ「フアラランクス」隊ト稱シ現今ノ步兵聯隊ニ相當ス故ニ之ヲ現今ノモノニ換稱スルトキハ聯隊ハ四大隊ヨリ大隊ハ四中隊ヨリ成リ而シテ一中隊ハ二百五十人ヨ

フアララン
ジュ隊

リ成ルト云フヲ得ヘシ

大「フアランクス」隊ハ「フアランクス」隊四個及中歩兵輕歩兵並ニ騎兵若干ヨリ成リ現今ノ師團ニ類セリ今此隊形ノ戰闘ノ時ノ配置ヲ示セハ下ノ如シ
 輕歩兵ハ遠戰用ノ兵器ヲ携行シ最前方ニ在テ散開戰闘シ其他ハ鎗ヲ携テ前進衝突セリ
 又此戰闘ノ爲メニ配置ハ純然タル構隊配置ナルヲ以テ其運動至テ不便ニシテ只單ニ僅少ノ前進退却等ノ單簡ナル運動ヲナシ得ルノミニ過ス殊ニ地形ニ制セラル、一甚シキヲ以テ地物ナキ地方ニアラサレハ殆ント用ニ耐ヘス又保守的隊形ニシテ止テ防禦スルニハ不便ナラサルモ進テ攻撃スルノ性能ヲ欠ケリ故ニ其後斜行ノ隊形ヲ研究シテ此「フアランクス」ニ攻撃的ニ威力ヲ増加セリ

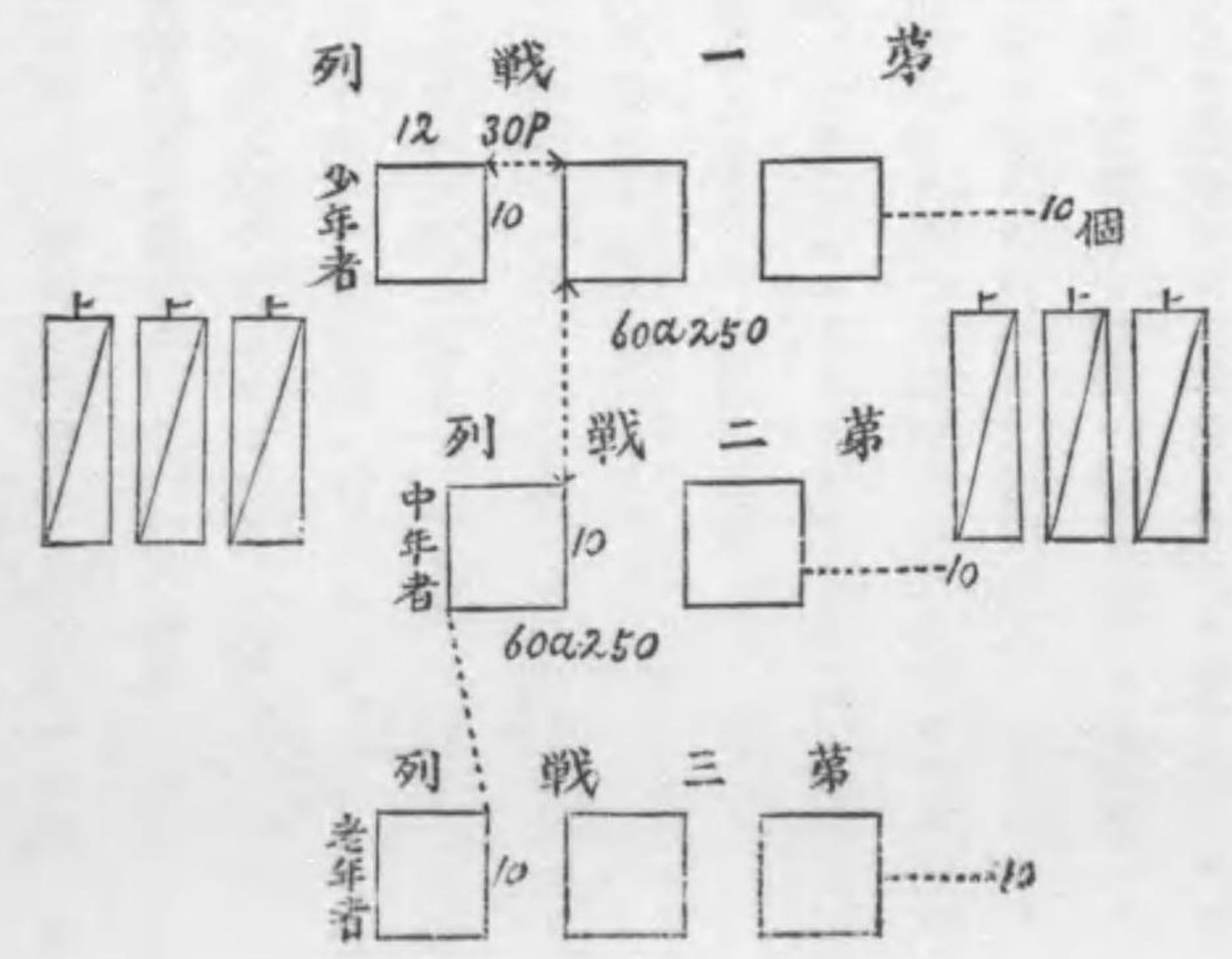
輕歩兵



(二)羅馬ノ「レギオン」隊

羅馬ノ「レギオン」隊ハ諸兵種ヲ以テ編組セル獨立ノ團體ニシテ殆ント現在我國ノ師團ニ相當ス其兵力ハ歩兵四千乃至六千騎兵三百砲若干ヨリ成ル而シテ其歩兵ハ重歩兵輕歩兵ノ二種ニ區分セラレ重歩兵ハ又其年齡ニ依リ少壯者、中年者、老年者ノ三種ニ區別セラル其單位ハ六十乃至百二十人ヨリナル「マニール」ト稱スル獨立小銃隊ナリ今此「レギオン」隊ノ戰闘ニ於ケル配置ヲ示セハ下ノ如シ

輕歩兵



其戰闘法ハ最先頭ニアル輕歩兵ハ遠戰兵器ヲ携行シ散開シテ突撃ノ先驅ヲナシ第一戰
列ハ敵ヲ距ル短少ノ距離ニ到達スレハ鎗ヲ擲テ之ニ代フルニ刀ヲ揮テ敵中ニ突入ス第
二戰列ハ第一戰列ノ掩護ニ任シ第三戰列ハ前方ニ於テ戰闘スル諸兵ノ敗退スルニ當リ
之ヲ收容スルヲ目的トス故ニ第三戰列ハ長鎗ヲ携ヘテ其位置ニ靜止シ以テ退却セル前
方部隊ヲシテ再ヒ隊形ヲ整頓スルノ時間ヲ得セシム蓋シ羅馬ノ「レギオン」隊形ハ運動
ニ輕捷ナル獨立ノ小部隊ヲ疎散ナル形狀ニ配置セルモノニシテ羅馬人ノ勇敢ニシテ自
ラ接戰ヲ好ミ且其攻撃的精神ノ旺盛ナルヲ利用セル隊形ナリトス

(三)希臘ノ「フアランクス」隊ト羅馬ノ「レギオン」隊ノ比較

此二隊形ニ於テ主兵ハ共ニ火兵ニシテ戰闘ハ全ク歩兵ニ依リテ其局ヲ終結ス騎兵及砲
兵モ亦之ニ參與セリト雖モ其數極メテ僅少ナリ乃チ騎兵ハ其裝具不完全ニシテ且馬術
未熟ナルヲ以テ疾驅ヲ以テスル密集襲撃ノ效ヲ顯ハス能ハス又散開接戰ニ於テハ步兵
ハ遙ニ騎兵ニ卓越セルヲ以テ騎兵ハ止ムヲ得ス下馬シテ戰闘ヲ爲スニ至ル是ニ依リ砲
兵ニアリテハ其射程ノ短少ナルト發射物ノ效力微弱ナルトニ由リ殆ント砲兵トシテノ

價値ヲ認ムル能ハス故ニ軍隊愈々精銳ナルニハ益砲兵ノ協力ヲ要セサル者トナセリ其
後「アレキサデナル」「セザル」等ノ如キ英將續出スルニ至リテ始メテ騎兵ハ其性能ヲ認
識セラレ軍ノ運動間ハ之ヲ搜索ニ使用シ戰闘間ハ之ヲシテ敵ノ側面ニ向ツテ突撃セシ
メ以テ大ニ騎兵ノ價値ヲ顯ハセリ砲兵モ亦漸次ニ其威力ヲ發揚シタリト雖モ未タ城砦
又ハ河川等ノ戰闘ニ於テ直接ニ短兵ヲ使用スル能ハサル場合ニ應用セラレタルニ過キ
ス上古ノ兵器中遠戰用ト稱スルモノモ射程極メテ僅少ニシテ殆ト接戰用ト區別セラレ
サルカ如シ從テ戰闘隊形トシテ密集隊形ヲ用ヒシハ自然ノ理數ナリ然レ共希臘ノ「フ
アラソス」隊ノ如キハ密集其度ヲ過キ從テ運動意ノ如クオラス且地形ニ制セラレ、
多ク地物ナキ地ニアラサレハ殆戰闘スル能ハス加之側面ノ抗力薄弱ナルヲ以テ屢包
圍攻撃ヲ受クルノ害アリ

「フアラソクス」隊ハ前述ノ如ク多クノ不利アリシニモ拘ラス屢少數ノ兵ヲ以テ大兵ヲ
破リシ所以ノモノハ其兵卒ノ禮節ヲ重シ武藝ニ熟シ且報國ノ志厚キニ原因スルモノニ
シテ是等ノ諸性質ハ能ク隊形ノ不利ヲ補ヒタルモノト云ハサルヘカラス

羅馬ノ「レギオン」隊ハ能ク希臘ノ「フアランクス」隊ノ欠點ヲ除キテ小ナル獨立ノ密集隊ヲ適當ノ距離間隔ヲ取リテ配置シ以テ各隊ノ屈伸運動ヲ自在ナラシメタルモノニシテ一段ノ進歩ヲナセリ殊ニ此隊形ハ國民ノ特性ニ適應シタルモノニシテ「フアランクス」隊ニ比シ運動輕快ニシテ且耐久戰ニモ適合スヘキ性質ヲ具備セリ

此時代ノ戰鬪ハ直接ニ民族ノ興廢ニ關係セシヲ以テ國民全体之ニ當レリ故ニ武藝ニ熟シタルコト決シテ傭兵ノ比ニアラサリシカ爾來羅馬ノ内部疲弊シ人心ハ腐敗シ志氣衰弱スルニ及ンテ漸次傭兵ノ制ヲ取ルニ至リ從テ隊形モ亦大兵團ノ故ニ復歸スルノ止ムヲ得サルニ至レリ故ニ其國ノ軍制ハ隊形ノ變遷ヲ來ス一大原因ヲ爲スモノト云ハサルヘカラス

第二節 中古

羅馬帝國分裂後亞細亞ニ於テハ蒙古軍ノ隆盛ヲ見シト雖モ歐洲ニ於テハ上古ニ於テ既ニ進歩ノ状態ヲ顯ハシタル戰術モ漸次衰亡ニ歸シ遂ニ其痕跡ヲモ滅却スルニ至レリ只

此時代ニ於テ特ニ異彩ヲ放チシハ騎士ノ全盛ナリトス即チ始メハ尙少數ニ過キサリシ騎士モ封建制度ノ創立ト共ニ漸次其數ヲ増加シテ軍ノ主兵トナリ遂ニハ兵馬ノ全權ヲモ掌握スルニ至レリ而シテ步兵ノ如キハ僅カニ存在セシモ其戰鬪ノ價值ハ殆ント消失セリ

騎士

騎士ハ其志ヲ訓練武裝等全ク他兵ニ卓越シ殆ント此兵ニ優ルモノナシ當時各騎士ニ勇敢ナル到ル處前ナク一騎士ノ名聲ハ全軍ヲ震慄シ歩僕ノ群ヲシテ未タ侵襲ヲ蒙ラサルニ早ク既ニ煙散セシムルノ勢ヲ呈セリ斯ノ如キ騎士ノ名聲モ第十四世紀ノ中葉火器ノ發明ニ依リ漸次剝奪セラレ第十六世紀ノ初メニ至リテ殆其影ヲ沒シ僅ニ殘存スルハ駈歩ヲ以テスル密集襲撃ナリトス是レ後世騎兵ノ攻撃法ヲ振興シタル基ナリトス

第三節 火器採用ヨリ佛國革命戰至ル

此時代モ亦銃槍採用ノ前後ニヨリ之ヲ二分スルヲ得ヘシ

(一)銃槍採用前

火器ノ發明ハ第十四世紀ノ中頃ニアリシト雖モ之ヲ軍用兵器トシテ歐洲列國ニ採用セシハ第十六世紀ノ中世ナリトス此火器ノ採用ト共ニ騎士族ハ漸ク衰頹シ步兵ハ再ヒ勃興シテ軍ノ主兵トナレリ然レモ其戰術隊形ハ約一千年間殆ント廢棄ノ狀態ニアリシヲ以テ未タ嶄新ノ隊形ト認ムヘキモノナク概ネ古代ノ制式ニ模倣シ鎗兵ヲ以テ大ナル方形ノ戰鬪部隊ヲ成形シ而シテ火戰ノ爲ニ裝備セル散兵ハ其密集方形隊ノ間隔内ニアリテ散鬪隊形ヲ以テ戰鬪セリ其後遠戰兵ヲ以テ第一戰列ヲ作り之ヲシテ專ラ戰鬪ヲ爲サシメ鎗兵ヲ以テ第二戰列ヲ作り又銃手ト鎗兵ノ兩兵種ヲ以テ混成部隊ヲ作り之ヲ豫備隊トセリ之ヲ要スルニ火器採用後ニ於ケル步兵ノ戰術隊形ノ撰擇ハ概ネ次ノ要旨ニ準燃セサルヘカラス

- 一、火器ノ數ヲ増加シテ鎗兵ノ數ヲ減少スルコト
- 二、火器ノ數増加スルニ從ヒ戰鬪部隊ノ正面及縱深ヲ減縮シ以テ運動ノ便利ヲ圖ル

而シテ此理想ヲ實現セルハ「グスタードルフ」ナリトス彼ハ其步兵ヲ旅團ニ區分シ旅

團ヲ聯隊ニ聯隊ヲ更ニ中隊ニ區分セリ而シテ中隊ノ縱深ヲ六列迄ニ減少シ尙射擊ノ爲メニハ更ニ三列ニ編成セリ是ニ於テ漸ク運動ノ自由ト火力ノ發揚ヲ希望シ得ヘキ隊形ヲ得ルニ至レリ騎兵モ亦步兵ノ如ク火器ヲ使用セリ然レ共火戰ニ於テハ到底步兵ト其輸贏ヲ爭フ能ハス只火器ノ攜帶ト共ニ騎兵ニ僅ニ獨立力ヲ與ヘタルニ過キス從テ三十年戰ノ當時ニ於テハ大ナル騎兵團ヲ使用スルコト甚稀ニシテ通常步兵團ノ間隔内ニ在テ僅ニ戰鬪シタルノミ故ニ騎兵ヲ百二十騎乃至百五十騎ノ小單位ニ區分セリ是レ今日尙襲用スル所ノ騎兵中隊編成ノ基礎ナリトス

此時代ニ於ケル砲兵ノ威力ハ尙頗ル微弱ナリキ蓋シ砲煩ハ其重量甚タ重ク且運動自在ナラサルヲ以テ僅ニ軍ノ正面ニノミ配置セラレタリ故ニ步兵及騎兵ガ攻撃ノ爲メニ砲煩ノ間隔ヲ通過シテ前進シタル後ハ砲兵ハ全ク爲スコトナク空シク靜止セリ而シテ戰鬪利アラサルトキハ多クハ敵ノ奪取スル所トナレリ彼ノ「グスタードルフ」ノ出ルニ及ンテ漸次進歩ノ狀態ニ多ク機動及火力ノ集中ヲ認識セラル、ニ至レリ

(二)銃槍採用後

火器採用後三十年戰ノ實驗ニ徴シ往時既ニ廢滅ニ歸セシ步兵戰術ノ再興ヲ見ルニ至リ尙銃手鎗手ノ兩兵ヲ存セリ從テ戰術ノ隊形モ亦復雜ナリシカ第十八世紀ノ初メニ至リ歐洲各國軍ニ於テ一般ノ銃槍ヲ採用スルニ至リ茲ニ銃手鎗手ノ區分ハ全廢セラレ步兵ハ射撃ヲ以テ攻撃ヲ準備シ然ル後ニ直接ニ白兵ヲ以テ攻撃ヲ實行シ以テ戰鬪ノ局ヲ結ヒ得ルニ至レリ此新思想ニ基キ構成セラレタル戰術隊形ハ即チ橫隊戰術ナリトス此隊形ニ於ケル步兵ノ戰術單位ハ大隊ニシテ三列橫隊ノ大隊ヲ八小隊ニ區分セリ

此ノ隊形ヲ以テ攻撃ノ爲メ前進スルヤ稠密ナル橫隊ヲ以テ齊整緩隊ニ一分間ニ七十歩ノ歩ヲ以テ敵ヲ去ル百十五歩乃至二百歩ノ距離ニ達シテ茲ニ迅速ナル



小隊ノ齊射ヲ行ヒ然ル後銃鎗突撃ヲ行ヘリ要スルニ橫隊戰術ハ斯ノ如ク射撃ノ效力ヲ收メ盡シテ餘ス所ナキヲ以テ戰鬪ハ多數ノ火器ヲ排列スルヲ依リテ決セラレ銃鎗ヲ接戰ニ使用スルニ至ルヲ殆ント稀有ナリ然レモ此戰術隊形ハ運動極メテ困難ニシテ僅地形ニ適應セシムルヲ能ハサルノミナラス少ノ地物モ著大ノ障壁トナリ局地及諸種ノ掩蔽物ハ絶對ニ之ヲ避ケサルヘカラス是レ火器ヲ利用シテ戰勝ヲ博スル所ノ戰術ニハ最モ不利トスル所ニシテ火戰々術ヲ主トスル所ノ理想ノ隊形ハ概ネ次ノ要旨ニ基テ建設セラレサルヘカラス

- 一、可成多數ノ銃手ヲ排列シ且自由ニ攜帶火器ヲ使用シテ其效力ヲ發揚シ得ルヲ
- 二、運動輕捷分合自在ニシテ能ク地形ヲ利用シ得ルヲ
- 三、銃鎗ノ使用ニ際シ突撃力ノ強固ナルヲ

然ルニ橫隊戰術ナルモノハ此理想ニ合セサル所多キニモ拘ラス尙當時戰鬪隊形トシテ專用セラレタル所以ノモノハ一國々民ノ狀態ハ勿論當時ノ兵制ノ然ラシメタル所ニシテ是實ニ止ムヲ得サルナリ蓋シ傭兵ノ軍ニ在リテハ常ニ嚴格ナル軍紀ノ下ニ之ヲ束縛

スルニ非サレハ忽チ離散シ指揮官ノ手裡ヲ脱逸スルノ恐アレハナリ之レ軍制カ戰術隊形ニ及ホス關係ノ一ナリトス橫隊戰術ハ第十八世紀中盛ニ行ハレ特ニ七年戰ニ至リ「フリードリヒ」大王ニ依テ最モ能ク應用セラレタリ大王ハ橫隊戰術ニ於ケル側面ノ薄弱ト運動ノ不如意トヲ看破シ且ツ至嚴ナル軍紀ノ涵養ト精熟ナル訓練ノ結果トヲ考慮シ平時ニ於テ尤モ此點ニ向テ教育ヲ集注シ以テ橫隊戰術ニ於テ極メテ緊用ナル諸運動ヲ均一ナラシムルコトニ努力シタリ

大王ハ斯ノ如ク訓練シタル軍隊ヲ以テ常ニ敵ノ弱點ニ向テ攻勢ヲ取ル手斷ヲ慣用シタリ其法敵若陣地ニ據ルトキハ至堅ナル其正面ヲ避ケ巧ニ側面運動或ハ梯陣ノ斜行進ヲ以テ敵ノ側面ニ出テ彼ノ隊形變換ノ終ラサル瞬間ニ於テ自己ノ正面ヲ以テ敵ノ側面ニ向テ衝突シ以テ之ヲ壓倒潰亂セリ又大王ハ前述ノ巧妙ナル運動ヲ利用シ以テ兵數我ニ三倍セル敵ヲ殲滅セシ例少カラスト云フ

抑モ大王ノ運隊カ常ニ巧妙ナル運動ニ依リ先制ノ利ヲ占メタルハ固ヨリ平素ノ訓練與テ大ニ力アリシト雖モ又其軍隊カ寡少ニシテ運動ノ容易ナルニ基カサルヲ得ス

騎兵モ亦「フリードリヒ」大王ニ依テ大ニ其聲價ヲ發揚セリ是レ其固有ノ性質ヲ利用シ疾驅ヲ以テスル稠密襲撃ヲ獎勵シ且ツ屢之ヲ決戰ニ使用セシ結果ニ依レリ此當時步兵橫隊々形ハ好テ開濶地ニ於テ戰鬪ヲ求メ且ツ薄弱ナル側面ト長大ニシテ運動意ノ如クナシサル一連ノ橫隊ヲ以テ布陣セリ是ニ於テ大王ノ騎兵好機乘スヘシトナシ其速力ヲ利用シ偉大ナル成果ヲ收メタリ斯ノ如キ現象ハ騎兵固有ノ眞價ヲ現ハシタルニハ相違ナシト雖モ又一面ニ於テハ橫隊ノ戰術隊形ナルモノカ既ニ其選擇ヲ誤リタルコトヲ證シテ餘アリトス

砲兵ニ至リテハ其進歩頗ル遅ク「フリードリヒ」大王ノ時代ニ於テ始テ中隊ニ區分セラレ且ツ慚ク步兵團ニ配屬セラルルニ至リタリ然レトモ機動ノ能力及ヒ戰鬪ノ使用上ニ就テハ尙昔日ノ状態ヲ脱スル能ハサリキ而シテ騎砲兵ハ七年戰ニ於テ大王ニ依テ創建セラレタリ

第四節 佛國革命戰ヨリ現今ニ至ル

携帶兵器ノ進歩ニ伴ハサル橫隊ノ戰術隊形ハ佛國革命戰ニ至リテ遂ニ其終リヲ告ケ同

時ニ此ノ革命戰ヨリシテ新ナル戰術隊形即チ(縱隊戰術)ナルモノハ現出サレタリ
當時佛國ノ常備軍タル傭兵ハ革命亂ノ爲ニ覆滅ニ歸シ且佛國ノ共和政府ハ歐洲全土ト
葛藤ヲ生シ四隣ニ對シ戰ヲ交ヘサルヘカラサル状態ニアリシヲ以テ政府ハ壯丁ノ全員
ヲ擧テ軍隊ヲ編成セリ是ニ至リテ傭兵ノ制度ハ一變シテ古代ノ兵制タリシ國民皆兵ノ
制度ニ復歸セルニ至リタリ
斯ノ如キ狀況ノ下ニ於テ新ニ募集セラレタル兵員ニ對シテハ軍紀ノ嚴肅ト訓練ノ精
熟ヲ要スル橫隊ノ戰術隊形ヲ要求スル事能ハス從テ新戰術ノ現出ヲ餘儀ナクセツレタ
リ則チ新徵募兵ハ散開隊次ニ在リテ勉メテ地區地物ヲ利用シ敵ノ近接ヲ待テ掩蔽物ノ
背後ヨリ突然猛射ヲ加ヘ次テ敵ノ動搖ニ乘シ稍訓練ニ熟シタル者ヨリ編成セル縱隊ヲ
以テ之ヲ急襲シ且ツ之ヲ蹂躪スルニアリ
斯ノ如キ獨立動作ニ自由ナル散兵群ノ不意ノ猛射及運動容易ナル突撃ノ攻撃ニ對シ從
來ノ不自由ナル橫隊々形ハ到底對抗シ得ヘキモノニアラス橫隊ノ戰術隊形カ茲ニ至テ
滅亡スルハ蓋シ是レ自然ノ理數ナルヘシ

縱隊戰術ノ戰法ハ奈翁一世ノ英才ニ依テ益其光彩ヲ放ツニ至レリ然レトモ此隊形ハ橫
隊々形ニ對シテハ著大ノ成果ヲ現シタリト雖モ未タ火器ノ進歩ト其火器ノ效力トヲ充
分ニ發揚スル點ニ至リテハ決シテ理想ノ隊形タル能ハス即チ千八百十五年「ワートル
ロー」ノ戰鬪ニ於テ敵ノ歩砲兵ノ爲ニ瞬時ニ莫大ノ損害ヲ蒙リシ結果此隊形ハ漸次衰
頹ニ趣ケリ然レトモ現時列國ニ於テ採用セル橫隊ト縱隊トヲ混用シ散開ト密集トヲ交
用スル步兵ノ戰術隊形ハ其基礎實ニ此縱隊戰術ニ胚胎セルモノト云ハサルヘカラス革
命戰ニ於テ佛國ノ爲ニ苦シメラレタル歐洲列國ハ一朝ニシテ其迷夢ヲ覺破シテ橫隊戰
術ノ非ヲ覺リ同時ニ國土保全ノ必要上民兵ヲ組織シ以テ國民皆兵ノ精神ヲ現實ニスル
ニ至レリ此ニ於テ兵制ニ一大變遷ヲ來シ爾後各國ハ縱隊戰ノ價值ト兵制ノ變遷トニ依
リ適良ナル戰術隊形ノ研究ニ勉メタリ而シテ就中普國ハ尤モ熱心ナル研究者ニシテ且
尤モ著大ナル效果ヲ擧ケタリ即チ普國ノ千八百十二年ニ於テ縱隊戰術ノ長所ヲ採リ大
隊ヲ以テ戰術單位トナシ戰鬪ニ漸次増加スル散兵群ノ火力ヲ以テ準備シ決戰ノ爲ニハ
密集セル豫備隊ヲ使用スルノ原則ヲ以テ新操典ヲ制定セリ尙ホ千八百四十一年普軍ハ

中隊縦隊
ノ創設
普埃戰及
七十年戰
ノ結果

火戰ノ效果ヲ益大ナラシムル爲メ各國ニ先チ後裝銃ヲ採用シ而シテ千八百四十七年再
ヒ新操典ヲ發布シ爰ニ中隊縦隊ノ制ヲ創造スルニ至レリ新操典ノ制式ハ丁抹及普埃戰
役ニ經驗セラレ又七十年戰役ヲ實行セル操典ナリ此操典ニ於ケル要點ヲ舉クレハ次ノ
如シ

一、中隊縦隊ノ戰術隊形ヲ採用シ第一線ノ大隊ヲ獨立ノ中隊ニ區分シ運動ノ輕易ト各
大隊長ノ獨斷ニ餘地ヲ存セリ

二、後裝銃ノ採用ト共ニ火戰ノ效力ト地形ノ利用ヲ著大ナラシメタリ

此當時ノ中隊ハ兵員二百五十名ニシテ之ヲ三小隊ニ區分シ各小隊ハ三列ニ編成セラル
而シテ第三列ハ精練ナル射手ニシテ戰鬪ニ際シ散兵小隊ヲ成形ス

普軍ニ於テ中隊縦隊ノ戰鬪隊形ヲ採用セシ以來各國ニ於テモ亦同隊形ノ採用ヲ見ルニ
至レリ元來此隊形採用ノ趣旨ハ火戰ノ效力ト地形ノ利用ヲ以テ戰勝ヲ企圖スルニアリ
然ルニ千八百五十四年哥里未戰役及同六十四年丁抹戰役ニ於テ攻撃ノ成功ハ必スシモ
散兵火ヲ以テスル長時間ノ準備火戰ニ待ツヲ要セス只迅速ナル密集銃鎗ノ攻撃ニ依リ

テ達シ得ヘキモノト誤信シ其結果多大ノ損害ヲ蒙ルニ至レリ然レトモ尙二三ノ成功
ヲ見タリ此ノ誤リタル思想ハ千八百六十六年普埃ノ戰役ノ經驗ニ依テ始メテ氷解セラ
レタリ此戰役ニ依テ經驗シタル要點概要次ノ如シ

一、普軍ハ常ニ一齊射撃ヲ行ヒシモ自然各個射撃ニ陥リシコト

二、騎兵ノ大集團ニ對シ步兵ノ中隊縦隊若クハ橫隊トナリシノミニテ彼ニ對シ方陣ヲ
作ルノ要ナカリシコト

三、準備火戰全カラサルニ先タチ密集縦隊ノ突撃ハ常ニ無效ニ歸シ遂ニ敗走スルニ至
リシコト

此兩戰役ノ結果各國其後裝銃ヲ採用シ同時ニ火戰ノ效力ヲ是認セリ是ニ於テ新戰術研
究ノ熱度更ニ大ニ向上シ千八百六十九年普佛兩國共ニ新操典ノ制定ヲ見ルニ至レリ而
シテ此新操典ノ要旨ヲ見ルニ佛國ニアリテハ改良銃ノ精良ハ特ニ防禦ニ利アリト信シ
其精良ニ心醉シタル結果遂ニ射撃教育ノ重要ナルコトヲ忘却シタルノ傾向アリ此等ノ
誤謬ハ七十年戰ニ於テ大敗ノ原因ヲ爲セリ反之普國ニ在リテハ益攻撃精神ノ發揚ニ勉

メタリ而シテ七十年戰ニ於テハ普軍ハ六十九年ノ新操典ニ依ル能ハスシテ依然四十七年ノ舊操典ニ基キ戰闘セリ故ニ普軍ハ六十六年戰ノ經驗アリシニモ拘ラス往々敵火ヲ無視シテ無謀ナル攻撃前進ヲ行ヒ偉大ナル損害ヲ蒙レリ然レトモ中隊戰術發達ト攻撃精神ノ旺盛トハ常ニ射撃及戰術ノ劣等ナル佛軍ヲ壓服シテ勝利ノ名譽ヲ博セリ此戰役ニ依テ經驗セラレタル要點概ネ次ノ如シ

一、戰役間齊射ヲ行ヒシコトナシ

二、密集部隊ヲ以テ攻撃セシコトナシ

但該戰役間僅少ナル密集部隊ヲ以テ攻撃セシコトアリシモ決シテ大部隊ヲ用ヒタルコトナシ

三、彼我兩軍ハ大ナル散兵ヲ展開シ其戰闘ハ永ク繼續セラレ漸クニシテ進捗スルカ或ハ輪贏ヲ決セサル射撃戰ヲ成形シ遂ニ一部ハ包圍セラレ他部ハ之ニ乘シテ前進シ或ハ濃密ナル散兵ヲ假リテ突撃シ力ヲ盡シテ敵ノ擊退ヲ圖リシコト若シ攻撃功ヲ奏セスシテ退却スルトキハ殲滅ニ陥レリ

四、兩軍共ニ大ナル兵力ノ放散ヲ來セリ殊ニ斷絶地ニ於テ然リトス從テ指揮ノ困難ヲ生セシコト

本戰役ノ經驗ハ佛人ヲシテ守勢ヲ棄テテ攻勢ヲ取ルノ必要ヲ覺知セシメタリ即チ佛人ハ此趣旨ニ基キ千八百七十四年新操典ヲ制定セリ然レトモ獨斷活用ノ餘地ヲ存セサリシ獨逸ハ千八百七十六年ニ至リ新操典ヲ發布セント雖モ其大體ノ趣旨ハ毫モ舊操典ト異ナルコトナカリシノミナラス戰役ノ經驗ノ結果不用ト信セル大隊ノ方陣並ニ大隊ノ橫隊ハ依然新操典ニ存置セラレタリ

千八百七十七年ノ露土戰ニ於テ土軍ノ連發銃ニ對シ露軍ノ銃劍ハ智ニシテ彈丸ハ愚ナリトノ諺ヲ信シ過度ニ銃槍突撃ニ重キヲ置キ屢密集縱隊ノ白兵突撃ヲ反覆シ多大ノ損害ヲ蒙レリ此戰役ニ於テ土軍カ連發銃ヲ採用シタルニ鑑ミ各國共連發銃ノ採用トナリ次テ無煙火藥ノ發明トナリ益射撃戰術ノ勃興ヲ見ルニ至レリ

千八百九十七年露國新操典ノ制定ト共ニ歐洲各國軍ニ於ケル歩兵戰術ノ本領ハ散開隊次ヲ以テスル火戰ナリト云フコトニ歸一セリ

其茲ニ至リシ先導者ハ千八百八十八年制定ノ獨逸操典ナリトス其趣旨ニ依レハ射擊優
勢ヲ占ムルヲ以テ決戰々闘ノ必要無ニノ條件トナシ從來容易ニ除却シ能ハサリシ諸形
式ヲ放棄シ以テ戰術上ノ要求ト射擊ノ指揮トヲ連絡スルニ在リシ

吾人カ三十七八年戰役ニ於テ實施セル現行操典ノ基礎モ亦實ニ八十八年ノ獨逸操典ニ
於カレタルモノ多シトス

其後射擊戰術ハ漸次ニ昂上シ來リ南阿戰爭ニ至リテ殆ト其極點ニ達セリ其結果從來ノ
攻撃隊形ニ疑ヲ抱キ爲之所謂「ブーレン」戰術ト稱スル新隊形ノ現出ト共ニ防禦ノ利益
再ヒ世上ニ喧傳セラレタリ然レトモ諸兵家研究ノ結果從來ノ原則些ノ變更ヲ來ス所ナ
カリシ續テ日露大戰役ニ會シ幾多ノ鮮血ヲ流シテ得タル經驗ハ過般頒布セラレタル操
典ニ依テ發表セラレタリ此操典ニ依レハ散開隊形ヲ以テ步兵戰闘ノ主要ナル制式トシ
射擊ヲ以テ戰闘ノ本領ト爲シタルコトハ前操典ト同様ナリ併シ特ニ白兵戰ヲ以テ決
勝ノ爲メ有爲ニシテ缺ク可カラサル戰闘手段ナルコトヲ明示セラルルニ至レリ是レ白
兵戰ハ射擊戰術ノ效果ヲ確實ナラシムル基礎ニシテ從來ノ誤解ヲ解キ貴重ナル經驗ヲ

重ネタル賜ト云ハサルヘカラス此他日露戰役ノ結果ハ一般ノ原則ニ變更ヲ來ササルノ
ミナラス從來ノ諸原則ヲ一層明確ナラシムルニ至レリ

騎兵ハ縱隊戰術ノ現出ト共ニ其戰闘的效力ヲ大ニ減殺セラレタリ然レトモ奈翁第一世
時代ニ於テハ尙之ヲ以テ豫備師團ト共ニ最後ノ突擊ニ任シタリ

爲之其編成ハ一般ニ師團若クハ軍團ニ集メ縱隊襲撃ヲ行ハシメタリ併シ其速度ハ速歩
以上ノ速度ヲ用ユル能ハサリシ其後火器ノ進歩ニ伴フテ著ク射擊ノ效力ヲ増加シ地形
地物ヲ利用スル外ニ一般ニ縱長ノ配備ヲ取り以テ騎兵ノ乘スヘキ機會ヲ與ヘサルニ至
レリ故ニ騎兵ノ用法ハ之ヲ戰闘ノ爲メニ用ユルニ非スシテ戰闘ノ前後ニ於テ敵狀ノ搜
索並ニ戰勝ヲ全フスル爲メノ追撃等ニ從事セシムヘキモノトナレリ

日露戰役ニ於テハ騎兵ノ乘馬戰ハ甚タ少ク却テ徒步戰ヲ行ヒシコト多ク又徒步戰ニ依
テ著シク效果ヲ修メタルコトアリ是等ノ關係ヨリ騎兵ハ將來乘馬步兵ニ變スルヲ可ト
スルカ如キ疑ヲ生シタルコトアリシモ之レ全ク誤解ニシテ騎兵ノ本性ハ決シテ日露戰
役ニ依テ變更ヲ來スヘキモノニ非ス

戰役ノ前後ニ於ケル騎兵ノ任務ヲ達成センニハ依然乘馬戰ニ依ルコト多キモノトス又日露戰役ニ於テハ騎兵ニ步兵ノ支援ヲ附シタルコト多カリシモ之等ハ狀況ノ必要ニ迫マラレ止ムヲ得ス取リタル所置ニシテ戰術ノ要旨ニ合シタル使用法ニ非ス反之騎兵ニ機關銃及騎砲兵ヲ配屬スル時ハ大ニ其獨立ヲ鞏固ニシ且ツ乘馬戰ノ好機ヲ自作シ得ルニ至ル故ニ將來乘馬戰ニ於ケル機關銃及騎兵ノ連擊動作ハ騎兵戰術研究上特ニ留意スルノ價値アルモノトス砲兵ハ奈翁第一世ニ至リテ初メテ機動及集團火力ヲ施スノ原則ヲ適用シ大ニ其效果ヲ收メ進連ノ狀態ニ向ヘリ爾後數多ノ星霜ヲ經テ銃砲ノ採用トナリ高度ノ效力運動ノ自在及射程ノ延伸ニ依テ益其效果ヲ發揚セリ是ニ於テカ特ニ損害多キ局地ノ攻撃ニ於テモ集團砲火ヲ以テ準備スルトキハ又難事トスルニ足ラサルニ至レリ其後兵砲材料ノ進歩顯著ナルト共ニ益砲兵戰術ノ進歩ヲ來シ機動ト火力ノ集注及分火ヲ以テ攻撃ノ末期ニ至ル迄協力發行以テ步兵ノ攻撃ニ著大ノ援助ヲ與フルニ至レリ

日露戰役ヨリノ經驗ヨリスレハ將來ノ戰場ニハ野戰築城ノ堅固ナル陣地ヲ發見スルコ

ト益多カルヘシ而シテ是等ノ陣地ノ攻撃ニ際シテハ野砲及野戰榴彈砲ノ協方動作ヲ要スルコト益切實ナルニ至ルヘシ故ニ將來是等ノ諸砲兵ト步兵攻撃ノ連擊動作ハ特ニ密接ノ關係ヲ有スルニ至ラサルヘカラス

以上陳述セル所ノ戰術隊形ノ沿革ヲ概括スレハ大集團ノ隊形ヨリ漸次獨立小部隊ノ集成トナリ各隊ノ縱深ハ大古ノ十六列ヨリ十列トナリ六列トナリ橫隊々形ノ時代ニ於テ三列トナリ奈翁第一世ノ時代ニ至リテ二列トナリ又將ニ一列隊形ノ採用ヲ希望スルニ至レリスノ如キ變化ノ基礎ハ種々アルヘシト雖モ其主ナルモノハ兵制ノ變遷殊ニ兵器ノ進歩ニ關係セリ兵器ハ科學ト共ニ今後益進歩スルナルヘシ即チ日露戰役ニ於テ機關銃ノ效果ヲ認メラレテヨリ各國共ニ機關銃隊ノ新設及増設ニ汲々タルカ如シ故ニ今日以後ニ於テハ一人ニテ一銃ヲ使用スルカ如キハ既ニ迂遠ニシテ一人ノ兵卒ニテ數挺ニ價スル携帯兵器ヲ使用スルノ時世ニ漸次到達スルニ至ルヘシ從テ兵器ノ改良ト共ニ戰術ノ隊形モ亦數多ノ變遷ヲ免レサルヘシ故ニ吾人ハ適切ナル隊形ノ選擇ニ勉メ使用スル兵器ヲシテ最モ有效ナラシムルコトニ努力セサルヘカラス然レトモ戰闘ハ決シテ兵

器ノ威力ニ依テノミ終結シ得ルモノニアラス最後ハ必ス人力ノ作用ニ訴ヘサルヘカラサルハ明ナリ故ニ吾人ハ戰役ノ經驗ト共ニ兵器ノ進歩ニ伴ヒ新戰術ノ研究ニ勉ムルト共ニ又精神上ノ鍛練ハ特ニ留意シ最後ノ勝利者タルコトヲ期セサルヘカラス

日露戰役全体ヲ通シテ常ニ寡兵ヲ以テ衆敵ヲ破リ連戰連捷ノ名譽ヲ博シタルハ決シテ戰術及戰術隊形ノ優秀ナルノミナラサルヲ回顧セハ蓋シ大ニ覺ル所アルヘシ

尙最後ニ吾人ハ日露戰役ノ經驗ニ依リ將來我々ノ研究ヲ要スル一二ノ事項ヲ述ヘントス該戰役ノ經驗ニ依レハ今日迄ノ諸原則ハ大体ニ於テ變化ナク益其原則ノ基礎ヲ確實ニシ範圍ノ擴張セラレタルモノアルヲ覺エ其内特ニ主要ト認ムルモノヲ舉クレハ次ノ如シ

一、戰鬪ニ於テ勝利ヲ得ント欲セハ例令全体ノ兵力ハ劣勢ナルモ必ス攻撃ヲ行ハサルヘカラス

二、攻撃ヲ有利ニ指導スル爲メニハ包圍ヲ行フ事益必要ニシテ殊ニ築城陣地ニ據ル敵ニ對シ然リトス而シテ火器ノ進歩ニ依リ我正面ハ比較的堅固ナルヲ以テ正面ノ危險

ニ深ク顧慮スルヲナク包圍運動ヲ行フヲ得ルニ至レリ

三、歩砲兵ノ協同動作ハ更ニ一層ノ獎勵ヲ要シ爲之如何ナル方法手段ヲ用ユヘキヤヲ研究セサルヘカラス

四、頑強ニ陣地ヲ守備スル敵ニ對シテハ如何ナル攻撃法ヲ用ユルモ射撃ノミニテハ決シテ之ヲ擊退スル能ハス必ス銃劍突撃ヲ併用セサルヘカラス

五、機關銃ノ效果ヲ充分ニ調メラレタルヲ以テ之カ用法ニ就テ將來充分ノ研究ヲ要ス

六、攻撃ト防禦トヲ問ハス野戰工事ノ必要ナルト同時ニ野戰榴彈ノ必要ヲ來セリ

七、大兵團ヲ指揮スルニハ通信及交通ノ設備最モ必要ナリ

八、大軍ノ會戰ニハ多數ノ日數ヲ要ス故ニ軍人ノ体力氣力並ニ軍紀ノ養生ハ益必要ナリ又補充機關整備ヲ計リ補充ノ不足ヲ訴ヘシメサルヘカラス

第二編

第一章 歩兵ノ戰鬪

第一節 中隊

中隊編成

(一)中隊ノ編成

中隊ヲ三小隊ニ編成スヘキヤ或ハ四小隊ニ編成スヘキヤニ就テハ各利害アリ戰鬪單位ノ中隊ハ運動輕捷指揮容易ナルヲ主眼トシ複雜ナル編成ヲ避クルヲ可トス

中隊利害

中隊ノ密集隊形ハ横隊中隊縦隊、側面縦隊ニシテ而シテ縦隊ハ横隊ニ比シ左ノ利害ヲ有ス横隊ノ利トスル所

- 一、射撃ニ頗ル便ナリ
- 二、散開容易ナリ
- 三、敵火ノ效力ヲ減殺ス

横隊ノ害トスル所

- 一、團結ノ鞏固ヲ欠クヲ以テ指揮ニ不便ナリ
- 二、運動殊ニ方向變換困難ナリ
- 三、地形ニ適應セシムルヲ難シ
- 四、敵ニ大ナル目標ヲ呈ス
- 五、側面薄弱ナリ

要スルニ横隊ハ火戰ノ隊形ニシテ縦隊ハ運動ノ隊形ナリ故ニ戰術ノ要求ニ應ジ敵火ノ效力ヲ減殺スヘキ顧慮ト同時ニ運動ノ輕易ニ注意シ隊形ノ撰擇ヲ誤マラサルヲ要ス

(二) 中隊縦隊

中隊縦隊ニ於ケル各小隊間ノ距離ハ各國其數ヲ異ニシ現行操典ハ之ヲ八步ニ規定セリ此距離ハ各小隊ノ秩序ヲ確實ニ保持シ以テ中隊ノ指揮ヲ容易ナラシムルヲ目的トシテ定メサルヘカラス若シ擴キニ過クレハ指揮困難ニシテ密集隊形ノ效力ヲ損シ狹キニ過クレハ先頭小隊ノ動搖ハ直ニ後方小隊ニ波及シ隊形ノ維持ヲ困難ナラシム是等ヲ顧

中隊縦隊ノ距離

慮スルトキハ通常小隊正面ノ約四分ノ一ヲ保タシムルヲ以テ概ネ適當ナルモノト認ムルコトヲ得ヘシ

三二

中隊縦隊ハ正規隊形ニシテ密集隊形ノ基礎ナリ運動及指揮ノ容易ナルコト遙ニ横隊ニ卓越セリ而シテ之ヲ側面ニ向クル時ハ更ニ便利ナル隊形トナリ即チ併立縦隊ナリ敵ノ砲火ニ對シテ其損害少ク又各小隊ノ運動ハ側面縦隊ノ時ニ同シキヲ以テ僅少ノ障礙物ニ遭遇スルモ小隊各個ニ之レヲ避クルヲ得ヘシ故ニ併立縦隊ハ通過困難ナル森林及夜間密集隊形ヲ以テ運動セントスルトキハ特ニ便利ナル隊形ナリトス

(三) 中隊ノ戰鬪隊形

歩兵ノ戰鬪ハ散開密集兩隊形ノ連擊ヨリ組織セラレ而シテ中隊ハ其單位ヲナス故ニ中隊ハ稀ニ孤立シテ戰鬪スルコトアルモ多クハ大隊内ニ在テ戰鬪スルモノトス然ルトキハ中隊長ハ大隊ノ目的ニ從ヒ各中隊協同動作ヲ爲シ得ル如ク大隊長ヨリ任務ヲ受ルモノトス

戰鬪開始ニ當リ中隊長ハ先ツ一小隊ヲ散開ズヘキヤ二小隊ヲ散開スヘキヤ又ハ同時ニ

中隊ノ戰鬪初期

中隊全部ヲ散開スヘキカヲ決セサルヘカラス特種ノ場合ニアリテハ戰鬪ノ始メヨリ二三小隊ヲ同時ニ散開スルコトアルハシト雖モ全中隊ノ散開ハ成ルヘク之ヲ避ケ通常小隊毎ニ逐次ニ散開シ勉メテ多クノ援隊ヲ貯存スルコトニ注意スルヲ要ス是レ中隊カ其受クル所ノ任務ヲ獨立ヲ以テ遂行センカ爲メ特ニ必要ナルモノニシテ大隊長ノ保有スル豫備隊ノ如キハ決シテ胸算スヘキモノニ非ス

中隊ノ散開

散開ハ横隊中隊縦隊側面縦隊ヨリ隨意ノ方向ニ施行シ得ヘシ而シテ決戰ヲ行ハントスル場合ニ於ケル中隊ノ正面ヲ約百五十米ニ規定セリ之レ大隊ノ銃數約千挺ヲ基礎トシ中隊ノ人員カ疾病負傷又ハ其他ノ事故ニ依リ約二百人ニ減シタル場合ニ於テモ尙能ク獨力ヲ以テ中隊ノ任務ヲ遂行シ得ヘキコトヲ經驗ニ依テ確メタル後決定セルモノナリ而シテ中隊ハ一小隊ヲ散開スルモ又二小隊ヲ散開スルモ共ニ最初ヨリ此正面ヲ保有スルヲ通則トス而シテ一小隊ヲ散開セル場合ニ於テハ約二米ニ一人ノ比例ニテ散兵線稀薄ナルカ如シト雖モ兵器進歩セル今日ニアリテハ尙其正面ハ堅固ナルモノニシテ指揮ノ到達スル範圍内ニ於テ散兵線カ稀薄ナレハナル丈ケ多クノ損害ヲ減少シ得ルノ利益

アリトス而シテ百五十米ノ正面ニ散開セル小隊ハ尙能ク一人ノ小隊長ニテ指揮シ得ヘシ蓋シ一小隊ヲ散開スル如キ最初ノ時期ニアリテハ射撃モ緩除ナルヘク從テ戰線亦喧燥ナラサルヘケレハナリ

最初一小隊ヲ散開シテ後戰鬪實行ニ決シ火力ノ發揚ヲ要スルニ至リテハ次ノ小隊ヲ伍間ニ増加スヘシ(中隊ニ在リテハ伍間増加ヲ通常トス)而シテ中隊ノ全部ヲ同時ニ散開スル如キハ全ク特別ナル戰況ニシテ戰鬪ノ繼續ヲ必要トスルコトナク急ニ猛烈ナル火力ヲ要點ニ集注スルヲ必要トスル時ニ限ルモノニシテ斯ノ如キ場合ニ於テハ又正面ノ廣狹等ヲ顧慮スルヲ要セサルモノトス

(四) 援隊ノ用途

援隊ノ用途(操典第五百十)ハ散兵線ノ増加シ又ハ敵襲ノ虞アル側面ヲ掩護スルニ在リ援隊ハ適切ナル時機ニ於テ確實ニ大戰ヲ援助シ得ヘキ距離ニアラサルヘカラス

(五) 援隊ノ隊形

援隊ハ指揮及運動ノ容易ナル隊形ヲ選用スルコト固ヨリ必要ナルヘシト雖モ援隊ノ現

援隊ノ用
途
援隊ノ形

出スル時期ニ於テハ通常敵火ノ危害大ナルヘキヲ以テ此場合ニ於テハ敵火ノ效力ヲ減殺スルコトヲ主トセサルヘカラス之カ爲メニ操典ハ散開隊形ヲ取り得ルコトヲ規定セリ然レトモ援隊ハ其性質上可成密集隊形ヲ維持スルコト必要ナルヘキヲ以テ過早ニ散開隊形ニ移ルコトヲ避ケ又一旦散開隊形ニ移ルコトアルモ地形又ハ狀況之レヲ許スニ至ラハ速ニ密集隊形ニ復スルコトヲ顧慮セサルヘカラス

(一) 散兵線ノ運動

散兵線ノ運動ハ通常速度ノ速度ヲ以テ秩序ト連撃ヲ維持シツツ行フモノトス而シテ敵ノ有效射撃下ニ在リテハ危害ヲ減殺スル爲メ一地區ヨリ一地區ニ達スルニ駈歩ヲ用ヒサルヘカラス而シテ我有效射撃距離ニ達シタル後ハ此停止間ヲ利用シ射撃ヲ以テ敵ヲ制壓シ以テ嗣後ノ前進ヲ準備スヘキモノトス其一地區ヨリ一地區ニ移ル躍進ノ距離ハ攻撃ノ進捗ヲ速カナラシムル爲メ可成長遠ナルヲ良トス然レトモ百米以上ニ及フトキハ敵火ノ危害ト我時息ノ關係上尙繼續スル能ハサルニ至ルヘク又強テ前進セシムルモ停止後直ニ精密射撃ヲ行フ能ハサルニ至ルヲ以テ先ツ百米ハ躍進距離ノ最大限ナルヘ

散兵ノ運
動

躍進距離

シ而シテ此距離ハ又三四十米ヲ下ラサルヲ要ス實驗ニ依ルニ躍進ヲ始メントスルヤ豫メ準備シアル敵ハ直ニ躍進部隊ニ向テ射撃ヲ集注スヘク約二十米ヲ進ム頃其第一發ヲ蒙リ三四十米ニ至ル頃其第二發ヲ蒙ルニ至ルヘシ故ニ短距離ノ躍進ハ却テ損害ト混雜トヲ生スルノミニシテ其利益尠キモノトス

散兵線ニ於ケル運動ノ單位ハ中隊ナリ故ニ第一線ニ在ル各中隊ハ地形及我射撃ノ效果ヲ利用シ機ヲ逸セス中隊毎ニ前進スルコトヲ勉ムヘシ一中隊ノ前進ハ自然他中隊ノ前進ヲ促進スルモノニシテ中隊相互ノ連撃ハ互ニ前進ヲ競フコトニ依テ維持セラルルモノトス若シ敵火ノ狀況ニ依リ中隊全部射撃ヲ中止シテ前進スルノ困難ナル場合ニ於テハ前進部隊ト射撃部隊トニ區分スルヲ要ス然レトモ小隊以下ノ區分ハ中隊長ノ指揮ヲ繁雜ニシ前進ヲ遲緩シ且ツ相互ニ射撃ノ妨害ヲ爲スニ至ルヘキヲ以テ可成之ヲ避クルヲ要ス

(七) 散兵線ノ射撃

散兵線ニ於ケル射撃ノ指揮ハ主トシテ中隊長之ニ任ス中隊長ハ中隊ノ射撃目標及散兵

線ノ運動ヲ規定シ比隣部隊トノ協力彈藥ノ補充ニ就テ顧慮スヘキモノトス操典ニ於ケル此明瞭ナル區分ハ各官ノ任務ヲ盡スニ最モ便利ナラシメタルモノトス而シテ射撃指揮中目標ノ撰定ハ最モ緊要ナルモノナルヲ以テ中隊長ハ先ツ戰術上最モ價値アルモノヲ撰テ之ヲ小隊長ニ示ササルヘカラス通常我攻撃動作ヲ最モ多ク妨害スルモノハ最モ價値アルモノニシテ即チ攻撃點ニアル歩兵及攻撃歩兵ノ動作ヲ妨害スル砲兵等ハ皆好目標ナリトス而シテ是等ノ目標モ亦時機ニ依テ其價値ヲ異ニスヘキヲ以テ中隊長ニ依テ撰擇セラレサルヘカラス

第二節 大隊

(一) 大隊ノ密集隊形

大隊ノ正規隊形ハ縱隊橫隊トス又應用隊形トシテハ大隊縱隊及重複縱隊トアリ縱隊橫隊ハ地形又ハ狀況ニ由リ縱長ヨリモ正面ノ廣キヲ要スルトキノミ集合及運動ニ用キラレ又別命アラサレハ戰鬪後ノ集合ニ用ヒラル而シテ此兩隊形ノ利害ハ概シテ中隊ニ於

ケル横隊及中隊縦隊ノ利害ノ程度ヲ高メタルモノト見做スヲ得ヘシ即チ縦隊横隊ハ運動殊ニ方向變換困難ナルノミナラス地形ニ適合セシムルコト不便ナリ然トモ敵火ノ危害ヲ蒙ルコト比較的少シ大隊縦隊ハ中隊縦隊ノ縦深ノ加ハリシモノアルヲ以テ運動容易ニシテ又行軍縦隊ノ長徑ヲ短縮スルニ最モ便利ナル隊形ナリ然レトモ展開ニ移ルトキハ縦隊横隊ノ如ク迅速容易ナル能ハス今此兩隊形ノ用處ヲ擧クレハ概ネ次ノ如シ

一、大隊縦隊ハ行軍隊形ヨリ戰鬪隊形ニ移ル間ノ開進並ニ展開中ノ運動（聯隊内ニ於ケル）殊ニ遭遇戰ニ於テ行軍鬪隊ヨリ直ニ展開スルノ危険ヲ避クル爲メ可成行軍縦隊ノ縦長ヲ短縮シ置クノ必要アルトキニ用ヒラル此終リノ場合ニ於テ先頭中隊ハ行進間ニ直ニ中隊縦隊ヲ編成シ第二以下ノ中隊モ亦行進間ニ中隊縦隊ヲ編成シツツ距離ヲ閉縮スルモノトス其他大隊縦隊ハ縦深大ナル地區ニ於ケル集合特ニ行軍間行進路ノ一側ニ一時集合シテ休憩セントスル際地形之レヲ許セハ最モ能ク應用セラルル隊形ナリトス又此隊形ニ於テ各中隊ヲ側面向ニ爲ストキハ更ニ運動性ヲ増加スルモノトス

二、縦隊横隊ハ大隊縦隊ニ比スレハ敵火ノ危害ヲ蒙ルコト少キヲ以テ敵ノ射擊界内ニ於

大隊ノ各
隊形ノ利
害比較

ケル運動ニ用ユル事ヲ得又展開前ノ集合（大隊内ニ於ケル）並戰鬪後ノ集合ニ用ヒラル此終リノ場合ニ於テハ各中隊ハ横廣キナリ概ネ一線上ニ混入スルカ故ニ頗ル迅速便利ニ集合シ得ヘシ又此隊形ニ於テ各中隊ヲ側面向ニスルトキハ更ニ運動性ヲ増加シ而シテ各小隊ノ間隔ヲ開クトキハ特ニ敵火ノ危害ヲ避ケ得ヘシ又敵ニ對シ多數ノ銃劍ヲ使用シ得ルノ便アリ故ニ直ニ接戰ヲ豫期スル森林戰又ハ夜戰等ニ於テハ第一線ニ用ヒラルル事多カルヘシ但シ普通ノ攻撃ニ於テ最後ノ突撃ニ使用スル場合ニハ正規ノ縦隊横隊ヲ用ユルヲ便ナリトス

（二） 大隊ノ戰鬪

大隊ノ孤立セル時ハ勿論併立ノ場合ニ於テモ四個ノ中隊ヲ適當ニ使用シ以テ其負擔セラル正面ノ戰鬪任務ヲ獨立シテ遂行セサルヘカラス之カ爲メ特別ノ場合ヲ除クノ外全中隊ヲ同時ニ第一線ニ展開スルコトナク必要ナル縦長區分ヲ爲スヘキモノトス而シテ何中隊ヲ第一線ニ展開スヘキヤハ狀況ニ從ヒ大隊長自山ニ撰擇スヘキモノトス

大隊カ大部隊内ニアリテ戰鬪スルトキハ多クハ其兩翼ヲ他部隊ニ依托シ得ヘキヲ以テ

大隊孤立
ノ場合

大隊他隊
内ノ戦闘

一意其正面ニ向テ戦闘任務ヲ遂行スヘク如キ場合ニアリテハ始メヨリ多クノ中隊ヲ第一線ニ展開スルモ後ニ至リ正面變換ノ必要ヲ生スルコト少ク且ツ各中隊ノ混淆ヲ豫防シ得ルモノトス

大隊長ハ戦闘ノ初メニ於テ狀況之ヲ許セバ各中隊長ヲ面前ニ集メ現在ノ狀況ヲ示シ第一線ニ用ユヘキ中隊「豫備隊各中隊ノ關係位置」要スレバ運動ノ基準トナルヘキ中隊等ニ關シ命令ヲ與フヘシ此命令ニ依リ各中隊長ハ敵狀大隊ノ目的及中隊ノ任務位置等ヲ了知セサルヘカラス是レ將來共同動作ヲ爲スノ基礎ニシテ其他ノ實行手段ニ至リテハ全ク中隊長ニ一任シ其獨斷ニ委スヘキモノトス

大隊戦闘
命令

大隊ノ展開ハ前方「前進ト停止ノ別ナリ」ニ於テスルヲ便トス此方法ニ依ルトキハ同時ニ攻撃ヲ進捗シ得ルノ利アリ

大隊攻撃
目標

展開シタル各中隊ヲシテ大隊ノ目的ニ向テ共同動作セシムル爲メニハ各中隊ノ運動法ヲ規定セサルヘカラス即チ大隊ノ攻撃目標ヲ目視シ得ル中ハ之レヲ行進目標トシテ示スヘシ若シ敵ニ遠ク或ハ地形ノ關係上大隊ノ攻撃目標ヲ目視シ得サル場合ニ於テハ基

豫備隊

準中隊ヲ定メテ之ニ共同ノ行進目標ヲ示シ他ノ中隊ヲシテ之レニ準フテ行進セシム然レトモ攻撃目標ヲ目視シ得ルニ至ラハ必ス之レヲ示スヲ可トス而シテ大隊ノ攻撃目標ハ即チ中隊ノ共同目標ナリ

第二線中隊ハ其用途ニ從ヒ翼後或ハ中央後ニアルモノトス而シテ其距離ハ第一線ニ向テスル敵火ノ危害ヲ同時ニ蒙ラサルヲ願慮シ最初ノ時期ニ於テハ約三百米ヲ適度トス蓋シ此距離歩兵ノ集束彈及榴霰彈ノ被彈地ノ關係ヨリ割出サレタルモノニシテ一榴霰彈ノ有效深長ハ左ノ如シ

大隊正面
變換

射程	被彈地
五〇〇 ^米	三二七 ^米
一〇〇〇	三一六
一五〇〇	三一〇
二〇〇〇	三〇五
二五〇〇	三〇一
三〇〇〇	二九六

展開セル大隊ノ正面變換ヲ行ハサルヘカラサルニ至ルハ決シテ有利ノ狀況ニアラス蓋シ一旦展開セル大隊ノ正面變換ヲ行フトキハ爾後各中隊ノ連擊並ニ共同動作ハ益困難ナルニ至ルヘキヲ以テナリ然レトモ遭遇戰等ニ於テ敵ニ先ンシテ展開スルヲ要スルトキハ敵狀未タ明瞭ナラサルモ速カニ展開セサルヘカラス從テ展開後ニ於テ正面變換ノ止ムヲ得

サルニ至ルヘシスノ如キ場合ニ於テハ大隊長ハ新目標ヲ指示シ各中隊ヲシテ各個ノ新目標ニ正對セシム若シ方向變換ノ度大ナルカ又ハ大隊ノ一部ヲ雖モ既ニ戰闘ヲ開始シタル場合ニ於テハ其動作非常ニ困難ナルヘキヲ以テ寧ロ第二線ノ中隊ヲ新正面ニ展開シ不要ニ歸セシ中隊ヲシテ第二線ニ移ラシム而シテ之レカ爲メニ各中隊相互ノ關係ヲ變シタルトキハ大隊長ハ更ニ命令ヲ以テ嗣後ノ配置ヲ規定シ任務ヲ課スルヲ要ス

第一線ノ各中隊長ハ大隊ノ攻撃目標ニ依リ自己ノ行進目標ヲ決定シ之ニ向テ極力前進ヲ圖ラサルヘカラス而シテ敵火ノ爲メニ密集部隊ヲ保持スル能ハサルニ至リ始メテ散開ヲ行ヒ而シテ射撃ヲ以テ敵ヲ制壓スルニ非サレハ前進ヲ繼續シ難キニ至ルト同時ニ射撃ノ效力ヲ認ムルニ至テ茲ニ始メテ射撃ヲ開始スヘシ故ニ中隊ノ散開ハ射撃スル爲メニノミ行フモノニ非ス又散開シタリトテ直ニ射撃ヲ開始スヘキモノニ非ラス即チ散開スルコトハ敵火ノ危害ヲ避クル爲メニ行フ一種ノ隊形變換ト見做ス場合アルヘシ又過早ニ射撃ヲ開始スルトキハ攻撃ノ進捗ヲ遅延スルニ至ルヘキヲ以テ射撃開始ハ可成遅クシ敵火ノ危害ヲ減セントスル散開ハ可成早クスルヲ有利トス然レトモ散開ト射撃

開始トハ必スシモ同時ニ起ルヘキモノニアラス大隊長一旦戰闘實行ニ決シ第一線中隊ニ前進ヲ命シタル後ハ其前進ヲ中止セントスルトキ或ハ中隊カ命令ノ範圍外ニ脱逸セントスルトキノ外ハ大隊長ハ中隊ノ動作ニ干涉スルコトナク主トシテ第二線中隊ノ使用法及彈藥ノ補充等ニ意ヲ用ユルヲ要ス第二線中隊ヲ増加スルニ當リテハ可成各號令單位ノ混淆ヲ避クルヲ可トス併シ大隊ニ於テハ伍間増加ハ勢ヒ免レ難キヲ以テ諸中隊混淆ノ場合ニ於テ尙此單位ノ價值ヲ減セサル如ク教育スルコト必要ナリトス

戰闘後大隊ノ集合ハ行進間ニ於テハ行進方向ニ停止間ニアリテハ其線上ニ行フヲ使トス此際中隊ハ直ニ中隊縱隊ヲ作り而シテ大隊ハ之ヲ橫接シテ縱隊橫隊ヲ編成スルモノトス

大隊長ハ大隊ノ戰闘ヲ監視シ兼テ第二線部隊ヲ使用スルニ便利ナル地ニ占住スルヲ要ス而シテ大隊他ノ團結内ニ在ルトキハ又直屬上官ノ位置ヲモ顧慮スルヲ要ス

第三節 聯隊

(一) 聯隊ノ密集隊形

聯隊ノ密集隊形トシテハ只集隊形ヲ規定シアルノミ是レ聯隊カ密集隊形ヲ以テ齊一ノ運動ヲ爲スノ必要少ナキニ依ルモノニシテ若シ聯隊ヲ一地ヨリ一地ニ移動セントスルトキ又ハ行軍縱隊ヨリ集隊或ハ展開セントスルトキハ大隊毎ニ運動セシムルヲ以テ足レリトス故ニ極言セハ集隊形ノ如キハ殆ント之ヲ規定シ置クノ必要ナシト云ヒ得ヘシ何トナレハ集隊形ハ主トシテ地形ニ適應セシムルヲ要スルモノナルモ地形ハ千差萬別限リナキヲ以テ集隊形ヲ規定シ置テモ之レニ依ル能ハサル場合多カルヘシ故ニ集隊ハ只集リ得ルヲ以テ足レリトシ其隊形ノ如キハ深ク問フ所ニ非ルヘシ

集隊形左ノ如シ

- 一、縱隊橫隊ニ在ル各大隊ヲ一線二線又ハ三線配置セルモノヲ正規トス
- 二、大隊ノ間隔及距離ハ通常二十歩トス
- 三、機關銃隊、衛生部員、小行李ノ位置ハ聯隊長臨時ニ定ム

(二) 聯隊ノ戰鬪展開

聯隊ハ平時ヨリ全ク獨立セル一單位ヲ成形シ其歴史教育及團結ニ就テハ特種ノ習慣ヲ有ス故ニ獨力ヲ以テ戰鬪ヲ開始シ之ヲ實行シ且ツ之ヲ終結スルノ機關ヲ備ヘ以テ殆ント完全ニ諸種ノ戰鬪任務ヲ遂行スルハ最モ適切ナルモノトス從テ之ヲ分割シ或ハ之ヲ混淆シテ使用スルカ如キハ萬止ムヲ得サル場合ニ限ルモノトス

聯隊ハ其獨立シテ戰鬪任務ヲ遂行スルコトヲ必要ナルタケ展開ニ於テハ通常一大隊ヲ第一線ニ用ユ然レトモ併立ノ場合ニ在リテハ其任務ハ多クハ正面ニ向テノミ戰鬪ヲ遂行スルヲ以テ足レリトスルカ故ニ最初ヨリ二大隊ヲ展開シ得ヘシ而シテ一大隊ヲ展開シタル場合ニ於テ戰鬪實行ニ際シ他ノ大隊ヲ増加スルトキハ通常之ヲ以テ戰鬪正面ヲ擴張スルモノトス

聯隊ハ又稀ニ三大隊ヲ第一線ニ展開スル場合アリトス例ハ遭遇戰ニ於ケル前衛聯隊ノ如シ此際前衛ハ其任務ヲ盡ス爲ニ必要ナルトキハ全力ヲ擧テ展開セサルヘカラス是レ前衛ノ後方ニハ本隊續行シ來ルヲ以テ豫備ヲ貯フルノ必要ナケンハナリ
展開ニ際シ聯隊長カ第一線ニ何大隊ヲ用ユヘキカハ當時ノ狀況ニ基キ自ラ適當ニ之ヲ

決セサルヘカラス而シテ聯隊ノ戰鬪正面ハ第一線ニ展開セル大隊數ニ依テ定マルモノニシテ其最小限ハ一大隊ニシテ最大限ハ三大隊ナリ然レトモ普通ノ狀況ニ於テハ聯隊ハ飽迄獨力ヲ以テ其戰鬪任務ヲ遂行セサルヘカラスアルヲ以テ通常一大隊ノ豫備ヲ貯フルヲ必要トス然ルトキハ聯隊ノ戰鬪正面ハ通常二大隊面ヲ超過スルコト稀レナリト云ヒ得ヘシ

展開ノ要領ハ大隊ノ展開法ト異ナルコトナシ即チ各大隊ハ各個ニ適當ナル隊形及方法ヲ以テ任務ニ向テ分進ス而シテ行軍縱隊ヨリ直ニ展開ノ爲ニ分進スルトキハ各大隊ハ行進中ニ於テ適宜ニ其縱長ヲ短縮スヘシ即チ各中隊ハ先ツ中隊縱隊ヲ作リテ先頭中隊ニ距離ヲ閉收シ以テ大隊縱隊ヲ作ルモノトス

攻撃目標

展開シタル聯隊ノ運動ヲ規定スルニハ防禦ニ在リテハ各大隊ニ一定ノ占領區域ヲ指定シ攻撃ニ在テハ各大隊ニ聯隊ノ攻撃目標及戰鬪地形ヲ指示シ若クハ大隊毎ニ攻撃目標ヲ示ス場合モナキニ非ス

一、各別目標ヲ與フル場合、聯隊ハ元來獨立シテ戰術任務ヲ果スヘキモノナルカ故ニ

其正面モ從テ廣大ナリ故ニ共同目標又ハ基準大隊ニ依テ運隊セシムルトキハ運動ノ自由ヲ妨ケラレ時トシテハ隣接大隊ト衝突混雜ヲ來スルニ至ルヘシ故ニ聯隊ノ攻撃目標決定セハ速ニ各別目標ヲ與フルヲ便トス而シテ此目標ハ同時ニ大隊ノ攻撃目標ナルヘキカ故ニ前進間之ニ關スル諸偵察(敵狀及地形ニ關スル)ヲ迅速周密ニ實施シ得ルノ利益ヲ併有ス然レトモ彼我ノ距離遠隔シテ聯隊ノ攻撃目標未タ確定シ能ハス或ハ中間ノ地形錯雜シテ直ニ攻撃目標ヲ確實ニ指示シ能ハサルトキハ止ムヲ得ス他ノ方法ニ依ラサルヘカラス而シテ防禦陣地ニ據ル敵ヲ攻撃スル等ノ場合ニシテ敵線ヲ目視シ得ルニ至ラハ必ラス此方法ニ依ラサルヘカラス

二、聯隊カ未タ攻撃目標ヲ指示シ得サル場合ニ於テモ亦展開ヲ行フコトナシトセス又攻撃方向ハ既ニ確定スルモ地形ノ關係等ニ依リ明ニ各大隊ニ各別目標ヲ指示シ得サルコトアルヘシ斯ノ如キ場合ニ於テハ共同目標ヲ與フルノ止ムヲ得サルニ至ルヘシ而シテ其目標ハ可成遠ク選定シ各大隊ヲシテ其内翼ニ於テ重複衝突セサル如ク規定スヘシ此方法ハ遭遇戰若クハ陣地ニ據ル敵ヲ攻撃スル場合ニ於ケル展開ノ初期ニ用

聯隊正面
變換

ヒラル而シテ攻撃目標ヲ目視シ得ルニ至ラハ速ニ各別目標ヲ示スモノトス

三、聯隊ノ如キ廣正面ニアル部隊ヲシテ併立シテ運動スル他部隊ニ準セシムルコトハ困難ナルモノニシテ長ク此方法ヲ繼續セシムルコト能ハス然レトモ只聯隊ノ前進方向ノミ確定セル場合ニ於テ展開シ未タ他ノ目標ヲ與ヘ難キ狀況ニ在リテハ止ムヲ得ス此方法ニ依ラサルヘカラス此方法ハ敵狀未タ詳ナラサルモ敵ニ先ンシテ展開シ先制ヲ以テ交戦セントスル場合ニ多用ヒラル此場合ニ於テモ亦敵線ヲ目視シ得ルニ至ラハ各別目標ヲ示ササルヘカラス

展開シタル聯隊ノ正面變換ハ兵力ノ關係上最早大隊ノ如ク容易ニ之レヲ行フヲ得ス然レトモ遭遇戰等ニ於テハ敵狀ハ逐次ニ判明スヘキヲ以テ之ニ從テ勢ヒ正面變換ヲ爲ササルヘカラスニ至ルヘシ斯ノ如キ場合ニ在テハ後方大隊ヲ新方面ニ展開シ既ニ不要トナリタル部分ヲ集合シテ豫備トナスノ方法ニ依ラサルヘカラス而シテ正面變換ハ多クハ爾後ノ戰團經過ヲ混雜ナラシムルヲ以テ聯隊長ハ第一ノ展開ヲ部署スルニ先テ目的及地形ヲ顧慮シ第一線ニ用ユヘキ兵力ヲ節約シ以テ動作ノ自由ヲ保持スル事必要ナ

リトス

聯隊ノ集
合
聯隊長ノ
位置

聯隊併立セル場合ニ於テ第二線大隊ハ主トシテ正面ニ於ケル戰團ノ遂行ニ用ヒラルヘキヲ以テ此大隊ハ爾後ノ用途ト地形トヲ顧慮シ第一線ニ向テスル敵火ヲ蒙ラサル距離ニ位置スヘシ而シテ之ヲ側方後ニ置クヘキカ中央後ニ置クヘキカ聯隊以下ノ部隊ニ在リテハ全部大ナル關係ヲ有セサルヲ以テ最初ハ可成地形ヲ利用スルコトニ重キヲ置キ其用途確定セハ直ニ其方向ニ移スヘシ

展開セル聯隊ノ集合ハ各大隊ノ作レル縱隊橫隊ヲ橫方向ニ連接スルヲ通常トス然レトモ地形之ニ適合セサルトキハ適宜隊形ヲ選定スルモノトス

聯隊長ノ位置ハ大隊長ニ就キテ述ヘタルモノニ同シ

第四節 旅團

(一) 旅團ノ密集隊形

旅團ハ聯隊ヨリモ更ニ密集隊形ヲ以テ齊一ニ運動スル場合ナシ從テ集合隊形ヲ以テ運

動スルノ必要ヲ認ムルコトナシ故ニ極言スレハ集合隊形ノ制式ハ不要ナリト云ヒ得ヘキコト尙聯隊ノ條下ニ於テ述ヘタルカ如シ即チ旅團ノ集合ニ際シ旅團長ハ各聯隊長ニ其聯隊ノ集合スヘキ地域ヲ示スヲ以テ足レリトス聯隊長ハ示サレタル地域内ニ隨意ノ隊形ヲ以テ其聯隊ヲ集合セハ即チ旅團集合ノ目的ハ達シ得ラルヘシ密集隊形内ニ距離間隔ヲ存スル目的ハ各部隊ノ秩序ヲ正シク維持スルニ在リ而シテ此距離間隔ハ部隊ノ大ナルニ從ヒ自然大ナラサルヘカラス然レトモ行軍縱隊ニ於ケル各隊間ノ距離ト同シク始終一定ニ保持スルノ必要ナク又強テ一定シ置クコトハ却テ其目的ニ合セサルモノニシテ敵狀及地形ニ由リ適宜ニ伸縮スルヲ得ルモノトス然レトモ他ニ關係ナキニ至テハ制規ノ距離間隔ニ複スルヲ要ス是レ指揮掌握及運用ニ便ナレハナリ

(二) 旅團ノ戰鬪展開

旅團ハ歩兵ノ最大單位ナリ故ニ旅團内ニ於ケル聯隊ノ使用ハ旅團長ノ意圖ニ從ヒ重層或ハ併立シテ使用シ得ヘシ又戰況ノ必要ニ際シ二線或ハ三線ノ配置ヲ取ルコトモ元ヨリ制限スル所ニ非ラス併シ聯隊ノ性質及組織ノ上ヨリ云フトキハ聯隊ハ他ノ援助

ヲ借ルコトナク全ク獨立シテ諸種ノ任務ヲ果シ得ヘキヲ以テ其團結ノ鞏固ヲ利用シ之ヲ獨立シテ使用スルハ最モ便利ニシテ且ツ最モ其ノ要ヲ得タルモノト云フヘシ故ニ旅團ノ展開ニ於テハ各聯隊ニ全ク獨立ノ任務ヲ與ヘ併立シテ使用スルヲ原則トス即チ旅團ノ任務ヲ兩聯隊ニ適當ニ配當シ兩聯隊ヲシテ相連擊シ得ル如ク展開セシムルモノトス然ルトキハ旅團ノ戰鬪正面ハ兩聯隊カ併立シテ適當ノ正面ヲ取ル事ニ依テ得ラルルモノトス而シテ概ネ旅團ノ正面ハ千五百米ヲ超過セサルヲ可トス此計算ノ基礎蓋シ次ノ如キモノニ依リシナラン

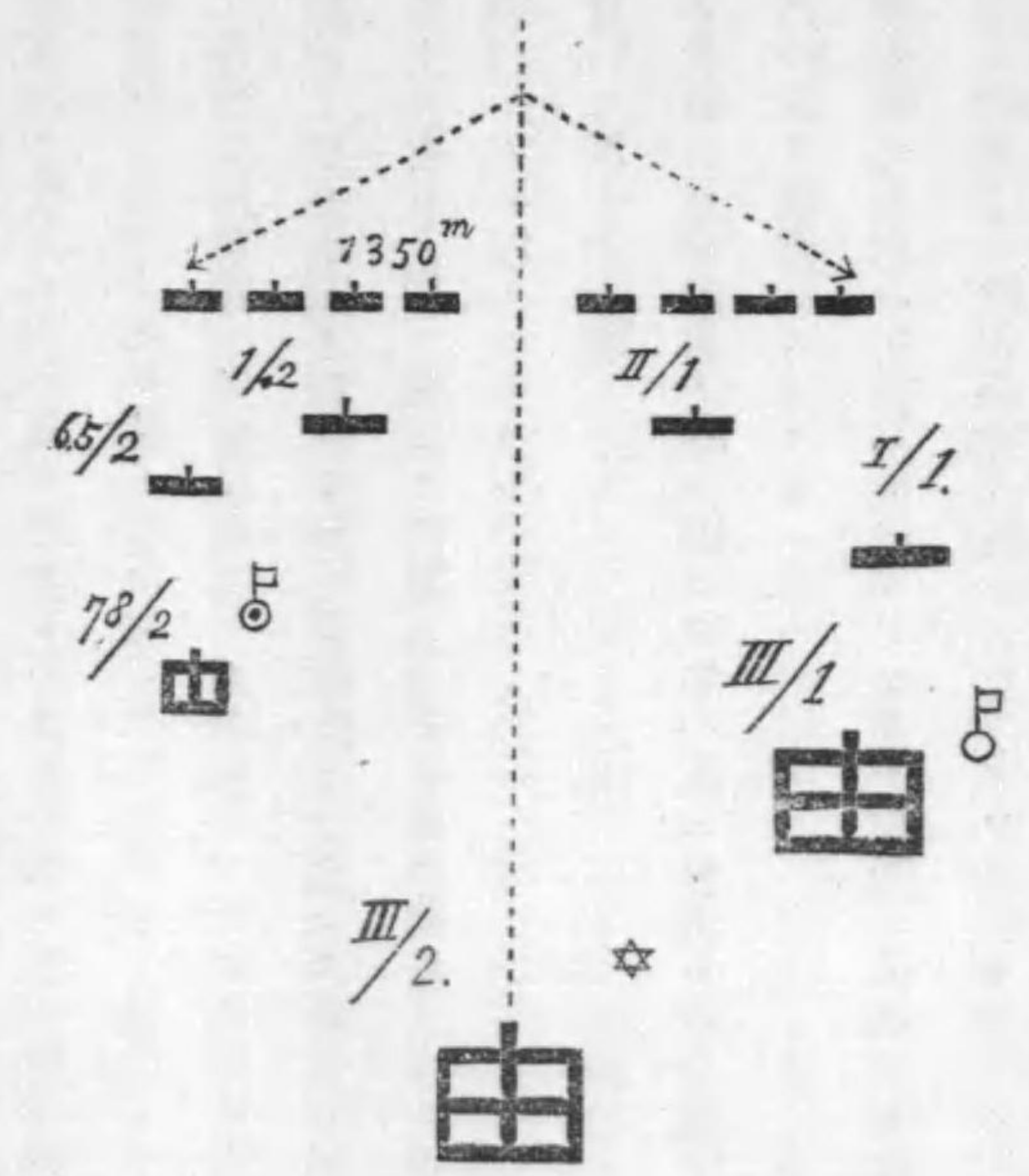
戰實行ニ着手ノ時期

此ノ正面ハ重層配備ノ時モ同シク第一線ニ展開スル中隊ハ九乃至十中隊ニシテ而モ尙二三中隊ヲ豫備トスルヲ得ヘシ

重層配備ノ不利ハ聯隊ノ混淆ニアリ蓋シ前衛ノ聯隊カ本隊ノ開進又ハ展開ヲ掩護スルニ際シ飽ク迄モ敵ノ前進ヲ拒止シ其任務ヲ遂行セントスル場合ニアリテハ全力ヲ第一線ニ展開スル事モ亦避クル所ニアラサルヘシ而シテ此場合ニ於テ同旅團ニ屬スル本隊

先頭ノ聯隊ハ取敢ヘス其一大隊ヲ前衛タリシ聯隊長ノ指揮ニ入レ其他ハ第二線トナリ

五二



トキハ聯隊編成上ノ利益ヲ減少セラルヘシ併シナカラ又他ノ一隊ニ於テハ旅團長ノ豫

テ後方ニ位置スヘシ
 斯ノ如キ狀況ニアリ
 テモ亦第二聯隊ノ再
 後ノ使用ハ可成先頭
 聯隊ノ側隊ニ併立ス
 ル如ク區署スルヲ有
 利トス聯隊ハ他ノ援
 助ヲ借ラサルト同時
 ニ亦之ヲ分割スルコ
 トヲ避ケサルヘカラ
 ス若シ之ヲ分割スル

備ヲ要ス此ノ要求ヲ充タサンニハ分割ハ自然止ムヲ得サルヘシ故ニ旅團長ニ必ラス豫
 備ヲ取ラシムルノ必要アリヤ否ヤヲ研究セサルヘカラス旅團ノ獨立セル場合ニ於テ豫
 備ノ必要ナルコトハ已ニ異論ナカルヘシ而シテ併立ノ場合ニ於テモ亦豫備ノ必要ヲ認
 ムヘシ若シ豫備ハ不要ナリトセハ旅團長ハ兩聯隊ニ任務ヲ課シタル後ハ將來自巳ノ爲
 スヘキ職務ハ兩聯隊ノ連繫ヲ監視スルノ外其成果ヲ傍觀スルニ過キササルヘシ然ルトキ
 ハ旅團長ノ價值ハ余リ少ク殆ント其存在ヲ認メサルニ至ルヘシ旅團長ニシテ存在スル
 限リハ戦闘ノ經過ヲ顧慮シ自己ノ任務ニ合スル如キ戰況ヲ展望シ部下各隊長ノ過失ヲ
 矯正シ或ハ其成功ヲ集収シ不意ニ發生スル事變ニ應セサルヘカラス斯ノ如ク自己ノ勢
 カヲ逞フシ戦闘ヲ有利ニ指導センニハ豫備ヲ手裡ニ貯存スルノ外他ニ手段ナシ豫備隊
 ヲ以テ戦闘ヲ有利ニ指導スルハ歩兵運用ノ要訣ニシテ豫備隊ヲ有セサル指揮官ハ其威
 望ヲ施スノ術ナク指揮官タルノ價值ヲ失ヒシモノト極言シ得ヘシ故ニ併立ノ場合ニ於
 テモ亦若干ノ豫備隊ヲ保持スルコトハ無論必要ナリトス若シ師團ニ豫備隊ヲ有スルニ
 依リ必要ニ際シテハ之レカ派遣ヲ要求スヘシト云フカ如キ念慮ハ師團豫備隊ノ使用ヲ

五三

誤ラシムルモノニシテ又例令派遣セラルルコトアリトスルモ他ノ旅團ノ兵ヲ以テ第一線ニ加フルノ不利ヲ重ヌルニ至ルヘシ故ニ操典ニハ豫備ヲ置クヘキヤ何レ聯隊ヨリ幾何ノ部隊ヲ取ル可キヤ狀況ニ依リ定ムトアル所謂「豫備ヲ貯フルノ必要アル時ハ云々」ト豫備ヲ置クヘキヤトハ豫備ヲ貯ルノ稀ナルコトヲ意味スルニアラスシテ蓋シ斯ノ如キ事ノ起ルハ畢竟旅團編成ノ適當ナラサルニ原因スルモノニシテ若シ旅團カ三個ノ單位ヨリ成立セハ問題ナカルヘシ

(注意)操典ニ於テ豫備ト稱スルハ即チ總豫備隊ノ意味ニ

シテ旅團長ノ掌握スルモノトス

聯隊(大隊)カ孤立ノ場合ニ在テ有スル所ノ第三線部隊

ハ即チ總豫備隊ナリ聯隊(大隊)カ併立ノ場合ニ於ケル

第二線部隊ハ多クハ正面ノ戦闘ニノミ用ユルモノナル

ヲ以テ後方部隊ト稱ス但シ旅團長ノ保持スル第三線部

隊ハ併立又ハ孤立ノ場合ヲ問ハス豫備隊ト稱スルモノ



ニシテ併立ノ場合ニ於テモ尙豫備隊ト稱スルハ蓋シ次ノ理由ニ依ルナラン
下圖ニ於テ内翼ハ兩旅團相依托シ得ヘシト雖モ外翼ハ共ニ他師團ナルヲ以テ其連繫ハ内翼ノ如ク密接ナル能ハス故ニ之ヲ旅團ニ就テ云フトキハ恰モ一翼ヲ依托シタル狀況ニシテ常ニ其外翼ニ就テ顧ミサルヘカラス是レ旅團ニアリテハ併立ノ場合ト雖モ亦豫備隊ト稱スル所以ナリ

第五節 密集隊形及散開隊形ノ効用

一 密集隊形ノ効用

密集隊形ハ軍隊ヲ狹少ノ地區ニ集團セシメ確實ニ之ヲ掌握シテ運用スルニ便ナルヲ以テ戦闘間散兵ノ支援及戦闘實行ニ充テタル部隊ヲ後方ニ控置スル間等ニ應用シテ價値アルモノトス密集部隊ヲ最前線ニ使用シ又ハ此隊形ヲ以テ火戰ヲ行ハントスルハ特別ノ時機ニ限ラサルヘカラス是レ此隊形ハ敵火ノ被害多ク且ツ銃ノ使用ニ便ナレハナリ若シ精巧ナル火器ノ前ニ密集部隊ノ曝露スルトキハ該部隊ノ效力ヲ發現シ能ハサル前

ニ於テ消滅スルニ至ルヘシ故ニ歩兵ノ戰闘手段トシテ白兵ヲ用ニル場合ニ臨ミテモ此隊形ヲ敵火ノ前ニ曝露スルコトハ可成避クルヲ要ス是レ密集部隊ノ衝突力減少セルニ非ラスシテ敵火ノ威力ニ依テ其效力ヲ發揚シ得サルヲ以テナリ是ヲ以テ此隊形ヲ最前線ニ用ユルハ蔭蔽地ノ戰闘又ハ夜間若シクハ濃霧等ノ場合ニ於テ敵火ヲ受クルコトナク若クハ之ヲ受クルモ極メテ僅少ニシテ直ニ白兵接戰ヲ行フニミ使用セラルルヲ要ス又密集隊形ヲ以テ運動スル間又ハ集合間等ニ於テ不意ニ敵騎ノ現出ニ遇ヒ之レヲ擊退セントスル場合ニ於テモ隊形變換ヲ行フハ不可ナルヲ以テ直ニ原隊形ノ儘射擊ヲ開始スル場合ニアラサレハ射擊ノ爲メ最前線ニ使用スルコトナキモノトス

二 散開隊形ノ效用

歩兵ノ戰闘手段ハ火戰及白兵戰ニシテ就中火戰ハ戰闘經過ノ大部分ヲ占ム故ニ歩兵ノ戰闘隊形トシテハ火器ノ使用最モ便利ニシテ其效力モ最高度ニ達セシメ併テ敵火ノ效力ヲ最底度ニ減セシムルト同時ニ苟モ人ノ通過シ得ヘキ地ニ在テハ其隊形ヲ維持シ得ラレサルヘカラス是等ノ要求ヲ充足スルモノハ一ニ散開隊形アルノミ之レ此隊形ハ各

兵卒ニ充分ナル自由ヲ與ヘアルヲ以テ火器ノ使用最モ便利ニシテ且ツ運動亦至テ輕捷ナレハナリ唯此隊形ニ於ケル難事ハ指揮ノ困難ナルコトナリ爲之各兵卒ニ獨斷ノ智能ヲ與ヘ且愈軍紀ヲ嚴肅ナラシムルコトニ依リテ之ヲ除カサルヘカラス則チ軍隊教育モ亦此趣旨ニ基カサルヘカラス又此隊形ハ逐次散兵線ヲ濃密ナラシムルヲ以テ略々密集部隊ニ近キ衝突力ヲ與ヘキヲ以テ白兵戰ニ用ヒテ充分價值ヲ認ムルヲ得是ヲ以テ散開隊形ハ歩兵戰闘ノ主要ナル制式タルヘシ歩兵ノ戰闘ハ此隊形ヲ以テ開始セラレ又許多ノ場合ニ於テハ戰闘ノ局ヲ結フモノトス然トモ誤解スル勿レ散開隊形ヲ以テ戰闘ノ局ヲ結フト云フコトハ火戰ヲ以テ戰闘ノ局ヲ結フト云フニハアラサルコトヲ

第三章 騎兵戰鬪

第一節 騎兵ノ隊形

騎兵ノ隊形ハ機動及戰鬪共ニ密集隊形ヲ使用ス散開襲撃ヲ行フコトアルモ特別ノ場合ニ限ルモノニシテ騎兵常用ノ隊形ニ非ス而シテ騎兵ノ戰鬪ニ密集隊形ヲ用ユルハ其ノ戰鬪ノ手段自兵ヲ以テスル接戰ナルカ故ニ衝突ノ威力ヲ猛烈ナラシメンカ爲ナリ
 密集隊形ニハ縱隊及橫隊ノ二種アリ其種類用法等ハ既ニ明瞭ナレハ之ヲ略ス
 中隊ニ於ケル各小隊ノ人馬ノ性能ヲ均一ニスルコトハ騎兵中隊編成ノ基礎ニシテ是レ中隊長ノ使用ヲ便ナラシメンカ爲メナリ
 騎兵ノ各種隊形ハ步兵ノ隊形ト其形相同シ只騎兵ノ隊形ヲ特色トスル所ハ距離間隔カ多クハ全距離ナルニ在リ其斯ル所以ハ騎兵戰ノ性質ヨリ割出サレタルモノニシテ各方向ニ對シ最モ迅速ニ運動シ又ハ速ニ橫隊ニ展開スルノ必要アルニ依ル

橫隊ト利
 害トノ利

騎兵ノ乘馬戰ハ常ニ攻撃戰ニシテ多クハ同時ニ遭遇戰ナリ故ニ敵ニ對シ先制ノ利ヲ占ムルコト特ニ必要ナリ之カ爲メ隊形ノ變換及運動ハ最モ容易ナラサルヘカラス從テ又指揮官ハ常ニ前面ニアルヲ要ス

橫隊ト縱隊トノ利害

橫隊ノ利

- 一、敵火ノ危害ヲ蒙ルコト少シ
- 二、諸部隊同時ニ敵ニ衝突スルコトヲ得
- 三、敵ヲ包圍シ又一翼ヲ繞圍スルコトヲ得
- 四、一直線ノ前進ニ於テ大ニ其ノ速度ヲ増加シ得

橫隊ノ害

- 一、運動殊ニ方向變換甚タ困難ナリ
- 二、地形地物ヲ利用スルコト難シ
- 三、側面薄弱ナリ

縦隊ノ利

- 一、諸方向ニ運動スルコト自由ニシテ行進方向並正面ノ變換容易ナリ
- 二、地形ニ適應セシムルコト容易ナリ
- 三、指揮容易ニシテ結合力大ナリ
- 四、側面ニ横隊ヲ編成スルコト容易ナリ

縦隊ノ害

- 一、敵火ノ危害大ナリ
- 二、諸部隊一齊ニ敵ニ衝突スル能ハス
- 三、敵ニ包圍セラレ易シ

縦隊ト横隊トハ其利害全ク相反ス而シテ此利害ヨリ考察スルトキハ縦隊ハ集合及運動ニ適シ横隊ハ戦闘ノ隊形ナルコト自然明瞭ナリ又此兩隊形ノ中間ニ一ノ隊形アリ縦隊横隊是ナリ此隊形ハ横隊ニ展開スルコト容易ニ運動モ亦頗ル自在ニシテ且行進方向及正面ノ變換モ隨意ニ行ヒ得ヘシ而シテ各中隊ノ縦隊ハ獨立シテ運用シ得ラルルヲ以テ

能ク地形ニ適應シ又障害物ハ各個ニ之ヲ避ケ得ヘシ加之中隊ノ間隔大ナルヲ以テ敵火ニ對スル危害比較的少ク而シテ又聯隊ノ集結協力ヲ甚シク害スルコトナシ故ニ此隊形ハ縦隊ヨリ横隊ニ移ル中間ニ於ケル最モ適切ナル隊形ナリ

元來騎兵ノ隊形ハ歩兵ニ比シテ其種類頗ル多シ教練ノ單一ヨリ論スルトキハ元ヨリ少ナキヲ尊フト雖モ騎兵戰ヲ巧ニ指導スル爲ニハ各時機ニ應シテ各種ノ隊形ヲ適切ニ應用スルコト尤モ必要ナリ歩兵ノ如ク戰鬥ノ經過緩漫ナルトキハ一タヒ隊形ノ撰擇ヲ誤ルモ容易ニ之ヲ恢復スルヲ得ヘシト雖モ騎兵戰ニ於テハ之ト相反シ其經過極メテ神速ナルヲ以テ一タヒ其應用ヲ誤ラハ好機忽チ之ヲ逸スルノミナラス全ク敗戰ノ悲運ニ陥ルヘシ則チ應用スル隊形少ナケレハソレタケ複雑巧妙ナル運用ヲ要求ス故ニ各種便宜ナル隊形ノ制式ヲ設ケ之ヲ適切ニ應用スルヲ以テ尤モ便ナリトス而シテ騎兵戰ノ第一要義ハ横隊ニ展開スルコトト歩度ノ適用トニアリ

横隊ハ縦隊ニ比スレハ戰鬥隊形トシテハ最モ有利ナル隊形ナリ而シテ横隊ノ利益ヲ更ニ一層増大スル爲メニ且ツ敵火ノ危害ヲ減少シ包圍ノ効力ヲ充分ニスル爲メニハ一列

横隊ノ採用ヲ主張スルモノアリ蓋シ騎兵ニ騎砲兵及ヒ機關銃等ノ配屬セラレタルニヨリ襲撃ニ當リ是等ノ妨害ヲ受クヘキヲ以テ二列横隊ヨリ一列横隊ヲ以テスルノ有利ナルニ至レリ又更ニ一列横隊ヨリ散開襲撃ヲ用ヒサルヘカラサル場合モ多カラシ然レトモ密集襲撃ノ効果ヲ充分ニ收メントスルニハ二列横隊ヲ以テ尤モ適當ナリトス二列ナルトキハ襲撃中若干ノ人馬ニ缺損ヲ生スルモ第二列ノ兵ヲ以テ之ヲ補填シ以テ密集隊形ノ結合ヲ保持シ且ツ第一列ヲ推進スルノ利アリ然ルニ若シ一列ナルトキハ前ト同シ狀況ニ於テ缺損ノ爲メニ空位ヲ生スルコトアルモ之ヲ補填スルモノナキヲ以テ一列横隊ハ散開襲撃ノ隊形ト同シ状態トナリ著シク衝突ノ威力ヲ減殺セラルヘシ故ニ狀況ニ應ジテハ一列横隊又ハ散開襲撃ヲ行フ場合多カラシモ戦闘ノ性質已ニ密集襲撃ヲ要スル場合ニ於テハ若干ノ損害等ハ又顧慮スルヲ要セサルヘシ而シテ若シ密集襲撃ヲ開始シタル後敵ノ騎砲兵又ハ機關銃ノ現出ニ遭遇セハ運動ノ神速ヲ利用シテ其危害ヲ軽減スルコトヲ圖ルヘク又既ニ襲撃開始前ニ於テ是等兵種ノ連合シアルコトヲ知ラハ其正面ヲ避テ他ノ方面ヨリ襲撃ヲ行フノ希圖ニ出サルヘカラス

縦隊襲撃ヲ行フ場合

横隊ノ襲撃ハ出來得ヘクハ騎兵トシテハ常ニ之ヲ用ユルヲ有利トス然レトモ次ノ如キ場合ニアリテハ勢ヒ又縦隊襲撃ヲ行ハサルヘカラス

梯隊襲撃ヲ行フ場合

- 一、敵ノ一點ヲ蹂躪セントスルトキ
 - 二、攻撃正面狹少ナルトキ
 - 三、數回ニ一點ヲ攻撃セントスルトキ
 - 四、横隊ニ展開スルノ餘裕ナキトキ
 - 五、人馬ノ疲勞セルトキ
- 梯隊襲撃ヲ行フ場合次ノ如シ

散開襲撃ヲ行フ場合

- 一、隘路ヲ通過シテ直チニ攻撃スルニ當リ全力ヲ横隊ニ展開スルノ餘裕ナキ時
 - 二、横隊ニ展開スルノ地域ヲ有セサル時
 - 三、集團ノ隊形ヨリ急ニ襲撃ニ移ル時
- 散開襲撃ヲ行フ場合左ノ如シ
- 一、敵火ノ危害大ナル時即チ砲兵又ハ散兵等ヲ襲撃スル場合

二、敵カ近距離ニ於テ我カ襲撃ヲ避ケントスルニ臨ミ之ヲ繋留セントスル場合

六四

第二節 騎兵ニ對スル乘馬戰

騎兵ノ戰鬪ハ歩度ノ適用ト横隊ニ展開スルノ遲速ニ關係スルコト前既ニ述フルカ如シ蓋シ左圖ノ如ク未タ敵ト相距ルコト遠キ場合ニ於テ敵カ過早ニ横隊ニ展開シタリトセハ我ハ運動ノ輕快ナル縦隊ヲ利用シテ敵ノ正面ヲ避ケ以テ敵ヲシテ困難ナル方向變換ヲ行ハシムルカ或ハ好機ノ乘スヘキアラハ其側面ニ向テ襲撃ヲ行フヲ得ヘシ反之彼我近ク相接近セル場合ニ於テ敵カ既ニ横隊ニ展開セルニ對シ我若シ其展開ヲ遲延セハ最モ能ク歩度ヲ伸暢シ得ル敵ノ横隊ノ爲メニ致ササルニ至ルヘキナリ

敵トノ距離遠キ場合

此危機一髮ノ展開法ニ依リ勝利ヲ得ンニハ能ク調教セラレタル軍馬ト騎乘ニ巧ミナル騎士トニ依リ隨意ニ展開又ハ正面變換ヲ行ヒ得ヘキ屈伸自在ナル隊形ヲ巧ミニ應用シ以テ有利ノ時期迄横隊ニ展開スルヲ遷延スルコト必要ナリトス

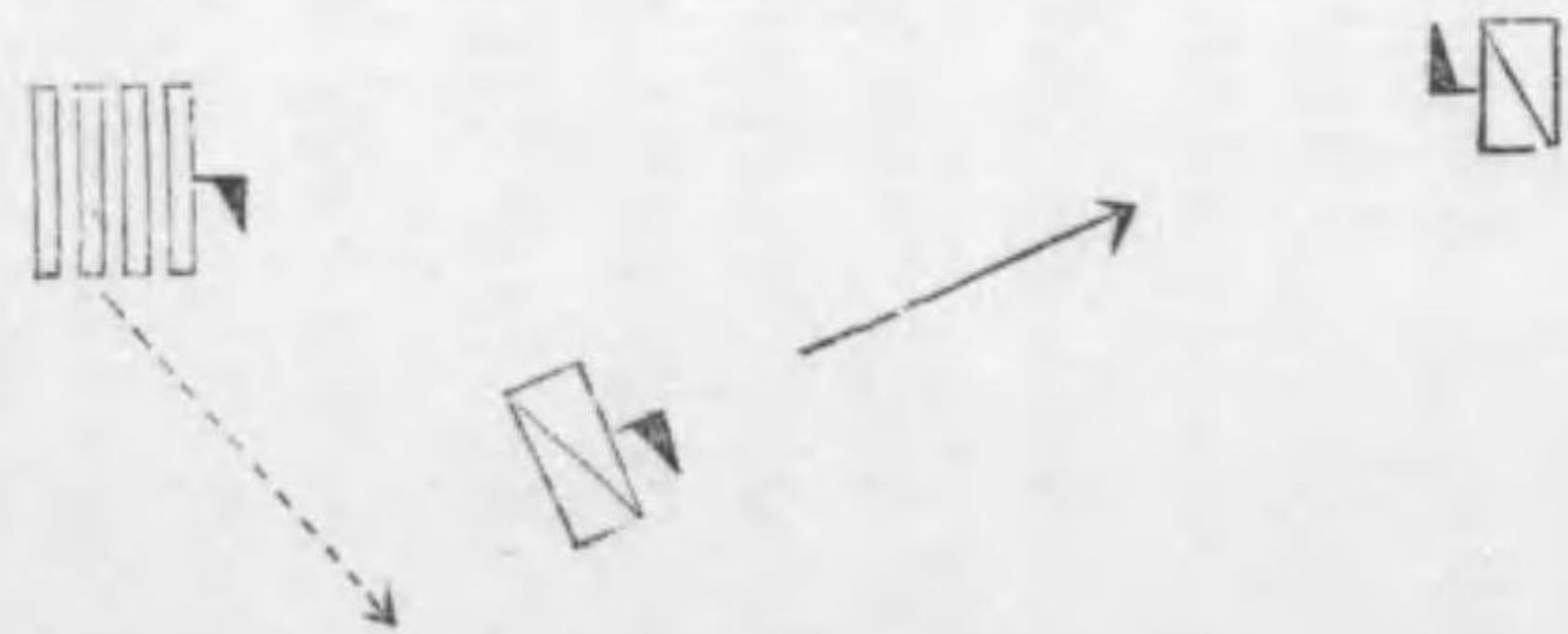
騎兵旅團ノ展開

今騎兵旅團カ行軍縦隊ヨリ横隊ノ展開スル迄ノ隊形撰擇ノ順序ヲ地形ト敵狀ニ關係スルコトナク想定スルトキハ概ネ次ノ如クナルヘシ即チ行軍縦隊ヨリ先旅團縦隊重複縦隊或ハ集團縦隊ヲ作り次ニ集團横隊次ニ縦隊横隊ヲ作り最後ニ横隊ヲ作ルナラン

(一) 歩度ノ撰擇

騎兵戰鬪ニ於ケル奏功ノ要訣ハ攻撃精神ノ旺盛ハ元ヨリ機眼ヲ以テ全般ノ狀況ヲ判斷シ即決即行而シテ隊形ノ適切ナル應用ニ依テ敵ノ不意ニ出ツルカ或ハ其薄弱ナル側面ヲ攻撃スルニ在リ而シテ此要訣ハ又行動ノ迅速ニ依テ奏功シ得ラルヘシ則チ歩度ノ配合及適用ハ其

六五



ニ密接ノ關係ヲ有スルモノニシテ横隊ニ展開スルノ時機ト相俟テ好機ニ乗スルニアラサレハ騎兵戰ノ勝利ハ得テ期スヘカラザルナリ歩度ノ撰擇ハ左ノ要旨ニ依テ定メサルヘカラス

一、衝突力ノ大ナルコト

騎兵ハ何程ノ馬力ヲ有スルモノナルカニ就テハ「クラフト」管テ言ヘルコトアリ曰ク騎兵ノ大集團一日ニ十一乃至十三哩ヲ連續三日間行軍シ而シテ尙襲撃若シクハ戰鬪ニ從事スルノ持續力ヲ有シ中隊ハ七乃至八吉羅米ヲ疾驅シテ尙襲撃ノ餘力ヲ有セサルヘカラスト昨年本邦ニ於テ實施セラレタル騎兵ノ特別演習ニ於テハ毎日一回ノ戰鬪ヲナシツツ四十乃至五十吉羅米宛ヲ七日間連續行軍セリ又七吉羅米ノ駈歩ヲ繼續シテ尙襲撃ノ全力ヲ有スルコトハ既ニ實施學校ニ於テ實驗セル所ナリ故ニ現今ノ馬匹ニ於テモ尙「クラフト」大將ノ所謂騎兵ニ要求セル程度ノ馬力ハ充分ニ有スルコトヲ證明セリ戰鬪ノ際歩度ノ配合ヲ如何ニスルヲ適當トスルヤハ可成長ク速歩ヲ用ヒ短距離ノ駈歩ニ次クニ伸暢駈歩ヲ用ユルヲ可トス斯ノ如ク長ク速度ヲ行フトキハ馬匹ノ鎮靜隊伍ノ

堅確動作ノ自由ヲ得而シテ衝突ノ威力ヲ充分ニ發揚シ得ヘシ然レトモ敵狀ニヨリテハ遠距離ヨリ駈歩ヲ用ヒ或ハ最初ヨリ伸暢駈歩ヲ用ユルコトアリ例ハ敵ノ展開中ニ乗セントスル場合或ハ砲兵ノ陣地進入ニ乗セントスル場合ノ如シ斯ノ如キ場合ニハ目標ノ有利ナル間ニ乗スル事カ他ノ總テノ要求ヨリモ必要ナレハナリ

一、衝突ノ際全力ヲ有スルコト

衝突ノ爲メニ全力ヲ蕩盡スルコトハ歩兵ニ於テモ決シテ有利ナルモノニアラス殊ニ騎兵ニ在リテハ追撃ニ依リテ全勝ヲ期シ又萬一ノ場合ニ於ケル危地ノ脱出及爾後ノ新事變ニ應スル爲メニハ衝突ノ後ニ於テ尙若干ノ全力ヲ有スルコト最モ必要ナリトス元來衝突ニ於ケル格鬪ノ結果ニ夥多ノ損害ヲ敵ニ與ヘキニ非ス多クハ追撃ニ依リテ其成果ヲ確實ナラシムルモノナリ又馬匹ノ斃ルルコトハ疲勞ノ爲メニアラスシテ多クハ呼吸ノ逼迫ニ依ルモノナルヲ以テ全力保存ノ爲メニハ能ク呼吸ノ狀態ニ注意スルコト必要ナリ

呼吸ハ平穩無事ニ於テ一分間ニ八回乃至十二回ニシテ長ク駈歩スルトキハ百三十二回

ニ達ス「ボミー」氏ノ實驗ニ依レハ速度ヲ千六百米突乃至千八百米突ヨリ長ク繼續スルトキハ追突ヲ生シ二吉羅乃至三吉羅米ニ至リ漸次其數ヲ増加ス又呼吸ノ關係ハ六吉羅米ヲ繼續スルモ尙爾後ノ戰鬥動作ニ毫モ支障ナシト云フ「エーロー」ノ戰ニ於テ佛ノ騎兵師團カ戰場ニ達セル爲メニ速歩ノミヲ以テ連續二十吉羅米ヲ經過シ而シテ少許ノ斃馬ヲ出セリ故ニ連續速歩ヲ行フノ最大限ハ五里ト見做スルヲ得ヘシ然レトモ行軍等ニ於ケル一回ノ速歩ノ最大限ハ千百米突ヲ適當トスルカ如シ又武裝シタル馬匹ニ在テ連續駐歩ノ最大限ハ五吉羅米ナルカ如シ

以上二者ノ關係ヨリ歩度ノ配合ヲ圖示スルトキハ概ネ次ノ如クナルヘシ

尙「ボミー」氏ノ實驗セル駐歩速歩ノ配合ヲ舉クレハ次ノ如シ

一、千米突以下ハ直チニ疾驅スルコトヲ得



六八

- 二、千五百米突以下ハ 駐歩八百米突襲擊駐歩七百米突
 - 三、二千米以下ハ 駐歩千五百米突襲擊駐歩五百米突
 - 四、二千五百米突以下ハ 駐歩二千二百米突襲擊駐歩三百米突
 - 五、三千米突以下ハ 駐歩二千九百四十米突襲擊駐歩六十米突
 - 六、三千五百米突以下ハ 駐歩二千米突伸暢駐歩(一分間五百米突)千五百米突
 - 七、四千米突以下ハ 駐歩ノミヲ用ヒ襲擊駐歩ヲ用ユル能ハス
- 以上ハ馬肺ノ持久力ニ就テ論述シタルモノニシテ同氏ノ實驗ニ依レハ襲擊駐歩ノ最大限ハ千二百米突ナリ此時筋ノ疲勞ハ未タ極點ニ達セサルモ血液ハ肺ニ充滿シ肺ノ疲勞ハ其極度ニ達ス尙同氏ノ坂路ニ關スル研究ヲ舉クレバ次ノ如シ
- 一、三度以下ハ平地ニ同シ
 - 二、五度乃至十度密集部隊ハ昇降シ得ルモ襲擊ノ際降ルニハ駐歩ヲ爲ササルヘカラス
 - 三、十度乃至十五度 昇ルニ駐歩降ルニ速歩
 - 四、十五度乃至二十度 短距離ト雖モ昇ルニ速歩降ルニ常歩

六九

五、二十度乃至二十五度 昇ルニ常歩降ルニ緩除ナル常歩ヲ尙戒心シテ僅ニ用ユルヲ得ヘシ

六、二十五度乃至三十度 熟練ノ單獨騎兵ハ土地ノ柔軟ナルトキハ昇ルヲ得ヘシ以上ハ襲撃ノ際勿論行軍ノ際ニ於ケル歩度ノ配合ニ注意スヘキ標準トナルモノトス

(二) 戦列及梯隊区分

梯隊区分トハ前後ニ重疊セル部隊ノ縦方向ニ於ケル名稱ニシテ戦列区分トハ横方向ニ於ケル区分ノ名稱ナリ而シテ戦列区分ヲ爲セル各戦列ハ通常戦列ト稱スル固有ノ任務ヲ有ス梯隊ニ在リテハ各梯隊ハ未タ一定ノ任務ヲ有セス狀況ニ應ジテ諸方向ニ任務ヲ與ヘラル姿勢ニ有ルモノナリ而シテ之ヲ戦闘ノ種類ヨリ稱スルトキハ戦列区分ハ多ク敵騎兵ニ對スル戦闘ニ使用シ梯隊区分ハ他ノ兵種ニ對スル戦闘ニ使用セラル

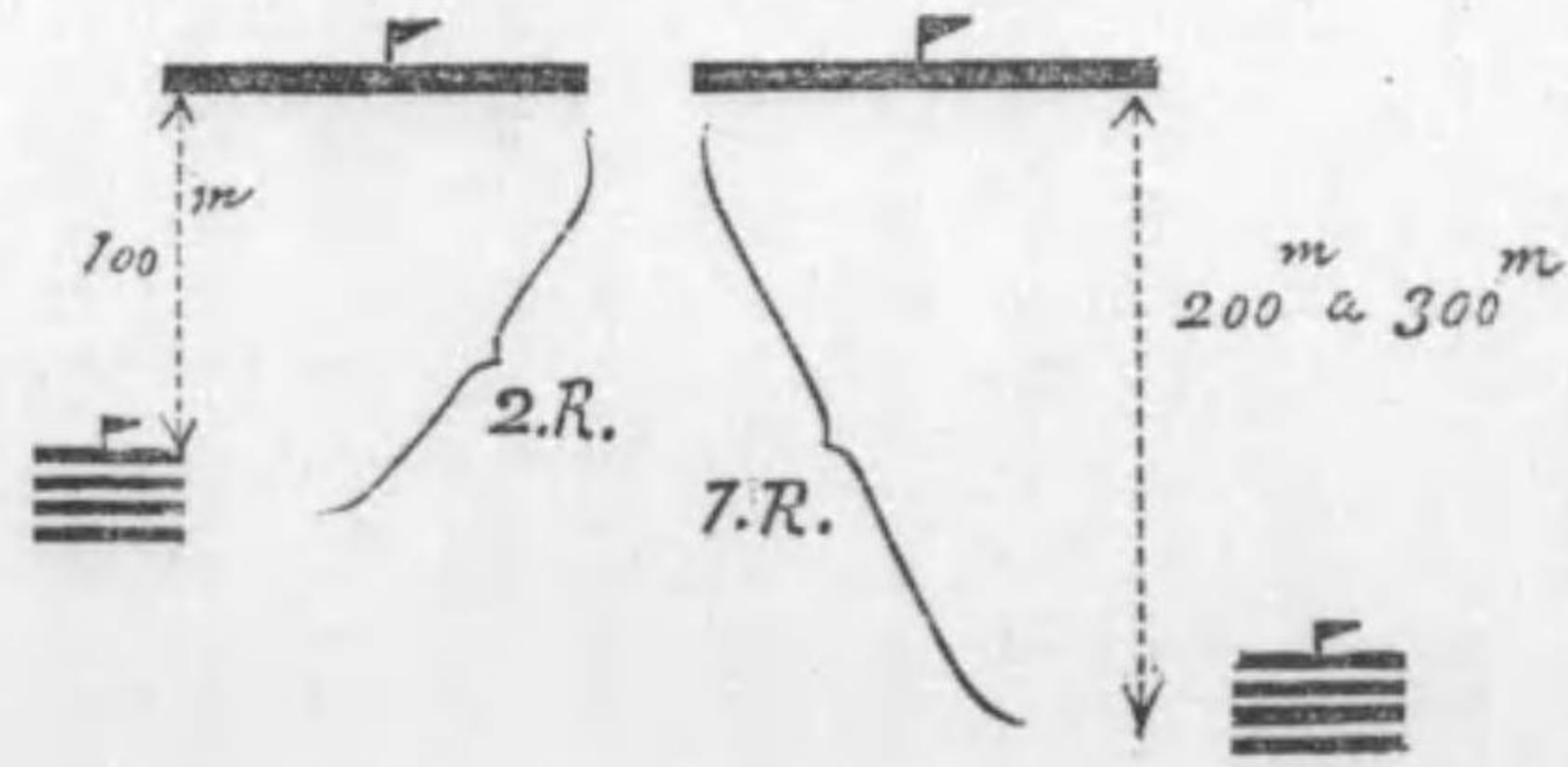
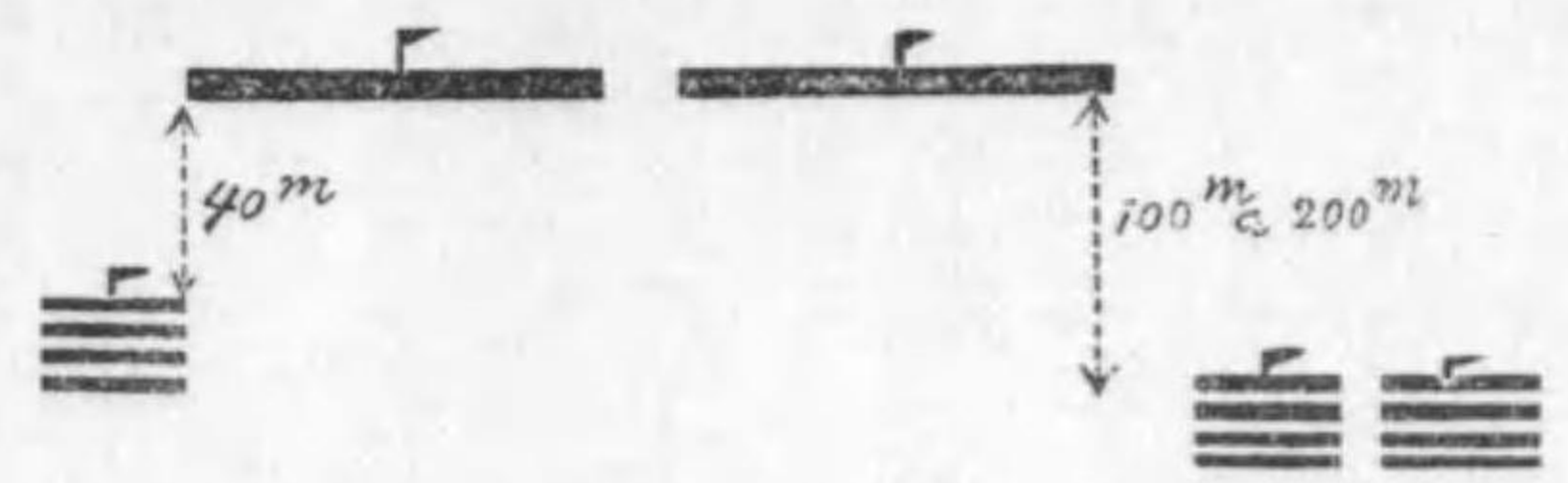
騎兵戦ニ於ケル戦列区分ノ必要ヲ講説スルニ先チ騎兵衝突ノ際ニ於ケル状態ヲ略説シ又理由ノ前提ト爲スヘシ

第一戦列ノ前進ニ當テハ塵埃若クハ雨雪ヲ以テ遮蔽セラレ其狀況ハ通常後方部隊ノ目

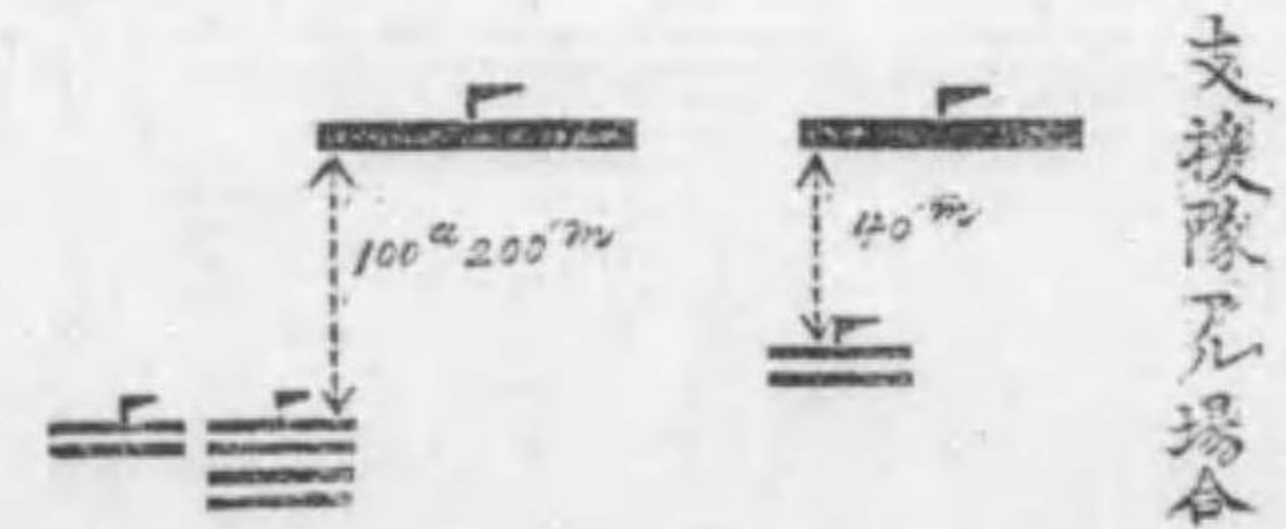
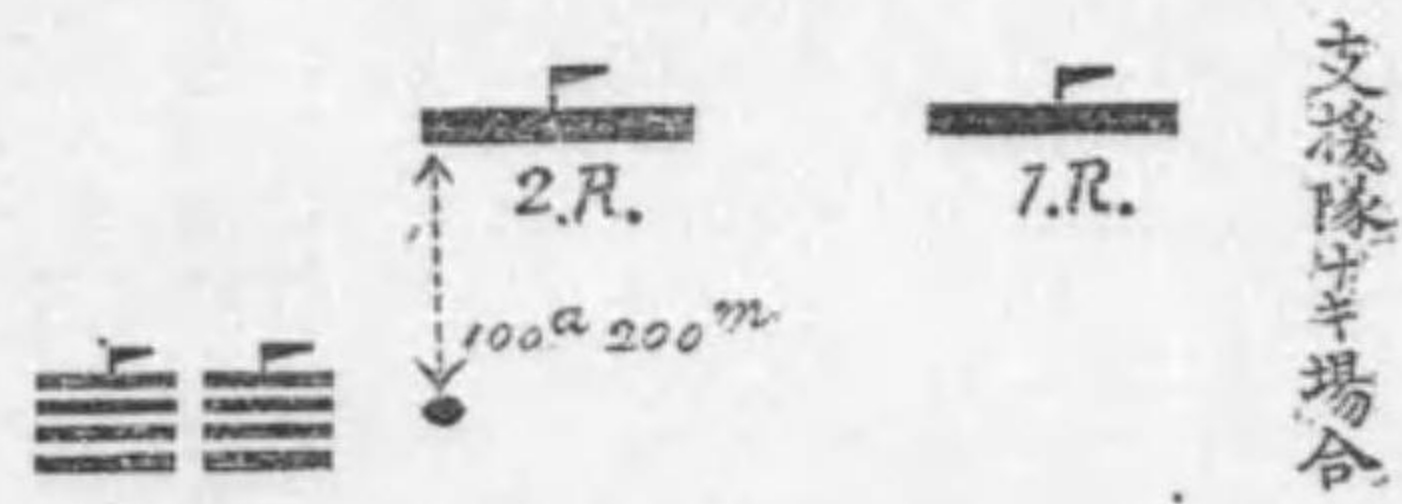
視困難ナルモノナリ而シテ彼我大速力ヲ以テ衝突シタル瞬間ハ隊伍錯亂シ喊聲ハ呼號ト一致シ劍戟相衝突シ或ハ格闘スルモノ或ハ落馬スルモノ逃走スルモノ或ハ追撃スルモノ相交错シ眞ニ一勝一敗ノ間ニ浮沈ス其時間ハ多クモ五分以下ニシテ十分以上ヲ出ルト云フコト稀ナリ此瞬間ニ於テ若シ新鋭ナル密集部隊ノ戦闘ニ加入スルアラハ友軍ノ逃走スルモノヲ收集シ敵ノ逃走スルモノヲ再襲ス元來勝敗ハ格闘ノ亂雜ニ依テ決スルモノニ非スシテ衝突ノ際ノ状態ニ依テ大勢ハ已ニ定マルモノニシテ爾後適時ニ加入スル新鋭ナル密集部隊ニ依テ愈々決定スルモノナリ而シテ衝突ヨリ勝敗ノ決スル迄ノ時間ハ五分乃至一二分ニ過キササル事ハ嘗テ大將「クラフト」ノ實驗セシ所ニシテ此僅少ノ時間カ即チ勝敗ニ著大ノ關係ヲ及ホシ後方部隊ノ戦闘加入ヲ適當ナラシムル距離ヲ定メ又突入ノ状態カ各戦列ノ兵力ヲ定ムル基礎ヲ與フルモノナリ

騎兵ノ戦闘ハ歩兵ノ如ク戦闘開始ノ後ニ於テ徐カニ計畫シ實行スルノ時間ノ餘裕ナシ從テ戦闘開始ト同時ニ戦闘終局ナリト云フヲ得ヘシ故ニ小ナル部隊ヲ以テ戦闘ヲ開始セントスルハ絶對ノ誤リニシテ一舉多大ノ兵力ヲ使用セサルヘカラス之カ爲中隊ハ勿

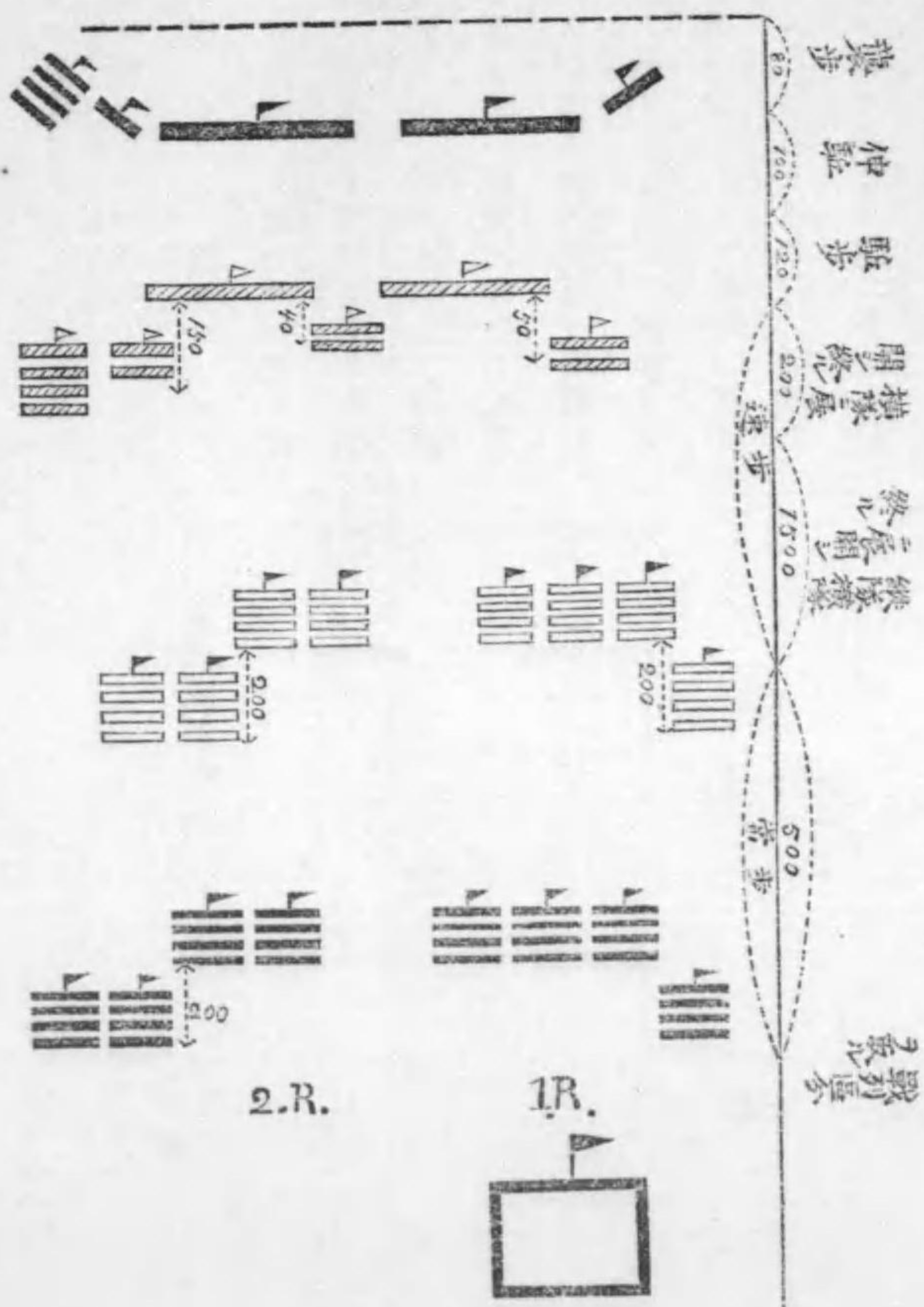
論聯隊ニ於テモ通常戰
列區分ヲ爲ササル様操
典ニ規定セラレアリ然
シナカラ大ナル兵團ニ
アリテハ勝利ヲ確實ニ
シ且ツ之ヲ大ナラシム
ル爲メ或ハ不時ノ事變
ニ備フル爲メ豫備隊ヲ
控置スルコト必要ナリ
是乃チ戰鬪實行部隊ト
豫備隊ノニニ區分ヲ生
スル所以ナリ戰鬪實行
部隊ハ第一ニ敵ニ衝突



セシメ且ツ之ニ依テ勝敗ヲ決
スルモノナルヲ以テ之ニ主力
ヲ用ユルコトハ動カスヘカラ
サル原則ナリ而シテ衝突ノ爲
メニ前進スル間及衝突ノ前後
ニ於テ第一戰列ノ側翼ヲ掩護
シ更ニ第一戰列ノ成功ヲ確實
ニスル爲メ敵ノ側面ヲ攻撃シ
或ハ敵ノ後方部隊ノ來援ヲ妨
害スル爲メ大ナル兵團ニ在リ
テハ一部隊ヲ以テ第二戰列ヲ
設クルノ必要ヲ生ス今敵ノ騎
兵ニ對シ騎兵旅團ノ戰鬪隊形



及歩度ノ配合ヲ圖示スレハ左ノ如シ



三、豫備隊

豫備ノ任務ハ不慮ノ事變ニ備ヘ且ツ決勝點上ニ新銳ノ兵力ヲ使用シテ勝利ヲ確實ナラシムルニアリ（騎兵操典二百三十一）其他豫備隊ヲ設クル時ハ第一戰列ノ側面掩護ヲ爲サシムルコトヲ得ヘシ元來第一戰列ノ側面ハ頗ル薄弱ナルヲ以テ敵ノ有利ナル攻撃點トナリ易シ故ニ第二第三戰列ヲ備フル時ト雖モ尙之ト反對翼ノ直接掩護ノ爲メニ豫備隊ヲ派遣スルヲ便利トスルコトアルヘシ

豫備隊ト第一戰列トノ距離其任務上ヨリ云フトキハ五十米突ヲ超過スルトキハ其効力ハ漸次ニ減少スヘシ

四、各戰列ノ兵力

第一戰列ニ主力ヲ用ユルノ必要ナルハ騎兵戰團ノ性質ヨリ一舉ニ勝利ヲ得ル爲メニ極メテ必要ナルモノニシテ第一ノ衝突ニ於テ敗戦セハ後方戰列ニ如何ニ多クノ兵力ヲ擁スルモ恐ラクハ戰勢ヲ挽回スル能ハサルヘシ故ニ第二第三戰列ノ兵力ハ凡ソ第一戰列ノ四分ノ一ヲ以テ之ニ充ツルヲ適當トスルカ如シ

五、展開

展開ハ攻撃方向ノ決定シタル後ニ於テ行フモノニシテ其方法ニ二アリ其線上ニ展開スルト前進シツツ展開スルトハ是ナリ其線上ニ展開スルトキハ時間ト馬力ヲ節約シ且ツ初ヨリ隊伍ノ靜肅ヲ維持シ得ヘシ而シテ此法ハ前方ニ展開スルノ地區及時間ヲ有セサルカ或ハ敵ニ蔭蔽シテ展開シ得ルカ又ハ我砲兵ニ効力發揚ノ時間ヲ與ヘントスル時等ニ用ヒラルヘシ前進シツツ行フ展開法ハ志氣ヲ旺盛ナラシムルノ利アリト雖モ展開ノ地區ト時間ニ制限セラレ且ツ敵騎ノ奇襲ヲ受クルノ恐アリ故ニ此方法ハ已ニ開進後ニシテ展開ノ爲メニ時間ヲ要セス前方ニ充分ナル展開ノ地域ヲ有シ且ツ奇襲ノ恐ナキトキニ用ヒラルルモノニシテ騎隊以下ノ小部隊ニ在リテハ多クハ此方法ニ依ルヲ便トス何レノ方法ニ依ルモ展開ノ爲ニハ多大ノ時間ヲ要シ而モ其遲速ハ勝敗ニ著大ノ關係ヲ有スルモノナルヲ以テ展開ノ時機ヲ至當ニ定ムルコト極メテ必要ナリトス彼我互ニ前進スルトキハ敵前少クモ四百米突ニ於テ展開ヲ終ラサルヘカラス即チ展開後二百米突ニシテ衝突シ得レハナリ尙希望ヲ許スナラハ衝突前ニ襲歩ノ速度ヲ充分ナ

ル隊伍ノ齋整ヲ維持スル爲メニ更ニ少クモ百米突ヲ伸スモ可トス然ルトキハ襲歩ニ八十米突乃至百米突ヲ用ユルコトヲ得ヘシ

第二節 騎砲兵

騎兵ニ砲兵ヲ附スルトキハ其攻撃力ヲ増加シ且ツ防禦ニ必要ナル射撃ノ威力ヲ保持シ以テ其獨立ノ性能ヲ鞏固ニス殊ニ敵ノ背後ニ運動スル騎兵ニ於テハ迅速ニ敵ノ陣地ノ側方又ハ背後ニ現出シテ不意ノ射撃ヲ施シ以テ騎兵ニ襲撃ノ好機ヲ與フルヲ得ヘシ騎砲兵ハ其材料輕便ニシテ砲ク迄モ騎兵ト其行動ヲ共ニシ得サルヘカラス然レトモ材料ヲ輕減スルトキハ從テ騎砲兵ノ威力ヲ減損スルハ自然ノ勢ニシテ重量ヲ減シテ威力ノ十分ナランコトヲ望ムモ恐ラクハ成立セサルヘシ故ニ威力ニ於テ若干ノ不足ヲ生スルモ尙運動ノ輕快ヲ希望セサルヘカラス是レ騎砲兵ニ特ニ具備スヘキ性能ナリトス騎兵ニ對スル戰闘ニ際シ騎砲兵ノ任務ハ我カ隊兵ノ展開ヲ掩護シ其攻撃ヲ援助スルニアリ故ニ騎砲兵陣地ハ騎兵ノ側方ニ撰定スルヲ尤モ適切ナリトス是レ掩護及援助ヲ同

一ノ陣地ニ於テ有効ニ果スコトヲ得レハナリ然レトモ彼我遭遇地ノ狀況地形及騎兵戰ノ經過迅速ナル爲メ其射撃開始ヲ急速ニスルノ必要ヨリ側方ニ陣地ヲ撰定スルコトハ不可能ニシテ止ヲ得ス進路ヲ近傍ニ於テ陣地ヲ占領シ好機ヲ逸セス射撃ヲ開始スルニ至ル場合多シ蓋シ砲兵カ側方ニ陣地ヲ占領スルコトハ至難ナルヲ以テ先ツ尤モ時機ニ適合スル場所ニ砲兵ヲ配列シ而シテ騎兵ハ爲シ得レハ砲兵ノ側方ヨリ攻撃前進スル時ハ恰モ砲兵ヲ側方ニ布置シタルト同一ノ結果ヲ生スルニ至ルヘシ只茲ニ注意スヘキハ主客ヲ轉倒スルコトナク則チ砲兵カ進路ノ近傍便利ノ地ニ陣地ヲ占領シ騎兵カ其側方ニ出ルモ之ハ砲兵カ騎兵ヲ速ニ掩護スルノ必要上止ムヲ得ス取ル所ノ手段ナリトス

第四節 機關銃

日露戰役ノ實驗ニ依リ機關銃ノ有効ナルコトハ一般ニ認識セラレタリ故ニ今日ノ問題ハ其制式ト用法ノ研究ナリ制式ノ良否ハ騎兵ニ屬スル機關銃ニ於テ特ニ其必要ヲ感ス是運動及開射ノ迅速ヲ要スルヲ以テナリ各國ニ於テモ又機關銃ノ制式ニ就テ類ニ研究

中ナルカ如シ獨逸ハ四馬曳四輪車式ニシテ我カ國ノ研究中ノモノハ馱載ノ駢馬式ナリ今兩種ノ特別ナル利害ヲ舉クレハ次ノ如シ

馱載駢馬式ノ利害

- 一、苟モ馬匹ノ通過スル所ニハ騎兵ノ運動ニ隨從スルコトヲ得
- 二、行進間狀異ノ目標ヲ呈セサルヲ以テ過早ニ敵ニ發見セララルコトナシ
- 三、不意ノ襲撃ヲ受クルニ當リ或ハ開射セントスルニ際シ其射撃準備ニ比較的多少ノ時間ヲ要ス
- 四、斃馬ノ際ハ材料ヲ遺棄スルカ或ハ他ノ馬匹ニ轉載セサルヘカラス

車輪式ノ利害

- 一、車載ノ儘射撃シ得從テ開濶地ニ在ルモ敵騎ノ襲撃ヲ恐ルコト少ナシ
- 二、射撃ノ開始及撤退迅速ナリ
- 三、多數ノ彈藥ヲ携帯スルコトヲ得ヘシ
- 四、地形殊ニ道路ノ制限ヲ受クルコト大ナリ

五、行進間目標ト成リ易シ又輓馬車輛ニ故障ヲ生スルトキハ著シク行進ヲ妨害ス
 以上ノ利害ヲ比較スルトキハ車輛式ハ騎兵ノ大兵團ニ附スルニ便ナリ是レ通常大道ニ
 依テ運動シ地形ノ制限ヲ受クルコト少ナキヲ以テ馱載式ハ聯隊以下ノ小部隊ニ附スル
 ニ便ナレハ是レ通常如何ナル地形ト雖モ運動セサルヘカラス故ニ車輛式ヲ採用スルカ
 ヲ決定スルニハ自國騎兵ノ兵力ト豫想スル戰地ノ地形トニ依テ適當ニ決定スヘキモノ
 ニシテ各國ノ制式又ハ制式固有ノ利害ニ依テ決定スヘキモノニ非サルナリ
 騎兵ニ屬スル機關銃ノ任務ハ騎砲兵ノ任務ト殆ント相同シ唯射程短ク且ツ彈道低伸ス
 ルヲ以テ彼我ノ中間ニ我カ騎兵ノ行動セシムルコトハ地形特ニ之ヲ許ス場合ニアラサ
 レハ能ハス故ニ砲兵ヨリ遙ニ敵ニ接近シテ其效果ヲ收ムルコトヲ勉メサルヘカラス而
 シテ彈藥補充ノ困難ナルハ特ニ注意スヘキ要件ナルヲ以テ機關銃ノ使用ハ決して輕卒
 ナルヘカラス又遠距離射撃ヲ以テ砲兵ニ代用セントスルカ如キハ無益ニ彈藥ヲ消費ス
 ルモノニシテ却テ有利ノ時機ニ其効力ヲ發揚スル能ハサルニ至ルヘシ

第五節 戰鬪斥候、地形搜兵

敵狀ノ搜索及警戒ハ敵前ニアル軍隊ノ常ニ必ス怠ルヘカラサル處ニシテ殊ニ騎射ニ在
 リテハ其必要ヲ認ムルコト愈々切ナリ是レ敵ハ常ニ運動シ而シテ其運動ハ甚タ迅速ナ
 ルヘキヲ以テ之ニ對シテ先制ノ利ヲ占メンニハ我ハ始終敵狀ヲ明ニセサルヘカラス
 又騎兵ノ戰鬪ハ行動戰ニシテ其行動ハ地形ニ制セラルコト多ク地形ヲ豫知セサレハ戰
 鬪ハ殆ント企テ能ハサルヘシ地形偵察不充分ノ結果戰鬪實行ニ當リ地形ノ障害ヲ受ケ
 非常ナル損害ヲ蒙リタルコトハ戰例ノ教ユル處ニシテ實ニ地形ノ爲メニハ好機モ先制
 モ獲得シ能ハサルナリ故ニ戰鬪開始前及戰鬪間戰鬪地域内ノ地形ヲ豫知スルコトハ極
 メテ必要ニシテ操典ニ特ニ此斥候及搜兵ノ使用ニ關シ懇切ニ示スハ蓋シ之カ爲ナリ

第六節 徒步戰

火器ノ精巧ニ赴クト共ニ騎兵ノ携帶火器ヲ大ニシ其効力ヲ増加シ又之ニ關スル教育モ

乘馬教練ノ精熟ヲ害スルコトナク之ヲ實施シ得ルニ至ル從テ徒步戰ニ關スル騎兵ノ素質モ次第ニ良好ニ赴キ騎砲兵及機關銃ノ配屬四四式騎銃ト共ニ又火戰ニ於ケル騎兵ノ價値モ大ニ高上セリ是ニ於テ騎兵ハ攻撃ノ兵種タルト同時ニ防禦ヲモ爲シ得ルノ性能ヲ備フルニ至レリ然レトモ徒步戰團部隊ト手馬ノ關係、地形地物ノ制限、携帶彈藥ノ少數、射手ノ不足等總テ徒步戰ニ不利ナル諸因ハ尙昔日ト何等異ナルコトナク將來ト雖モ全然之ヲ除去スル事能ハサルヘシ故ニ徒步戰ヲ行フニ當リテモ決シテ歩兵ノ如ク持久柔軟ノ戰鬪ヲ交ユルコトナク只從來ヨリモ比較的徒步戰ノ價値ヲ高メタルニ過キスシテ徒步戰ハ騎兵ノ副戰團タルコトハ依然從來ト大ナル變化ナシ而シテ徒步戰ヲ行フ場合ハ大要次ノ如シ

徒步戰ヲ行フ場合

- 一、隘路、森林、家屋等ニ據リ我前進ヲ妨害スル敵ヲ擊攘スル時
- 二、射擊ヲ以テ敵ノ兵力ヲ偵察又縱隊ヲ脅威シ或ハ已ヲ得ス展開セシメ又ハ行進方向ヲ變セシメ以テ敵ノ行進ヲ遲滯セシムル時
- 三、敵ノ宿營地ヲ急襲スル時

- 四、優勢ナル敵ニ對シ一地ヲ防守スル時
 - 五、敵ニ先タチ占領セシ陣地ヲ後續部隊ノ到着スル迄防守セントスル時
 - 六、退却ニ當リ敵ヲ拒止シ彼ヲシテ已ヲ得ス展開セシメ以テ時間ヲ失ハシムル時
 - 七、隘路ヲ通過シテ進出若クハ退却スル部隊ヲ掩護及收容スル時
 - 八、宿營地ヲ防禦スル時
- 以上ノ外情況ニ依リ搜索勤務ノ據點ヲ堅固ニシ或ハ火力ヲ以テ敵ヲ追擊シ或ハ背後連絡線ノ守備隊ヲ擊攘スル時等
- 此諸種ノ場合ヲ研究スルニ多クハ持久戰ニシテ稀ニ決戰的ノ意味ヲ以テ戰鬪スルコトアルモ皆乘馬戰ヲ以テ其目的ヲ達シ得サル場合ニ於テ止ヲ得ス選用スルモノナリ故ニ徒步戰ノ本領トシテハ持久戰的ニ用ヒラルルヲ可トス只決戰的ニ用ヒラルル場合ハ稀ニ生スルモノトス
- 徒步戰ヲ行フニハ通常次ノ如ク區分ス
- 一、徒步戰團部隊

二、馬上豫備隊

三、手馬

徒歩戦ニ用ユル兵力ハ全ク當時ノ敵狀ト地形トニ關ス然レトモ徒歩戦ヲ以テ一目的ヲ達スヘク決心シタル以上ハ其目的ヲ迅速確實ニ達シ得ル所ノ兵力ヲ用ヒサルヘカラス殊ニ歩兵ノ如ク柔軟ノ戦闘ヲ許ササルヲ以テ最初ヨリ多クノ兵力ヲ用ヒサルヘカラス

徒歩ニテ戦闘スル部隊ノ諸動作ハ歩兵ノ散開戦闘法ニ同シ只一般ノ要領ニ於テ少シク異ナル所ハ迅速ニ其目的ヲ達スル爲メニ最初ヨリ多クノ兵力ヲ第一線ニ展開スルコト是ナリ

徒歩戦ニ於テ尤モ重大ナル關係ヲ有スルモノハ手馬ナリ手馬ヲ傷ケラルル時ハ假令騎手生存スルモ最早戦員ニ非ス然レトキ之カ爲メニ手馬ノ安全ヲ圖リ戦闘部隊ト遠隔シテ配置スル時ハ戦闘中止後乗馬スルニ望ミ騎手損害ヲ受ケ戦闘間直接ニ受クル損害ヨリモ戦闘後乗馬ノ際却テ多クノ損害ヲ受クルニ至ル而シテ此等ノ關係ハ多ク徒歩戦ヲ

束縛シ又地形ノ制限ヲ受ク

徒歩戦ヲ行フニハ其戦線遮蔽シ敵ヲシテ兵種ノ識別ヲ困難ナラシメ且ツ其兵力ヲモ認知セラレサル如キ林縁村端等ニシテ前面ニ適當ノ射界ヲ有シ且ツ陣地ノ直前ニハ跋躄困難ナル地域ヲ有シ手馬ノ爲メニハ敵眼敵彈ヲ遮蔽シ得ヘキ適當ナル地域ヲ有シ且ツ戦員カ戦闘ヲ撤シテ乗馬スル動作ヲ敵ニ發見シ得ラレサル如キ地形ハ防禦ニ於テ尤モ適良ナル状態ナリトス特ニ陣地前ノ地形ハ戦闘ヲ中止スルニ望ミ彼ノ騎行シ來ル時間ト我カ徒歩兵カ退ヒテ乗馬スルニ要スル時間トノ關係ヨリ敵ノ運動ヲ妨害スルニ充分ナル地障ヲ有スルコトハ尤モ必要ニシテ若シ是等ノ地障ナキトキハ徒歩戦ヲ中止スルノ時期ハ餘程繰上ケサルヘカラス

攻撃戦ヲ行フニ當リテハ攻撃前進ノ爲メニ適當ノ地物ヲ要スルコト勿論ナルモ戦闘部隊ノ前進ニ伴ヒ適當ノ距離ヲ保テ手馬ヲ前進セシムルニ便利ナラサルヘカラス然ラサルトキハ假令徒歩戦ニ於テ成功スルモ其後乗馬スルニ至ル迄ノ間ニ於テ多クノ時間ヲ費シ其成果ヲ收メ得サルノミナラス却テ敵ノ恢復攻撃ヲ成功セシムルニ至ルコトアリ

故ニ攻撃戰ヲ行フニハ特ニ手馬移動ノ難易ニ注意セサルヘカラス而シテ騎兵ヲ徒歩ノ戰鬪攻撃ヲ行フニハ他ニ全ク迂回ノ方法ヲ得サル場合ニ於テ行フニ限ルモノトス之ヲ要スルニ騎兵ノ徒歩戰ヲ束縛スルモノハ手馬ナリ手馬ハ之ヲ戰線ニ近ツケンカ第一戰ニ向テスル敵ノ集束彈ニ依テ損傷セラレ遠ク後方ニ退ケンカ戰鬪ヲ過早ニ中止セサレハ乘馬スル能ハサルニ至ル若シ散兵線ノ後方ニ、三百米突ノ地ニ適當ナル遮蔽物アリテ手馬ヲ置クコトヲ得ハ攻撃シ來ル敵ノ歩兵ニ對シ約四、五百米突迄其戰鬪ヲ持續スルヲ得ヘシ而シテ之ヨリ以上敵ノ近接ヲ受クルトキハ散兵ハ既ニ乘馬シ能ハサルニ至ル只特ニ後方ノ地形陰蔽シテ退却ノ際敵火ヲ蒙ラサルトキハ尙若干敵ヲ近接セシムルコトヲ得ヘシ故ニ開濶ナル地形ニ於テハ最初ヨリ確實ニ勝利ヲ豫期シ得ル時ノ外徒歩戰ハ爲シ能サルモノト考フルヲ可トス

兵力大ナル部隊ニアリテハ通常馬上豫備隊ヲ備フルヲ可トス此豫備隊ハ戰鬪部隊ノ側面ノ警戒、敵狀ノ搜索、手馬ノ掩護並ニ戰鬪中止ノ時期ヲ適宜ニ決定セシメ且ツ乘下馬ノ掩護勝利ノ收拾ニ大ナル便利ヲ有ス殊ニ攻撃戰ニ在リテハ手馬ヲ移動ヤシムルニ

望ミ其安全ヲ維持スルニ欲クヘカラサルモノナリ故ニ徒歩戰鬪部隊ノ兵力之ヲ許ストキ殊ニ攻撃戰ニ於テハ勉メテ之ヲ設クルヲ可トス併シ之ヲ設クル爲メ徒歩戰鬪部隊ノ兵力著シク減少シテ戰鬪ノ目的ヲ達シ得サルコトアルヘカラス若シ兵力ノ關係上之ヲ設クル能ハサルトキハ馬上ノ斥候ヲ以テ之ヲ補フモノトス

第七節 騎兵ノ用法ト其戰鬪法

騎兵ハ自己攜帶スル兵器ノ進歩ト之ニ騎砲兵及機關銃等ノ附屬セラレタルトニ依リ大ニ大戰ノ力ヲ逞スルヲ得ヘシ而シテ又一方ニ於テハ現今ノ戰鬪ハ多ク地形ヲ利用シ其陣地ハ進歩セル築城ニ依テ堅メラレ且ツ精銳ナル火器ニ依テ準備セララルヲ以テ到底我ニ襲撃ノ好機ヲ得セシメスニ我モ又火戰ヲ以テ爭フヲ有利トスルカ如シ然レトモ騎兵一旅團ノ銃數中斥候搜索中隊、通信、傳令、手馬ノ保持、馬上豫備隊、戰鬪斥候等ヲ減スルトキハ實際徒歩戰ニ從事シ得ルモノハ約五百ニ過キス以テ大會戰ニ用ユル兵力ノ上ニハ何等特種ノ影響ヲ與フル事ナク若シ一旦之ヲ參與セシメテ其結果不良ニ

終ランカ爾後旅團ハ何等ノ奏功ヲモ爲シ能ハサルニ至ルヘシ故ニ騎兵ヲ一會戰ニ於ケル戰場ニ用ヒントセハ寧ロ之ヲ全廢シテ歩兵ノ銃數ヲ増加スルヲ可トスルノ議論ニ歸着ス故ニ騎兵ノ火戰ノ効力ヲ過信シ之ヲ戰場動作ニ用ヒントスルハ極端ナル過誤ナルヘシ騎兵カ會戰前ニ於ケル搜索ノ必要ナルコトハ喋々ヲ要セス而シテ又會戰ニ於ケル戰場ノ勝利ハ所謂勝利ノ央ニシテ全勝ハ追撃ニ依テ收得セラル而シテ追撃ノ成果ハ速度ノ優秀ニ依テ收メ得ラルヘシ又退却ニ於テ敵ノ快速ナル運動ヲ妨ケ本軍ノ退却ヲ安全ニシ且ツ自己ヲ危地ヨリ脱スルノ便宜ハ決シテ他兵種ノ爲シ能ハサル所殊ニ靜止シアルトキノミ効力ヲ有スル火戰ヲ爲スモノノ能クスル所ニ非ラス騎兵ノ要ハ更ニ此處ニ存ス詳言スレハ騎兵ノ用途ハ本戰中ニアラスシテ本戰ノ前後ニアリ故ニ騎兵カ戰場ニ於テ他兵種ト協同動作スルニハ我軍ノ側面ヲ掩護シ敵ノ側背ヲ搜索シ及戰鬪ノ終局ニ當リ追撃若クハ退却掩護ヲ爲スヲ以テ其主眼トスト規定セルモ亦此趣旨ニ依ルナラシ本戰ノ前後ニ於ケル騎兵ノ活動中ニ在テハ敵騎トノ衝突ハ勿論他兵種ト遭遇スルコトアリ而シテ此等ノ戰鬪ハ主トシテ之ヲ乘馬戰ニ求メ徒歩戰ハ乘馬戰ニ於テ目的ヲ達

シ能ハサルニ望ミ撰用スヘキモノニシテ殊ニ歩砲兵ニ對シ徒歩戰ノミヲ以テ戰鬪スルハ好シテ爲スヘキモノニ非ラス騎砲兵及機關銃ヲ有スル騎兵戰鬪ノ理想ハ騎砲兵及機關銃ヲ以テ襲撃ノ好機ヲ作り其方面ニ於テ守勢ヲ取り騎兵ノ主力ハ他ク迄乘馬戰ヲ以テ攻撃ノ動作ニ出テサルヘカラス

第四章 砲兵ノ戰闘

第一節 野戰砲兵ノ隊形

砲兵ノ戰闘手段ハ射撃ノ一法アルノミ從テ其戰闘隊形ハ射撃ニ便利ニシテ敵火ノ危害少キ横隊即チ放列ノ二種アルノミ而シテ又毫モ戰闘間ニ運動ヲ要セサルヲ以テ砲兵ノ隊形トシテハ射撃陣地ニ進入シ放列ヲ布ク迄ニ應用セララルノミ
 中隊ノ横隊ニ於テ砲車隊ハ横隊ヲ爲スモ彈藥小隊ノ縦隊ヲ爲セリ是レ敵火ノ危害ヲ顧慮シ且ツ僅少ノ地形モ容易ニ之ヲ利用シ得ンカ爲ナリ
 大隊ニ於テハ集合隊形アルノミ之レ一ノ號令ヲ以テ齊一ニ運動セシムルノ必要ハ全ク生スルコトナキニ依ル此意義ヨリ云フトキハ砲兵ノ運動ハ中隊各個ニシテ運動ノ單位ハ中隊ナリト云ヒ得ヘシ乃チ大隊ニ在リテハ集合及集合隊形若シクハ行軍隊形ヨリ放列ニツキ又ハ之ニ反スル運動ヲ行フニ當リテモ各中隊ニ命令シ中隊ヲシテ各個ニ行ハ

シムルヲ以テ通則トシ又實際斯クノ如ク爲スヲ必要ナリトス是レ砲兵ノ運動ハ重量大ナル材料ノ運轉ナルカ故ニ種々ノ故障ヲ生スルコトアルヘク而シテ此障害ヲ減シ或ハ之ヲ除去スルコトハ各中隊ニ運動ノ自由ヲ與フルコトニ依テ得ラルヘシ又假令各中隊ニ運動ノ自由ヲ與フルモ大隊長ノ意圖外ニ出テ又ハ大隊ノ齊一協同ヲ害スルコトナシ從來練兵場ニ於テハ大隊長ノ一號令ヲ以テ齊一ノ運動ヲ演練セシコトアリト雖モ練兵場以外殊ニ實戰ニ於テハ斯クノ如キ運動ハ決シテ爲シ能ハサルモノトス是レ實戰ノ結果ニ基ク進歩シタル方式ト云フヘシ
 聯隊、旅團ニ在リテハ密集シテ齊一ノ運動ハ勿論集合ノ隊形モ特ニ規定スル必要ナシ只聯隊長或ハ旅團長ハ狀況ニ應シ命令ヲ下スヲ以テ足レリトス
 横隊ニ於ケル砲車間隔ノ步數ハ各砲車カ自由ニ旋回運動ヲ爲シ得ルヲ基礎トシテ規定シタルモノニシテ又此間隔ハ同時ニ敵火ノ危害ヲ減スル趣旨ニ合スルモノトス
 定間隔ヲ有スル横隊ハ砲車縦隊ニ比シテ左ノ利益ヲ有ス

一、敵ノ砲火ニ對シ危害頗ル少シ

- 二、前面及後面ニ對シ迅速容易ニ放列ヲ布置シ砲火ヲ開始スルヲ得ヘシ縱隊ニ在リテハ放列布置ノ前ニ於テ先ツ橫隊ニ展開セサルヘカラサル不利アリ
- 三、各砲車互ニ獨立シアルヲ以テ一砲車停滯スルコトアルモ之ヲ他ニ波及セシメス
- 四、些少ノ障害ハ砲車各個ニ之ヲ避クルコトヲ得且ツ運動容易ナルヲ以テ迅速ナル歩度ヲ用ユルコトヲ得ヘシ

砲車縱隊ハ橫隊ニ比シ左ノ利益ヲ有ス

- 一、地形ノ影響ヲ受クルコト極メテ少シ即チ河川モ橋梁或ハ堤防ニ依リ又森林村落モ道路順ニ依リテ之ヲ通過スルヲ得ヘシ
- 二、地形地物ヲ利用スルコト容易ナリ從テ遮蔽物若シクハ土地ノ起伏ヲ利用スルコト便ニシテ之ニ依テ敵前ニ於テ側面運動ヲ行フコトヲ得ヘシ
- 三、可成長ク道路ヲ使用スルコトヲ得
- 四、開濶ナル地形ニ於テモ日光ノ關係及後方ノ地形ノ景況我ニ有利ナルトキハ敵ノ認識ヲ困難ナラシム

五、森林若シクハ村落等暗黒ナル地物ノ前方ニ於テ側方運動ヲ行フニ當リ砂塵ノ起ラサル限リハ敵ノ認識ヲ避クルコトヲ得

六、側面放列ノ布置ニ於テハ橫隊ノ前面後面ノ放列布置ト同様ノ利益ヲ有ス
 以上ハ砲車縱隊ノ利益ヲ述ヘシナレトモ砲車縱隊ハ縱長大ナルヲ以テ前面若シクハ後面ニ對シ放列ヲ布置スルコト橫隊ノ如ク便利ナラス若シ前途中一砲車ニ故障ヲ生スルトキハ累ラ後方砲車ニ波及シ殊ニ隘路内等ニ於テハ一層困難ヲ生シ豫定ノ陣地ニ到着シ得サル弊アルノミナラス時トシテハ非常ノ損害ヲ來タスコトナキヲ保セス故ニ砲車縱隊ハ敵火ヲ蒙ラサル間ニ於テ道路ヲ利用スル時ノ運動ヲ賞用セラレ橫隊ハ敵火ノ下ニ於テ陣地ニ進入セントスルトキニ用ヒテ有利ナル隊形ナリ然レトモ橫隊隊形ハ地形ニ制限セラルルコト多ク道路以外ニ於テハ砲車縱隊ニ依ルノ止ヲ得サルコトアルヘキヲ以テ斯クノ如キ場合ニ於テハ砲車ノ距離ヲ増大スルヲ可トス
 之ヲ要スルニ縱隊ハ運動ノ隊形ナルヲ以テ情況上他ノ隊形ヲ取ルノ止ムヲ得サルニ至ラサル限リハ勉メテ長ク此隊形ヲ維持シテ運動スルヲ得策トス然レトモ此隊形ハ縱長

頗ル長ク大隊以上ニアリテハ更ニ増大シテ各中隊ヲ同時放列ニ着カシムルコト能ハサルノミナラス此隊形固有ノ害タル故障ヲ生シタル場合ニ於テハ其害益甚シキヲ以テ大ナル砲兵ノ前後面放列布置ノ爲ニハ用ヒ難シ然レトモ大隊以上ニアリテハ横隊隊形モ亦容易ニ用ヒ難シ是レ大部隊ノ横隊ヲ以テ齊整迅速ニ運動スルノ地域ヲ有セサルヲ以テナリ故ニ大隊以上ノ部隊ヲ以テ各中隊ヲ同時ニ放列ニ着カシムルニハ中隊ノ放列正面ニ約三十歩ヲ加ヘタル間隔ヲ有スル縦隊横隊ヲ撰用スルヲ可トス此隊形ハ横隊ト縦隊トノ利害ヲ併有シ大部隊ノ同時進入ニハ尤モ便利ナル隊形ナリ若シ放列陣地カ若干ノ標高ヲ有シ其後方斜面ノ稜線ニ沿ヒ敵ニ曝露セサル位置ヲ經テ豫定放列線ニ至リ側面放列ニ於テ前車ヲ脱シ臂力ヲ以テ若干ノ推進ヲ爲シ得ルトキハ各中隊ハ尤モ迅速且ツ齊一ニ放火ヲ開始スルヲ得ヘシ而シテ陣地進入ノ爲ニハ大隊以上ニ在リテハ各中隊ニ前進ノ地域ニ時刻及放列ノ位置ヲ指定シ其運動ノ中隊各個ニ之ヲ行ヒ以テ全線ノ隊形カ縦隊横隊ノ如キ隊形ヲ以テ進入スルヲ可トス

第二節 放列

定間隔ニ於ケル横隊ハ即チ放列隊形ナリ而シテ各砲車カ三十歩ノ間隔ヲ有スルトキハ各個ニ前車ノ脱駕ヲ行ヒ中隊長ノ指揮ハ適當ニ行ハレ又敵火ニ對スル危害モ比較的減殺シ得ヘシ然レトモ各砲車ノ位置ヲ地形ニ適合セシムルコト極メテ必要ナルヲ以テ之カ爲ニハ定規以外ノ間隔ヲ取り又ハ各砲車ニ必スシモ同一ノ間隔ヲ取ラシムルヲ要セス砲車間隔ノ大小ハ敵火ノ危害ニ大ナル關係ヲ有スルヲ以テ若シ爲シ得レハ其間隔ヲ大ニスルヲ可トス然レトモ其間隔ヲ除リ大ニスルトキハ中隊長ノ射撃指揮ヲ困難ナラシムルヲ以テ中隊長ノ指揮ヲ害セサル範圍ニ於テ制限セサルヘカラス砲兵中隊長ノ射撃指揮ハ之ヲ歩兵中隊長ノ射撃指揮ト同一視スル能ハス散開戦闘ニ於ケル射撃ノ終始目標射距離及速度ヲ示シ其他ハ効力ヲ觀測シテ適當ニ修正ヲ命スルニ止マリ射撃其者ハ總テ射手ニ一任シ中隊長トシテハ以上ニ示シタル外殆ント干涉スル能ハス砲兵ノ射撃指揮ハ之レト其趣キヲ異ニシ每發中隊長ノ號令ニ依テ發射シ而シテ每發其効力ヲ觀

測シテ次發ニ修正シ以テ其威力ヲ發揚セサルヘカラス換言スレハ砲兵ノ射撃ハ號令射撃若シクハ指名射撃ト云ヒ得ヘシ故ニ中隊長ノ指揮困難ヲ感スルトキハ直ニ射撃ノ効力ニ影響ス乃チ射撃ノ効力ヲ大ナラシメントセハ射撃指揮ヲ便ナラシメサルヘカラス故ニ砲車間隔ヲ定ムルニハ射撃指揮ノ難易モ又顧慮セサルヘカラス又間隔ヲ全ク小ニスルトキハ敵火ノ危害大トナリ指揮モ亦攪亂セラルルニ至ル故ニ地形之ヲ許サハ間隔ヲ小ニスル場合ニ於テモ指揮ノ困難ヲ來ササル限リニ於テセサルヘカラス此場合ハ砲手ニ安靜ヲ與ヘ精密射撃ヲ爲シ得ヘシ然レドモ止ヲ得サル場合ニ於テハ其間隔ヲ小ニスルコトモ亦行ハサルヘカラス即チ攻撃奏功後奪取セル陣地ニ多數ノ砲車ヲ展開セントスルトキノ如キハ例外トシテ最少間隔ヲ取ラサルヘカラスヘシ斯クノ如キ場合ニ在リテハ敵ノ收容部隊等ヨリ損害ヲ與ヘラルルコトアルヘキモ猛烈ナル追撃射撃ヲ以テ敵ヲ殲滅スルコトト陣地ヲ確保セルコトカ他ノ總テノ者ヨリ急務ナルヘキヲ以テ敵火ノ損害ノ如キハ之ヲ忍ハサルヘカラス

草案第三百七二—放列ニ於ケル中隊ノ間隔ハ五十歩以上ヲ有利トスト示シアリ此間隔

ヲ大ニスルトキハ中隊指揮ノ獨立ヲ確實ニシ且ツ敵火ノ危害ヲ減スルヲ得ヘシ只之カ爲ニ大隊長ノ指揮ヲ困難ナラシムルニ至ルコトアルモ大隊長ノ指揮ハ通常通信ノ設備ニ依リ補フコトヲ得レハ中隊ノ間隔ヲ大ナラシムルヲ要ス

大隊ノ間隔ハ之ヲ大ニスルモ聯隊長ノ指揮ハ比較的困難ナラス是レ單ニ二個ノ大隊ヲ指揮シ而シテ其指揮スル事項ハ大隊長カ中隊長ニ指ホスルカ如キ煩雜ノモノニ非ラサルヲ以テナリ故ニ通信ノ設備アラハ聯隊長ノ指揮ノ容易ニ行ヒ得ヘク又大隊長カ大ナル間隔ヲ取ルトキハ偶戰術上兩大隊ヲ相併立スルニ優ル所ノ利益ヲ收ムルヲ得ヘシ

砲兵戰ノ成果ハ火力ノ集注ト分火ノ適否ニ關係スルコト尤モ大ナルモノニシテ之カ爲ニハ統一ノ指揮ヲ必要トス此關係ヨリ從來砲兵ノ大部隊ヲ一方面ニ配列シ各部隊各砲車ノ間隔モ地巾ノ關係ヨリ自然制限セラレ所望ノ間隔ヲ取リ得サリシヲ以テ間隔ヲ増大スルコトニ依テ得ラルヘキ利益ヲ傷ケ敵ニ有利ノ目標ヲ呈セリ然レトモ現今通信ノ技術大ニ發達シ統一指揮ノ爲メニハ必スシモ全砲兵ヲ一地區ニ配列スルノ必要ナリ從テ戰術上之カ分置ヲ要スルニ望ミ毫モ指揮上ノ關係ニ基ク制限ヲ受クルコトナク同時

ニ間隔ノ増大ヨリ生スル利益ヲ收ムルニ至レリ之カ爲ニ砲兵使用上ノ便宜大ニ加ハリタルト共ニ砲兵戰術ノ研究ニ多大ノ趣味ヲ加ヘ來レリ
 以上ノ如ク砲兵ノ使用ニ自由ヲ得ルニ至リタルモ統一指揮ノ必要ナルコトハ毫モ變スルコトナシ却テ砲兵分置ノ爲メニ指揮ノ統一ヲ害セサル點ニ就テ一層ノ注意ヲ拂ハサルヘカラス故ニ砲兵配置ノ研究ト同時ニ指揮ノ統一ヲ求ムル諸設備ノ研究ハ決シテ忽ニスヘカラサルモノナリ

第二節 砲兵斥候

砲兵斥候

斥候ノ使用ニ依テ收得セントスル事項概ネ次ノ如シ

- 一、敵狀（敵ノ兵力、其配備、陣地ノ狀況、築城ノ種類）
- 二、地形ノ關係（砲兵陣地ト爲シ得ヘキ場所、陣地進入路前進退却路）
- 三、目標ニ關スル偵察（目標ノ種類、狀態、出沒及我効力ノ關係）
- 四、連絡

敵情地形
偵察

- 1、高等司令部及比隣部隊ノ間
- 2、歩兵ノ攻撃隊長トノ間
- 五、自衛上必要ナル警戒

右ノ各項ノ必要ナル理由及方法ノ概要左ノ如シ

敵情地形ノ偵察 砲兵戰ニ於テ優勝ヲ占ムル要訣ハ先制ヲ占ムルニ在リ故ニ其基礎トナルヘキ敵狀及敵狀ニ基ク適當ナル我砲兵陣地ノ所在及關係ヲ適時ニ知ルコトハ獨リ砲兵指揮官ノミナラス軍隊指揮官ニ於テモ又極メテ必要ナル事項トス殊ニ我カ兵力ノ優勢ナルトキニ於テ然リトス故ニ砲兵司令官ハ敵ト遭遇ヲ豫期スルニ望ミ唯一無二ノ緊要ナル努力戰鬪開始前ニ於テ敵狀ト地形ヲ詳細ニ知得スルコトニ在ラサルヘカラス遭遇戰ニ於テ殊ニ然リトス
 陣地ノ位置ハ敵即チ目標ノ位置ニ依テ定マルモノニシテ目標トノ關係位置不良ナル陣地ハ他ノ總テノ條件ヲ具備スルモ毫モ其價值ナシ此關係ヲ尤モ良ク斷定スルモノハ敵狀偵察ニ任シタル將校ナリ故ニ此將校ヲシテ併セテ地形ノ偵察ヲモ爲サシメ尙

後ニ目標斥候ニ任スルヲ便トス

目標偵察

目標偵察 我カ射撃ノ目標ニ及ホス關係及有利ナル目標ノ出沒ヲ適時ニ看破スルコトハ砲兵射撃ノ効力ヲ最大ナラシムル上ニ多大ノ關係ヲ有ス而シテ現今ニ於ケル砲兵陣地ニ關スル趨勢ハ半遮蔽ヲ賞用スルヲ以テ已ニ第一ノ發見ニ苦シム狀態ナリ尙其上我射撃ノ景況ヲ知ルコトハ頗ル困難ナルモノニシテ恐ラクハ我陣地ヨリ直接ニ觀測スルコトハ多クハ期シ得ラレサルヘシ是ヲ以テ目標ニ關スル偵察ハ之ヲ昔日ニ比シ更ニ大ニ其必要ヲ感スルニ至レリ

連絡

連絡

一、高等司令部及比隣部隊トノ連絡ハ適時ニ軍隊指揮官ノ意圖及一般ノ狀況ヲ知り得テ緊要ナル地點ニ有効ナル砲火ヲ集注スル爲メニ必要ナルモノニシテ戰況ノ變遷急ナルトキ殊ニ敵ノ動作ヲ妨害セントスルトキニ於テ益々必要ナリトス故ニ一斥候ヲ派遣シテ是等ノ部隊ト連絡スルノ手段ヲ講セサルヘカラス

二、歩兵ノ攻撃隊長トノ連絡ハ歩砲兵ノ協同動作ノ上ニ極テ緊要ナル事ニ屬ス若シ

有効ナル協同動作カ奏功ノ端緒ナリトセハ連絡ハ其端緒ヲ開クモノナリ元來砲兵ノ統一指揮ハ大兵團ニ於ケル戰鬪ノ末期迄嚴守スヘキモノト墨守スルコトハ必スシモ適當ナルモノニアラス何トナレハ戰鬪ノ初期ニ於ケル陣地ノ配當及目標ノ分配ハ必要ナルヘキモ戰鬪ノ末期ニ至リ攻撃歩兵ノ突撃ヲ企ツルノ時期ニ及ンテハ我砲兵ノ一部ハ已ニ成功シ一部ハ非常ナル苦戰ニ陥リ又意外ノ方面ニ敵ノ新ニ現出スル在リ或ハ沈黙セシ砲兵ハ再ヒ猛威ヲ奮テ我攻撃ヲ妨害スルコトアルヘシ是等戰況ノ時時刻刻變轉スルニ際シ一砲兵指揮官能ク各方面ノ狀況ヲ看破シテ適當ニ全砲兵ヲ指揮スルコトハ到底不可能ニシテ各砲兵指揮官ノ機宜ニ適スル所置ニ委セサルヘカラス故ニ砲兵指揮官ノ統一指揮ハ戰鬪ノ初期ニシテ敵ノ砲兵ト對戰スル間ニ止メ歩兵攻撃ノ直接援助ハ其方面ノ砲兵指揮官ニ委スルカ或ハ寧ロ之ヲ攻撃部隊長ニ屬スルヲ可トセン然ラサレハ尤モ適切ナル援助ハ希望シ難カルヘシ其理由ハ例ヘハ軍砲兵指揮官ノ指揮下ニアル砲兵カ某師團ノ攻撃援助ノ任務ヲ有スルモ師團長ハ之ニ對シ命令スルノ權利ナク只時時希望ヲ述ヘテ依頼スルニ過キス斯クノ如キ迂遠ノ所置ハ常

ニ危機一髪ヲ争フ攻撃部隊長ノ希望ニ添フ能ハサレハナリ殊ニ此際ニ於テ敵カ遮蔽陣地ニ據リ無煙火藥ヲ以テ攻撃部隊ヲ斜射若シクハ縦射スル状態ハ突撃部隊ノ位置ニアラサレハ決シテ判明スルモノニ非ラス第一線トノ連絡ノ緊要ナル實ニ此點ニ存ス此狀況ヲ悉シテ以テ最モ有効ニ援助スルハ一ニ連絡斥候ニ依ラサレハ能ハサルナリ況ヤ其砲兵ノ一部ヲモ攻撃隊長ニ屬セサル場合ニ於テハ益々然リトス是ヲ以テ是等ノ手段ヲ欲キ歩砲兵ノ協同動作ノ絶叫スルモ恰モ天ニ向テ嘯クト同ジノミ

自衛上ノ警戒

自衛上ノ警戒 自衛上ノ必要ヨリ派遣スル斥候ハ攻撃ニアリテハ前衛ノ掩護ニ依リ全砲兵ヲ展開スルトキ及攻撃歩兵敵前ニ接近シ直接掩護ノ薄弱ナリシトキ防禦ニ在リテハ戦闘ノ末期ニ至リ縦長區分ノ兵方ヲ失ヒ危險ヲ感スル時等ニ於テ砲兵指揮官若シクハ危險翼ニアル砲兵隊長ノ適宜派遣スヘキモノナリ

斥候ノ派遣 ハ自己ノ目的ヲ最モ有利ニ達成スル爲メ極メテ必要ト認メタル指揮官カ適宜ニ派遣スヘキ責任アリ何斥候ハ何官之ヲ出スヘキモノ等ト制限スヘキモノニアラサルナリ但シ前述ノ敵狀地形ノ偵察ハ無論砲兵指揮官之ヲ派スルモ又重複ヲ

恐ルルノ必要ナシ何トナレハ各官各自ノ必要ヨリ來ルモノニシテ同一地點ニ數斥候カ集マルコトアルモ各自觀察スル處ヲ異ニシ以テ各自ノ利益ヲ收ムレハナリ斥候ニ用ニル人員ハ敵ノ妨害セラルルノ顧慮少ナキヲ以テ其任務ヲ盡スニ足ラハ可ナラン是レ他兵種ノ斥候ト砲兵斥候ト異ナル點ナリトス

各斥候ハ自己ノ觀察セル事項ヲ最モ迅速且ツ確實ニ之ヲ報告セザレバ如何ニ苦心セル偵察ノ結果モ毫モ其價值ヲ存セス殊ニ觀測及連絡斥候ノ報告ハ通常戰機ノ逼迫セル時機必要ニシテ且ツ價值アルモノナルヲ以テ最モ迅速確實ニ通達セラレサルヘカラス若シ之ヲ急報スルノ手段ヲ缺クトキハ斥候ヲ派遣セサルト擇フ處ナカルヘシ故ニ斥候ノ派遣ニ際シテハ通信法ニ就テ特ニ留意スルコト緊要ナリトス之カ爲メ通信法ハ左ノ如キヲ可トス

一、電話 二、手旗信號

手旗信號ニ二種アリ其一ハ通常軍隊ニ用ユル所ノ原書信號ニシテ他ノ一ハ單旗信號ナリ單旗信號ハ輕便ニシテ實際用途多シト云フ

通信

要スルニ最モ明瞭確實ニ通信シ得ルハ電話ナルモ亦破損ノ恐アリ故ニ如何ナル場合ニ於テモ單一ノ通信法ニ依ルコトナク各種ノ通信法ヲ準備シ狀況ニ應ジ適當ニ之ヲ應用セサルヘカラス

第四節 砲兵戰術ノ趨勢

現下新式ノ砲兵材料ハ一彈丸ノ威力ヲ増加セシノミナラス發射速度ノ増大ニ依リ火砲ノ威力ハ舊式材料ニ比スヘキモノニ非ラス殊ニ自衛力ノ増加ニ至リテハ舊式ノ火砲ニ比スルトキハ戰術上ノ價值ヲ著シク變更スルニ至レリ即チ其重要ナルモノハ防楯ノ設備及ヒ照準器ノ改良ナリ實ニ防楯ノ抗力ハ小銃彈ト雖モ四百米突以内ニアラサレハ貫徹セス而シテ貫徹シタル彈丸ハ砲手ヲ傷クルノ勢力アリヤハ疑問ナリ榴霰彈ノ九子ハ落角ノ形狀ニ依リ小銃彈ト其趣ヲ異ニスルヲ以テ遮蔽界ヲ若干減少スルモ遮蔽セララル部分ハ小銃彈ニ對スルヨリモ遙ニ安全ナリ又照準器ノ改正ニ依リ補助桿ヲ使用スルトキハ防楯ノ上ヲ越ヘテ照準スル事ヲ得ルヲ以テ斜面ニ於テハ防楯ノ高サ丈ケ稜線ノ

後方ニ下テ直接照準ヲ行フヲ得ヘシ故ニ敵眼敵彈ニ對シ著シク遮蔽ノ度ヲ増加セリ是ヲ以テ敵ノ砲兵ヲシテ又立ツ能ハサルニ至ラシムルニハ若シ榴霰彈特ニ榴彈ノ命中ニ待タサルヘカラス然ルニ全彈ノ命中ハ露出砲兵ニ對シテモ遠距離ニアリテハ決シテ容易ノコトニ非ラス射彈ノ觀測ハ中等ノ地形ト天候トニ於テモ四千米突ニ至レハ既ニ困難ニシテ最モ確實ナルハ三千米突以内ナリ故ニ遠ク照準シ得ル觀測ニハ限リアリ然ルニ良ク遮蔽シ時トシテハ全遮蔽ノ位置ヲ取り其所在不明ナルモノニ向テハ更ニ困難ニシテ多大ノ彈藥ヲ消費シテ僅ニ果シ得ヘシ故ニ彼我ノ砲兵互ニ相正對シテ對戰スルトキハ假令兵力ニ若干ノ差異アル場合ニテモ其勝敗ハ短時間ニテハ決セサル、シ蓋シ砲兵操典草案綱領第四ニ於テ堅忍不拔旺盛ナル志氣ヲ砲兵戰闘ニ要求スル所以又此ニアルヘシ故ニ極言スレハ砲兵ハ互ニ正對シテ勝敗ヲ爭フハ不利ニシテ他ニ特別ノ目的ヲ有スル砲兵ハ斯ノ如キ砲兵戰ハ避クルヲ可トセン適時ニ砲兵戰ノ効果ヲ得ンニハ防楯砲兵ニ對シテハ勿論堅固ナル掩體ヲ利用スル步兵ニ對スル時モ不意ニ側面ヨリ斜射又ハ縱射スルコト緊要ナリ如何トナレハ只正面ニ於テスル難戰ヲ免ルルノミナラス假

令敵ニ與フル損害ハ同一ナル場合ニ於テモ側面ヨリスルモ不意ノ疾風火ハ短時間ニ効果ヲ得ラルル丈ク敵ノ志氣上ニ及フ威力甚タ夥大ニシテ砲兵戰ノ效果ヲ收ムルニ頗ル便利ナレハナリ斯クノ如キ有利ノ陣地ヲ占領スルニハ敵狀ヲ充分ニ豫知スルコト必要ナリ然レトモ希望スル如キ敵狀ハ當ニ充分ニ最初ヨリ得ラルヘキモノニ非ラス殊ニ敵力遮蔽シアル時ニ於テ然リトス又一度陣地ヲ占メ開射シタル砲兵ハ既ニ動作ノ自由ヲ失ヒ特別ノ情況ニアラサレハ多クハ其砲兵ハ更ニ他ノ方面ニ移スコトハ困難ナリ加之一旦全砲兵ヲ展開セハ我配備ノ目的ハ敵ニ察知セラレ而シテ指揮ノ巧妙ナル敵ナレハ其一部ヲ以テ側方ヨリ斜射又ハ縱射スルナラン然ルトキハ假令展開カ敵ニ先シテモ砲兵戰ノ成果ハ敵ニ收得セラルルニ至ル是等ノ關係ヨリ敵狀未ダ充分明瞭ナラサルニ於テハ一時砲兵ノ一部ヲ控置シ機動ノ姿勢ニアラシメ敵狀ヲ明ニシタルノチ之ヲ有利ノ方面ニ使用スルニ備フルヲ必要トスルコトアリ然レトモ此控置砲兵ハ昨今世間ニ唱導セラルル所謂豫備砲兵ナルモノニ非ス

此所ニ云フ砲兵ハ後ニ有利ニ使用スル爲メ一時展開ヲ控置シタルモノナリ蓋シ斯クノ如クスルトキハ戰鬪ノ初期ニ於テハ一時劣勢トナルコトアルモ防楯ノ効用ハ此時著大ノ關係ヲ有シ稍優勢ノ敵ト對戦スルモ悲境ニ陥ルコトナキヲ以テ我砲兵ノ一部ヲ他ノ有利ノ地點ニ現出セシムル間劣勢ヲ以テ一時對戦スルモ甚シキ危險ナシ然レトモ敵狀明瞭ナラハ最初ヨリ優勢ノ砲兵ヲ展開スルコトハ我砲兵操典草案第一ニ明示スル處ニシテ動カスヘカラサル原則ナリ故ニ一部ヲ控置シタルトキニ於テモ敵狀明瞭トナルトキ或ハ決戦ヲ行フニ望ンテハ最モ迅速ニ全力ヲ展開シ數ノ優勢ヲ以テ迅速確實ニ其効果ヲ期セサルヘカラス故ニ砲兵ノ用途ハ次ノ如ク大別スルヲ得ヘシ

- 一、敵狀明瞭ナル時ハ敵ニ先シテ優勢ノ砲兵ヲ迅速且ツ確實ニ其効果ヲ收得スル事
- 二、敵狀不明ナル間ハ砲兵ノ一部ヲ控置シ狀況明ナルニ望ミ之ヲ有利ノ地點ニ使用シ以テ迅速確實ニ其效果ヲ收得スル事

第二ノ場合ハ恰モ歩兵戰鬪ニ於ケル敵狀明瞭ナラサルトキ一部ヲ以テ戰鬪開始ニ用ヒ之ニ依テ敵狀ヲ明カニシ次テ主力ヲ以テ戰鬪實行スルコト略其要領ヲ同フス只控置スル兵力ニ於テ歩兵ハ主力ヲ用ヒ砲兵一部ヲ以テスルト云フ差アルノミ

集團砲兵ノ意義ハ統一ノ指揮ヲ以テスル砲火ノ集注ニシテ砲兵各部隊ノ集中ニアラサルコトハ論スル迄モナシ故ニ今述ヘタル第一ノ場合ニ於テハ決シテ同一ノ地域ニ展開シテ敵ト正對シテ戰鬪スルノ意ニ非ラサルコトヲ承知スヘシ又第二ノ方法ハ若干ノ危険アルコトハ明ナルヲ以テ費用スヘキ方法ニアラサルコトヲ知ラサルヘカラス側方ニ現出セントスル砲兵殊ニ第二ノ場合ノ控置砲兵ハ特ニ不意ノ現出ヲ必要トスルカ爲ニハ大隊以上ノ連繫ヲ墨守スルコトハ必シモ適當ニアラス不意ノ現出ハ兵力ノ少ナル丈容易ニ之ヲ果スコトヲ得ヘシ即チ運動輕易ニシテ且ツ最モ有利ナル陣地ヲ發見スルコト容易ナレハナリ而シテ又少數ノ火砲モ射撃速度ノ増加ニ依テ疾風火ヲ以テ一時ニ著大ノ効果ヲ收ムルヲ得ヘシ是等ノ關係ニ依リ大隊以上ノ連繫ハ此場合ニ於テハ却テ必要ナラス時トシテハ中隊若シクハ小隊或ハ一砲車ノ分割使用ヲ有利トスルコトアリ併シナカラ指揮ノ統一ノ此場合ニ於テモ尙必要ナルヲ以テ特ニ留意セサルヘカラス將來砲兵戰ハ頗ル長時間ニ亘ルコトハ推察スヘシ而シテ又砲火ノ優勢ハ彈藥ノ補充ニ著大ノ關係ヲ有ス充分敵ヲ制壓スル如キ射撃速度ハ決シテ長ク持續シ得ルモノニ非ラ

ス故ニ砲兵戰ノ指揮ハ猥リニ敵ノ砲兵ト勝敗ヲ爭フ如キ彈藥ヲ節約シテ歩兵ノ援助ニ向テ最モ有利ニ使用セラルヘカラス詳言スレハ砲兵ハ能ク歩兵ト連繫シ歩兵ノ前進ニ依リ有利ノ目標現出セハ之ヲ急射シ又歩兵ノ前進ヲ妨害スルコトニ向テハ一時猛烈ナル火力ニ依リテ之ヲ制壓シ以テ前進機會ヲ與ヘ斯ノ如ク漸次我歩兵ヲ推進セシムルコトヲ主要條件トセサルヘカラス假令敵ノ砲兵ト對戰スル時ト雖モ歩兵協同ノ戰鬪ヲ爲ス場合ニ於テハ其目的ハ歩兵ノ援助ヲ全フスルコトニアラサルヘカラス如何トナレハ戰ヲ決スルモノハ歩兵ナレハナリ

第三篇

第一章 攻 撃

第一款

第一節 前衛陣地

陣地ニ據ル敵ヲ攻撃スル場合

敵ノ前進部隊ヲ本陣地内ニ撃退セル以後ノ前衛ノ任務ハ専ラ本隊ノ前進ヲ掩護スルニ在リ而シテ敵狀及地形ノ偵察ハ前方ニアル軍隊ノ爲スヘキ當然ノ義務ニシテ無論之ヲ行ハサルヘカラス
防禦ノ姿勢ニアル敵ニ對シ攻者カ隨意ニ攻撃ノ時期ト方法ト方向トヲ撰定シ得ル所以ノモノハ敵力俄ニ攻勢ニ轉セサルヲ豫知スルニ依レハナリ從テ此種ノ敵ニ對スル前進掩護ハ決シテ困難ナルモノニアラス

偵察ヲ行フ爲メニハ敵ニ接近シ得ル丈ケ有利ナルモ過度ノ前進ヲ爲ストキハ敵火ノ危害ヲ免ルル能ハス或ハ時トシテハ爲之ニ敵ニ攻勢移轉ヲ誘致セシムル事ナキニ非ス然ルトキハ前進掩護ハ頗ル危険ニ至ルヘシ是等ノ顧慮ヨリ前衛ノ占ムヘキ陣地ノ位置ハ敵ノ本陣地ヨリスル砲兵火ノ有効射程外ヲ以テ最モ適度トナス又前衛ハ前進掩護ニ必要ナル將來本隊展開ノ據點ヲ占領セントスル外自カラ求メテ戰鬥ヲ敢テスルハ任務ニ適合セス又偵察ノ爲ニ戰鬥ヲ行フハ本隊指揮官ノ命令ニ基ツカサルヘカラス然レトモ敵ノ攻撃ヲ受ケタル場合ニ於テハ掩護ヲ全フスル爲メ全滅ニ陥ルモ亦敢テ辭スル所ニアラサルナリ

第二節 開進

開進トハ行軍縱隊ヨリ集合隊形ニ移ル事ヲ稱ス開進ノ目的ハ所要ノ軍隊ヲ統一ノ指揮ヲ以テ齊一ニ戰鬥ニ參與セシムルノ準備ヲ整フルニアリ開進ノ必要ハ主トシテ指揮上ノ便宜ヨリ生ズ是レ即チ所要ノ兵力ヲ同時ニ戰鬥ニ參與セシメ且ツ不時ノ事變ニ際シ

開進ノ必
要

安全ヲ得ントスルニ在リ

防禦陣地ヲ占領セル敵ハ多クハ其陣地ニ據テ某程度迄ノ利益ヲ得ント欲スルモノナレハ過早ニ陣地ヲ棄テテ攻勢ニ轉スル事稀ナリ故ニ不時ノ事變モ初期ニ於テハ比較的其憂少シ併シ斯ノ如キ念慮ヲ以テ安心シテ行軍縱隊ヨリ無暴ニ展開セハ却テ攻勢移轉ノ好機ヲ作り敵ヲシテ其機會ヲ直ニ利用セシムルコトアリ然ラサルモ防者ハ攻者ノ展開ノ時期ヲ以テ唯一ノ攻勢移轉ノ時期トスル以テ守者ハ刮目シテ此乘ツヘキ機會ヲ捕ヘントス是ヲ以テ時間ノ得ラル、限リハ常ニ開進ヲ行ヒ以テ指揮ノ便ヲ計ラサルヘカラス防禦陣地ニ據ル敵ニ向テスルトキハ指揮官ノ攻撃計畫ヲ立案スル爲メニ通常若干ノ時間ヲ得ラルモノトス此時間ヲ利用シテ開進ヲ行フコトハ一般ノ原則ナリ

開進ハ行進中又ハ停止間ニ於テ行フコトヲ得殊ニ大部隊ニ在リテハ通常停止シテ行フモ小部隊ヲシテ即モ時機ノ急逼シタルトキハ行進間ニ行フヲ有利トス歩兵大隊ノ如キハ特ニ開進スルコトナク展開スルコトヲ得然ルトキハ停止時間ヲ節約スルヲ以テ先制ノ利益ヲ得ラルヘシ是レ大隊ノ行軍長經ハ大隊初期ノ展開ニ於テ第一第二線間ノ取ル

開進ノ方
法

ヘキ距離ト大差ナキニ依ル

開進ハ必スシモ一地區ニ限定スルノ必要ナクシテ所要ニ應ジテ二三ノ地區ニ分割シテ行フコトヲ得ヘシ是レ主トシテ開進スヘキ地形及ヒ其後使用セントスル希望ニ基クモノナリ二三ノ地區ニ分割シテ開進シタルトキハ其形ニ於テ展開ノ某時期ト同一ナルコトアリ從テ之カ區別ヲ混淆スルコトアリ然レトモ其區別ハ自ラ判然タルモノニシテ則チ開進ニ在リテハ各隊ハ任務目的及計畫等ノ如キハ未タ受領セス實ハ新ニ是等任務ヲ受クル爲ニ開進シタルモノナリ展開ニアリテハ全ク之ト異リ各隊ハ既ニ一定ノ任務ヲ受ケ或ハ指揮官ノ計畫ニ基キ今ヤ之カ達成ノ道ニアリ此點カ即チ區別ノ基礎ニシテ軍隊ノ隊形若シクハ兵數ヲ以テ名稱ヲ與フルモノニアラス從テ二三ノ地區ニ分レテ開進スルモ展開ト混淆スルノ憂ナシ之ヲ誤解スルハ全ク其性質ヲ知ラサルニ依ルモノナリ

(一)開進地ノ位置

開進地ハ開進ノ目的及開進ノ必要ヲ熟知セハ自然撰定ノ要旨ヲ發見スルヲ得ヘキモ尙其要領ヲ擧クレハ左ノ如シ

開進地

- 一、開進地ハ敵眼敵彈ヲ遮蔽シ得ル位置ナルヲ要ス若シ是等遮蔽物ヲ欠クトキハ少クモ敵砲兵ノ有効射程外ナルヲ要ス
- 二、開進地ハ各方面ニ對シ自由ニ運動シ得ルヲ要ス故ニ其位置ハ通常道路ノ近傍ニシテ包圍迂回等ヲ企ツルニ妨ケナキ如ク擇マサルヘカラス
- 三、開進ハ成可ク隘路前ニ於テスルヲ要ス若シ隘路後ニ開進スルトキハ展開ノタメニ再ヒ縦隊トナリテ前進セサルヘカラス以テ開進ノ利益ノ大部ヲ消滅スルニ至ル
- 四、前方適當ノ位置ニ開進ノ掩護陣地アルコトハ希望スル所ノ要件ナリ

形開進ノ隊

(一)開進ノ隊形

開進ノ隊形ハ全ク地形ニ適合セサルヘカラス而シテ高級指揮官ハ通常開進スヘキ位置ヲ示シ各部隊長ハ其地形ニ應シテ適當ノ隊形ヲ撰擇スルモノトス又各隊ノ取ルヘキ隊形ハ決シテ齊一ナルヲ要セス若シ展開ニ際シ再ヒ行軍縦隊ヲ以テ前進スルヲ要スル時ハ開進ニ望ミ各部隊ハ行軍隊形ヲ保持シテ之ヲ併列スルヲ可トス而シテ開進シタル諸

隊ハ此間ヲ利用シテ軍隊ニ休養ヲ與フルヲ可トス

第二節 敵狀及地形ノ搜索

敵狀及ヒ地形ノ搜索ハ常ニナスヘキモノナルモ殊ニ戰鬪開始直前ノ搜索ハ攻撃計畫ノ基礎ノ材料ニ供スルモノナルヲ以テ其ノ搜索ノ結果ハ計畫實施及成果ノ上ニ著大ノ關係ヲ有ス故ニ指揮官ハ勿論部隊長モ亦是カ爲ニ有スル手段ヲ講セサルヘカラス

敵狀搜索

一、敵狀ノ搜索

敵狀ノ搜索ニ依テ敵ノ兵力ヲ知ラント欲スルハ至當ナル事ナルモ之ハ單ニ希望ニシテ望ンテ得ラル、ノ程度ハ敵陣地ノ形況(延長)爲シ得レハ配備ノ概要、防禦工事ノ種類強度並ニ障害物ノ有無ノコトニ足レリトセサルヘカラス若シ之以上ヲ知ル必要アラハ威力ヲ用ヒサルヘカラス則チ威力偵察ノ要ハ之ヨリ生ス

威力偵察

二、威力偵察

威力偵察ノ目的ハ我一部隊ノ交戦ヲ以テ敵ノ兵力ノ大部ヲ應戦セシメ之ニ依テ敵ノ配

備ノ概要且ツ其兵力ヲモ察知セントスルニアリ故ニ敵若シ我攻撃カ一部隊タルコトヲ察知シ應戰セサルカ應戰スルモ一部ヲ以テシタル時ハ我ハ遂ニ偵察ノ目的ヲ遂クル能ハス徒ラニ兵力ノ損害ヲ生スルノ結果ヲ以テ中止セサルヘカラス強テ敵ノ企圖ヲ曝露セントセハ我モ又主力ヲ用ヒサルヘカラス然ルトキハ假令希望スヘキ結果ハ得ラレサルモ最早之ニ依テ攻撃部署ヲ改メントスルモ多クノ場合爲シ能ハス其戰鬪ヲ繼續シテ攻撃ヲ遂行スルノ餘儀ナキ趨勢ニ至ル故ニ陣中要務令ニモ「搜索ノ爲ニ強大ナル兵力ヲ使用スルハ不慮ノ本戰ヲ惹起スルコトアルヲ以テ我軍企圖スル所ノ總攻撃ノ端緒ヲ開ク時ニ於テノミ施行スヘシ」トアリ

威力偵察ノ戰鬪法ハ一種ノ持久戰ニシテ地形戰術ナク故ニ地形ノ援助ニ依リテ我企圖ヲ過早ニ敵ニ發見セラレサル場合ニアラサレハ偵察戰ノ目的ヲ達スルコトハ甚タ困難ナリ故ニ偵察戰ヲ行フヤ否ヤヲ決スルニハ多大ノ考慮ヲ費ササレハ得失相償ハサルニ至ル

二、地形偵察

地形ニ就テ偵察スヘキ事項ハ敵眼ニ蔭蔽シテ接近シ得ヘキ距離、蔭蔽ノ程度、砲兵陣地ノ位置及其良否特ニ前進セントスル地帯内ニ於ケル河川沼澤等ノ有無及其通過ノ難易並ニ之ニ要スル設備等ナリ此敵狀並ニ地形偵察ノ爲ニハ次ノ方法ヲ取ラサルヘカラス

一、指揮官ハ戰鬪間適當ノ位置ニ占位シ能フル限り廣ク且ツ自ら親シク視察スルヲ要ス然レトモ大軍ニアツテハ指揮官自ら全般ノ狀況ヲ視察スルハ不可能ナレハ以テ他ノモノヲ多ク使用シ其報告ヲ收集スルコトニ努力セサルヘカラス何レノ場合ニ於テモ指揮官適時ニ自己ノ意圖ヲ示シ迅速適切ニ偵察ヲ行ハシムルヲ要ス之カ爲ニ最モ多ク使用セラル、モノハ幕僚殊ニ參謀將校、騎兵斥候、砲工兵將校並ニ歩兵ノ將校斥候ナリ土人及捕虜等ノ言モ亦偵察者ノ報告ヲ捕捉スル一端トナルヘシ

二、前方ニ差遣セラレタル各隊長ハ別令ナクトモ最モ迅速ニ各方面ニ斥候ヲ派遣シ幾多ノ情報ヲ集メ以テ高級指揮官ノ計畫ニ要スル資料ヲ提供セサルヘカラス此各隊長ハ高級指揮官ノ爲メ其計畫ノ基礎ノ材料ヲ與フルト共ニ將來自己ノ前進ニ際

シ通過スヘキ手段ニ關シ緊要ノ報告ヲ得ラルルモノナリ而シテ其結果ハ又隣接部隊ニモ通報スル事必要ナリ
 以上ノ偵察ハ已ニ騎兵斥候ノ任スル範圍外ナリ併シ遠ク側方ヨリスル偵察ハ又騎兵斥候ノ力ニ依ラサルヘカラス
 各種ノ斥候ハ成ルヘク多ク之ヲ用ヒ各方面ヨリ視察セシメ其結果ノ正確ヲ計ルノ注意必要ナリ

突貫攻撃ノ利害

第二款

第一節 突貫攻撃

突貫攻撃ハ又楔狀攻撃ト云フ即チ正面攻撃ノ結果ナリ其利害ヲ擧クレハ概ネ次ノ如シ

突貫攻撃ノ利トスル點

- 一、捷路ヲ經テ展開スルヲ通常トスルヲ以テ攻撃ノ着手ヲ迅速ナラシムル事
- 二、兵力分散及指揮統一ノ困難ヲ生スル患ナシ而シテ若シ攻撃奏功スル際ハ敵線ヲ中斷シ敵ノ指揮統一ヲ妨害ス
- 三、我退路ハ頗ル安全ナリ

突貫攻撃ノ害トスル點

- 一、敵ノ堅固ナル正面ニ迫ルヲ以テ多クハ敵ノ全正面ヨリノ集中火ヲ受ケ損害多大奏功頗ル至難ナリ

二、敵ノ退路ヲ脅威スル能ハス
 故ニ突貫攻撃ハ現今ノ如ク精銳ニシテ射程ノ延長セル且ツ射速ノ増加セル火器ヲ有スル守者ニ對シテハ昔日ニ比シ其奏功頗ル困難トナレリ然リト雖モ現今ニ於テモ尙此突貫攻撃法カ全廢セラルヘキモノニ非ラス次ノ如キ場合ニアリテハ自然此種ノ攻撃法ニ依ラサルヘカラス

正攻撃ヲ行フ場合

- 一、迅速ナル攻撃運動ヲ要スル場合
 - 二、過廣ノ正面ヲ取り居ル敵且ツ各部ノ應戰困難ナル場合
 - 三、陰蔽錯雜セル地形ニ於テ不意ニ敵ニ遭遇セル場合
 - 四、隘路ノ出口ヲ占領セル敵ニ對シ隘路ヲ出テ攻撃スル場合
- 其他一般ニ大兵團ノ内ニアル軍隊ハ多クハ此攻撃法ニ依ラサルヘカラサルモノトス

第二節 攻撃ノ動作

攻撃動作ハ他ノ部隊ニ於ケル助攻部隊ノ兵力ヲ極減シ本攻正面ニ於ケル縱長區分ノ兵

正面總攻場ヲ行フ場合

力ヲ増大ナラシムルヲ要ス之レ畢竟損害大ニシテ補充ヲ要スルコト多大ナルニ依ル砲兵ハ攻撃點及敵ノ砲兵ヲ成ルヘク斜射若シクハ側射シ得ル如ク位置シ成ルヘク集中砲火ノ効果ヲ得ルコト甚タ緊要ナリ正面火ハ防禦工事及防楯砲兵ニ對シテハ其効果甚タ少ク防楯ノ後方ニアル砲手ニ對シ榴霰彈ノ被害ヲ蒙ラシメントセハ射程ノ七分ノ一尙正確ヲ希望セハ其三分ノ一側方ニ偏在スルヲ要スト云フ又遠距離ニ在リテハ束葉開角ノ大ナルヲ利用シ砲車ノ間隔内ニ破裂セシムルヲ可トスト云フ說アルヲ聞ク要スルニ此種ノ攻撃奏功困難ナル主ナル原因ハ我集中火ノ困難ヨリ來ルコト多シ故ニ斜射若シクハ側射ヲ巧ミニ行ヒ火力ノ集中ニ注意セハ其困難ヲ自然ニ輕減スルヲ得ヘシ

第二節 包圍攻撃

包圍トハ正面攻撃ト側面攻撃トノ合成セルモノナリ其目的ハ敵線ノ正面及側面ヲ包ミ撃ツニ在リ而シテ包圍ニハ敵ノ一翼ヲ包圍スルト其兩翼ヲ包圍スルトノ二種ノ方法アリ又包圍ト云フ意義ヨリ云フトキハ一部ヲ以テ敵ノ正面ニ當リ主力ヲ以テ側面ヨリ包

包圍ノ利益

圍スルト主力ヲ以テ敵ノ正面ニ當リ一部ヲ以テ側面ヲ包圍スルトアリ而シテ通常攻撃翼ニ豫備隊ヲ置ク必要アルヲ以テ普通ノ包圍攻撃ハ一部ヲ以テ敵ノ正面ヲ支ヘ主力ヲ以テ敵ノ側面ヲ攻撃スルコトトナルヘシ

包圍ノ利害ハ正面攻撃ト側面攻撃ノ利害トヲ相合シタルモノナリ其概要ヲ述フレハ次ノ如シ

包圍ノ利トスル點

- 一、包圍ヲ實施センニハ攻者ハ守者ニ優ル銃數ヲ配列シ正面及側面ヨリ敵ヲ包ミ撃チ自然ニ包圍翼（正面ト側面トノ接合點）ニ火力ヲ集中シ此處ニ攻撃ノ進入路ヲ作ルニ容易ナリ



包圍ノ利

包圍ノ害

- 二、包圍ハ正面攻撃ニ比シ攻撃ノ成果ヲ迅速ニ收得スルコトヲ得
 - 三、包圍ハ物質上ノ利益ハ勿論精神上ノ優勢ヲ充分ニ發揚スルコトヲ得且ツ之ニ依テ守者ヲシテ悲觀的感情ヲ起サシム殊ニ包圍ニ對スル守者ノ兵力著シク乏シキトキハ尙甚シキモノナリ
 - 四、包圍ハ敵ノ退路ヲ脅威スルコト容易ナリ
 - 五、包圍ニ對シ守者ハ其正面ヲ延長スルカ守勢鉤形ヲ取ルカ或ハ逆襲ニ轉スルコトヲ計ルヘシ其第一第二ノ場合ニアリテハ攻者ハ依然包圍ヲ續行シテ其利益ヲ收メ第三ノ場合ニアリテハ守者ヲシテ陣地ノ利益ヲ棄テ我ト同等ノ地形ニ於テ戰フニ至ラシム
 - 六、包圍ノ成功ノ結果ハ正面攻撃ニ比シ著シク多大ナリトス
- 包圍ヲ害トスル點
- 一、優勢ノ兵力ヲ有スルニアラサレハ正面過廣トナリ自然兵力分離ニ陥リ易ク且ツ包圍運動中ニ於テ各個ニ擊破セラル、ノ危險頗ル大ナリ

二、側面ヲ敵ニ接近セシムルヲ以テ其側面並ニ退路ノ危險ヲ感ス

三、守者ノ正面攻撃ニ任スル部隊ト包圍攻撃ニ任スル部隊トハ連繫合致ノ連動スル事頗ル緊要ナリ然レトモ其照合困難ニシテ往々機ニ先チ一部ノ決戦ニ陥ル弊アリ

四、包圍不成功ニ了ルトキハ多大ナル困難ヲ生スルニ至ルヘシ

以上ノ如ク比較考量スルトキハ包圍ハ兵力ノ優勝ナルトキニ非ラサレハ危險タルヲ免レス殊ニ兩翼ヲ包圍セントスルトキハ更ニ一層ノ優勢ヲ必要トス而シテ其危險ノ程度ハ近世火器ノ精銳殊ニ機關銃ノ採用ニ基キ包圍ヲ行フ間ニ於ケル我正面ノ強度増加セラレタルヲ以テ大ニ輕減セラレタルヲ覺ユ而シテ又兵力ノ優勢ナルモノハ過廣ナル正面ヲ占ムルトキニ於テ其効力ヲ違フシ得ルモノニシテ此場合ニハ特ニ有利ノ方法タルヘシ

包圍ヲ行フニハ通常左ニ掲クル所ノ三方法ニ依ルヘシ

- 一、豫メ數縱隊ニ區分シ前進セルモノ其連動ノ結果ヲシテ自然包圍ニ至ルモノ
- 二、一旦開進セルモノ又ハ開進セサルモ展開前ニ於テ包圍ノタメニ分進スルモノ

三、己ニ展開シタル兵力ヲ移動シテ行フモノ

第一ノ方法ハ多クハ大軍ニ於テ用ヒラレ眞ノ包圍攻撃ヲ行ヒ得ルモノナリ從テ其利益多大ニシテ敵ヲシテ全ク我動作ニ從ハシムルコトヲ得且ツ我退路ヲ變セサルヲ以テ危險頗ル僅少ナリ然レトモ此方法ハ正面ニ向ヘル友軍トノ攻撃動作ヲ全然合致セシムルコト頗ル困難ナル弊アリ現今ノ通信機關ヲ利用セハ昔日ノ如ク苦痛ヲ感セスト雖モ未タ全ク其ノ害ヲ除去シ能ハス故ニ有爲ナル敵ニ對スル時ハ各個擊破ノ害ニ陥ルコトナキニアラス「ヂツクフート」氏ハ此ノ如キ場合ニ於テ兩翼縱隊ノ兵力ヲ強大ナラシムルカ或ハ各縱隊ノ先頭ヲ梯次ニ配置シ當初ヨリ一定ノ方法ヲ以テ兵力ヲ區分スルヲ可トスト云フ說ヲ唱ヘタリ然レトモ「ヂツクフート」氏ハ直ニ此方法ヲ以テ全然是認セス斯ノ如ク包圍ノ有利ナルコトハ一般ニ認ムル所ナルモ其方法ニ至テハ未タ原則的ノ良案ヲ發見スルニ至ラス是レ蓋シ當然ニシテ敵狀及縱隊路ノ状態ニ一定ノモノヲ得ラレサルヲ以テナリ故ニ包圍運動ヲ行フニ當リテハ一方ニ於テ各縱隊長ノ勇斷果決ニシテ義務心ニ富ムト同時ニ他方ニ於テハ主將カ敵軍ノ價值ヲ熟知シ且ツ巧ミニ騎兵及航空機

ヲ使用シ並ニ通信機關ノ設備ニヨリ命令通報及報告ヲ確實ニ傳達スルコトニ依リテ會戰ノ指揮ヲ容易ナラシメ合致運動ノ確實ヲ謀リ以テ其成功ヲ期セサルヘカラス

第二ノ方法ハ多クハ一縱隊ヲ以テ前進シタルトキニ行ハルルモノナリ而シテ此場合ノ如キニ在テモ合致運動ハ依然必要ナリ然レトモ其合致ヲ求ムルノ要領ニ至リテハ第一ノ場合トハ少シク其趣キヲ異ニス即チ側面ニ向フ部隊ハ守者ノ射界外爲シ得レハ視界外ヲ運動シ敵彈及敵眼ニ觸レサルコト必要ナリ如何トナレハ此部隊ハ不意ニ敵ヲ掩撃スル事ヲ以テ目的ヲ達成スル事容易ナルニ至ルヲ以テナリ從テ包圍部隊ハ大ナル迂路ヲ取ラサルヘカラサルヲ以テ此間ニ正面ニ對スル部隊ハ敵ヲ其方面ニ牽制シ而モ機ニ先チ單獨ニ決戰ヲ誘起スルコトアルヘカラス守者ハ此場合ニ於テ乘スヘキ好機トシテ攻者ヲ各個ニ擊破セント企ツルヲ以テ攻者ノ方ヨリ云フトキハ危險ハ全ク此運動間ニ在リ

合致運動ヲ巧ミニ指導スルニハ包圍部隊ヲシテ其運動ヲ可成早く開始セシムルコト必要ナリ步兵操典第二百二十七ニ於テ展開ニ先チ之ヲ準備セサルヘカラスト云フハ展開前

ニ着手スルノ必要ナルコトヲ示シタルモノナリ既ニ戰鬪實行ニ決シ展開ヲ行フニ當テハ其正面ニ濃密ノ散兵線ヲ配附シ得ル如ク多クノ兵力ヲ用ユルモノナリ然ルニ其後面ニ於テ戰鬪實行ヲ見合セ其兵力ノ一部ヲ割テ包圍ヲ行ハントスルモ最早多クハ實行セラレサルカ又ハ時機ヲ失シ危險ヲ加フルニ至ル又例令之ヲ爲シ得タリトスルモ其成功果シテ充分ナルヤ否ヤハ疑ハレ要スルニ此種ノ包圍ハ希望ノ如ク敵ノ側面ニ達スルモ亦其正面ニ衝突シ包圍ノ功ヲ全フシ能ハサル不利ヲ有ス殊ニ後方梯隊ノ戰鬪加入ニ依テ包圍ヲ行フ時ハ更ニ其不利大ナリトス展開前ニ於テ包圍運動ニ着手セサルヘカラサルハ此等ノ不利ノ大部分ヲ除カントスルニ在リ

第三ノ方法ハ地形頗ル有利ニシテ其運動ヲ全ク敵ニ秘匿シ得ルカ或ハ夜間ヲ利用シ得ル如キ特別ノ場合ニ限ルモノニシテ其他ノ時機ニ於テハ殆ント之ヲ行フ能ハス若シ強テ實行セントセハ終ニ其結果ハ包圍ノ利ニアラスシテ多クハ敵ニ乘セララルノ機會ヲ與フルニ過キザルニ至ル

現今ノ如キ精巧ナル火器ヲ有スル守者ニ對シ中央突貫ヲ行フハ頗ル難事ニ屬ス之ニ反

シテ包圍モ亦決シテ唯一適當ノ攻撃法ニアラス殊ニ敵ノ正面ヲ恐レテ包圍ヲ企ツル如キハ之ヲ慎マサルヘカラス是レ敵ハ到ル處ニ正面ヲ作り得レハナリ包圍部隊ハ敵カ隨意ニ正面ヲ作り得ルヲ以テ其運動間ハ蔭蔽物ヲ利用シ敵ノ意表ニ出ルコトヲ勉メサルヘカラス而シテ蔭蔽ヲ得ツルニ至ラハ敵ノ正面ナルト側面ナルトヲ問ハス勇猛ニ攻撃シ動作ノ勇敢ヲ以テ敵氣ヲ奪ヒ成功ヲ容易ナラシメサルヘカラス

包圍部隊カ敵前ニ現出スルニ至ラハ正面ニ在ツテ持久戰ヲ取リシ部隊ハ直ニ全線ヲ藉テ猛烈ニ攻撃前進ニ轉シ正面側面共一致シテ敵ヲ包圍シ撃タサルヘカラス我攻撃ノ猛烈ナル丈ケ守者ハ逆襲ニヨリテ其苦痛ヲ醫セント計ルナルヘシ而シテ其逆襲ハ多クハ包圍部隊ノ側面ニ向ケラルルヲ以テ包圍部隊ノ豫備隊ハ之ヲ其外翼ニ備ヘ使用スルニ望ンテハ能ク當時ノ狀況ヲ看破シ危險ヲ感スル間ハ可成其一部ヲ貯ヘ置ク必要アリトス

第四節 迂回

迂回トハ敵ノ正面ニ對シ其翼ヲ繞面シ全ク其背後ニ出ル運動ヲ稱ス迂回ノ目的ハ攻撃ニアラスシテ退却線ヲ脅威シ此成果ニ依テ敵ヲシテ陣地ヨリ去ラシムルカ或ハ我主力ノ正面攻撃ヲ容易ナラシムルニ在リ又迂回隊カ攻撃ヲ行フ場合ナキニアラスト雖モ其レハ主タル目的ニアラス故ニ迂回ハ包圍ノ如ク直接ノ効力ヲ有セサルヲ常トス從テ攻撃法ト稱スルハ元ヨリ穩當ナラス只攻撃ト相關聯スル動作ト稱シテ可ナラン

迂回ハ主力又ハ全部ヲ以テスルノト一部ヲ以テスルトノ兩場合アリ其第一ノ場合ハ機動ヲ以テ敵ヲシテ其陣地ヲ棄テテ他ノ場所(攻者ノ比較的便宜ナル地)ニテ交戦セシメ第二ノモノハ退却線ヲ脅威スルコトニ依テ主力ノ攻撃ヲ容易ナラシムルニ在リ迂回ノ利益ハ堅固ナル陣地ニアル敵ヲシテ出撃若クハ退却セシメ直接ニ堅固ナル陣地ヲ攻撃セシテ彼ヲ制スルニアリ其不利トスル所ハ包圍ヨリモ更ニ危險ノ度一層増加シ殊ニ迂回運動間各個ニ撃破セラルルノ害ヲ受クルコト及退却ノ危險ヲ感スルコトトハ其最も著シキモノニシテ迂回スルモノハ已ニ迂回セラレタルニ等シト云フハ實ニ此ノ點ニアルベシ

迂回ハ我兵著シク優勢ナルカ地形上退路ノ危険ナキトキニ限ル然レトモ一部ヲ以テスル迂回ハ各個撃破ニ陥ルノ害免レサルモ之ニ依テ本攻ヲ容易ナラシムルコトハ包圍ヨリモ遙ニ便利ナル場合多シ斯ノ如ク迂回ハ一種ノ極端ナル動作ナルヲ以テ又極端ナル利害ヲ有ス故ニ之ヲ行フニハ其得ル所能ク失フ所ヲ償ヒ得ルヤ否ヤヲ熟考セサルヘカラス迂回ハ包圍ノ如ク敵ノ近傍ヲ運動スル時ハ敵ニ遮蔽シテ目的點ニ達スル能ハサルヲ以テ包圍ト同シ價值ヲ以テ終ルカ或ハ各個ニ撃破セララルニ至ルヘシ故ニ更ニ遠ク遠隔ノ地ヲ繞回シテ全ク敵ノ不意ニ出スルヲ可トシテ其動作ハ殊ニ勇敢機敏ヲ要スル所以ナリ

一部ヲ以テスル迂回隊ノ動作ハ恰モ別働隊ノ如キ動作ニ出テサルヘカラサルコトアリ然レトモ敵ニ衝突スルトキハ勇猛果敢ニ眞面目ノ攻撃ヲ必要トスルコトアルヲ異ナリトス

第五節 高地攻撃一般ノ要領

一、高地ハ守者ニ有利ナル丈攻者ニモ亦不利ニシテ高地攻撃ハ困難ナル攻撃ノ一種ナリ而シテ高地攻撃ニ於テ最モ不快ヲ與フルハ高地ノ背後ニ於ケル狀況ノ不明ナルニアリ守者ハ攻者ノ歩砲火ニ對シテハ前方斜面ノ守兵ヲ極減シ同時ニ其大部ヲ防界線ノ後方ニ遮蔽休憩セシメ以テ反撃ノ好機ヲ捕ヘント待テツツアリ而シテ攻者カ斜面ヲ攀登スル爲メ氣息迫リ一時體力ノ困憊シタル期會ニ乘ジ急ニ休憩シ兵アルヲ第一線ニ増加シ或ハ防界線ニ配置シテ一舉ニ攻者ヲ擊退セント計ルハ之レ守者ノ戰鬪ノ状態ナリ此最後ニ現出スル守者ノ兵力ノ優勢ナル間ハ攻撃ハ決シテ容易ニ落着スルモノニアラス從テ突撃ハ再三再四繰返サルルニ至ル故ニ高地ノ攻撃ヲ行フニハ其實施ニ先チ防界線後ノ狀況ヲ詳知スルコトハ攻撃部署ヲ決定スル上ニ於テ又攻撃ノ成功ヲ迅速ナラシムル上ニ於テ極メテ緊要ナル條件ナリトス

二、攻撃正面ヲ成可ク突出部ニシテ斜面ニハ寧ロ急峻ニシテ死角ヲ生シ易キ部分ヲ選定スルヲ可トスル場合アリ元來突出部ハ守者ノ最モ力ヲ用ヒテ防禦編成ヲ行ヒ且ツ爲シ得ル限り多クノ守兵ヲ配置シ要スルニ堅固ナル部分ニ屬ス而シテ攻撃正面ヲ敵

ノ如何ナル部分ニ選定スルモ其位置ニ於ケル防禦設備ヲ破壊セサル間ハ通常歩兵ノ突入ハ困難ナリ其理由ハ敵陣地前ニ僅少ノ障害物ノ存セサル時ニ於テサヘモ突撃兵ハ傾斜攀登ノ爲ニ速度ハ減却シ加フルニ守者ノ猛烈ナル射撃ヲ受ケルニ於テハ指揮官如何ニ督勵スルモ又各兵死ヲ決シテ邁進セントスルモ體力ト氣息トハ決シテ之ヲ許ササルヲ以テナリ故ニ突入前ニ於テ攻撃正面ノ防禦物ヲ破壊スルコトハ高地攻撃ノ第一着歩ニシテ其成果ハ突入ノ結果ヲ左右スルモノナリ然ルニ其破壊ヲ要スル防禦物ハ通常我方ノ斜面ニアルヲ以テ其ノ發見及破壊ヲ行フニハ必スシモ困難ナラス故ニ突出部ニ於ケル防禦編成ノ堅固ナルコトハ攻撃正面ニ撰定スルノ利益ヲ消滅スルコトナシ加之突出部ハ例令守者重層配備ヲ取ル時ニ於テモ元來正面狹少ナルヲ以テ大兵ヲ用ユルコトナク若シ之ニ加フルニ斜面ノ若干急峻ナルニ依テ自然死角ヲ生スルコトアラハ愈々守者ノ弱點ヲ成形シ有利ナル攻撃點タルコトヲ得ヘシ

突撃前斜面脚若シクハ中腹ニ於テ死角若クハ守者ノ射撃シ得サル扇形地ヲ發見スルコトハ最モ緊要ナル條件ナリ攻者若シ斜面脚ヨリ一擧ニシテ防界線ニ達シ雌雄ヲ爭

砲撃

フコトヲ得ハ前述ノ條件ハ必シモ緊要ナラスト雖モ高地トシテ守者ニ充分ナル利益ヲ與フル如キ高地ニ在テハ攻者カ一擧ニ防界線ニ達シ得ルコトハ通常稀ニシテ殊ニ守者ノ火力最モ盛ナル間ハ斜面脚及斜面中ニ於テ停止整頓ヲ行ハサルヘカラサルニ至ルモノナリ此際若干ノ遮蔽物ヲ發見スルコトハ爾後ノ突撃ヲ成功セシムル爲ニ著大ノ效果ヲ呈スルモノナリ

三、砲撃ヲ以テ突入前ニ於テ攻撃正面ニ屬スル防禦物ヲ破壊スルノ必要ナルハ前項ニ述シ如ク極メテ緊要ニシテ此破壊不充分ナルトキニ突撃ヲ強ユルモ恐ラクハ不成功ヲ希望スルニ等シ故ニ此場合ニ於ケル砲撃ノ目的ハ突入點ニ於ケル防禦物ノ破壊ヲ以テ主要ト爲シ之ニ次クニ守者ノ殺戮ヲ以テスルヲ可トセン又守者ハ防禦物ニ依頼スル精神大ナルヲ以テ先ツ之ヲ破壊シテ赤裸々トナラシムルヲ緊要トス而シテ一旦守者ノ依頼點ヲ奪ヒタル後ハ兵力ノ多寡ハ余リ關係ヲ有セサルニ至ルベシ

四、攻撃歩兵ハ我砲火ニ支援セラレツ疎散ナル散兵線ヲ以テ比較的敵火ヲ避ケ易キ地點ニ向ヒ間斷ナク躍進ス斯ノ如キ運動ヲ行フモ守者ハ容易ニ高地ヲ棄テテ出撃ス

歩兵ノ動作

ルコトナキ故ニ危険ヲ訴フルヲ要セス而シテ突入距離ニ接セバ敵火ヲ顧慮シテ停止シ後續者ノ來着ヲ待ツト同時ニ氣息ヲ鎮靜シ稍々多クノ兵力ヲ得ルニ至ラハ我砲火ノ爆烟内ヲ潛リテ敵陣ニ突入スルモノナリ

高地ノ攻撃ニ於テ援隊豫備隊ノ區分ハ戰鬪初期ニ於テハ必要ナルモ斜而脚若クハ斜面ヲ攀登スル頃ニ至ラハ機ヲ失セズ之ヲ第一線ニ注入スルヲ要ス然ラサレハ運動困難ニシテ決シテ適時ニ第一線ニ協力シテ突入スルコト能ハサルヘシ而モ突入ノ成果ハ實ニ一兵モ多ク第一線ノ突入部隊ニ加入スルコトニ依テ得ラルヘシ

五、高地戰ニ於ケル勝敗ハ上而前線ノ得喪ニ歸スルヲ以テ頑強ナル守者ハ最後迄之ヲ爭フテ止マス極端ナル戰鬪ニ於テハ此處へ構築セル胸牆ヲ隔テテ火戰ヲ繼續シ或ハ土石ヲ投シテ退却セス而シテ攻者モ又通常同シ方法ヲ以テ相對抗スルニ至ル之ハ決シテ攻者ノ希望ニアラサルモ而モ斜面ノ攀登ニ際シ突擊部隊ノ大半ヲ失ヒ僅ニ線端附近ニ達セシモノモ體力氣力ハ減耗ノ極點ニ達シ隊伍全ク錯亂シ指揮官又立ツ能ハサルニ至リ從テ直ニ敵ヲ驅逐スルノ實力ヲ有ヒサルニ依ル故ニ先着者ハ斯クノ如ク

シテ幸クモ其位置ヲ保持シ得レハ漸次後續者ノ來着ニ遇ヒ氣息鎮靜シ氣勢加ハルト同時ニ相對抗スル彼我ノ頭數平均スルニ至レハ守者ハ遂ニ退却ニツキ優劣頓ニ一變ス之ヲ以テ最後ノ輸贏ハ我頭數ノ敵ニ優ル時ニ至リ結着ス故ニ先着者カ堅忍線端ヲ保持スルト同時ニ後續者ノ最モ速カニ先着者ニ合スルコトハ極メテ必勝ノ要訣ナリ援隊豫備隊ハ爲シ得ル限リ迅速ニ第一線ニ加入スルカ然ラサレハ其距離ヲ極減スルコト平地ニ於ケルヨリモ一層速ナル事ヲ要求スル所以又實ニ此邊ニ存ス而シテ此必要ハ尙左ノ顧慮ノ爲ニ其度ヲ増大スルモノナリ

則チ守者ノ反擊ヲ行フ好機ハ前線ノ得喪ヲ爭フ時若クハ一旦之ヲ失フモ攻者ノ後續部隊未タ多ク到着セサル時ニアリ而シテ守者ハ諸方面ヨリ急進シ力ヲ極メテ反擊シ決シテ一二回ニシテ止マラス此瞬間ニ於テ攻者ノ擊退セラレコトアラハ此攻撃ニ用ヒタル兵力以上ノ新銳兵ヲ以テ攻撃スルニアラサレハ通常奏功ヲ全フセス故ニ一度攻撃シテ占領セル位置ハ一兵ニテモ現存スルニ限り決シテ敵ニ讓ルヘキモノニ非ラス夫レト同時ニ急速ナル援續部隊ノ支援ノ必要カ如何ニ緊要ナルカヲ知ラサルヘ

守者ノ反撃ハ最初第一回ニ於テ猛烈ニ是ヲ擊退セハ爾後幾回之ヲ反覆スルモ特ニ大企圖ノ計畫ヲ用ヒサル限リハ通常成功スルコトナキモノナリ如何トナレハ後方部隊ノ漸次來着スルト其位置ニ於ケル防禦設備モ又漸次其強度ヲ加フルニ至ルヲ以テナリ此ニ特ニ注意スヘキ要件ハ攻者上面ノ前線ヲ占領セハ此處ニ根據ヲ作リテ其兵力ヲ整頓シ敵ノ反撃ニ對スル熟慮必要ナリ然レトモ長ク此處ニ留マルコトハ決シテ有利ナラサルノミナラス遂ニ前線ヲモ喪失スルニ至ル其故ハ前線ノ近傍ニ止ルモノハ後線ノ狀況尙未知ニシテ後線ヲ防界線トシタル一種ノ高地ハ彼我ノ間ニ存在スルモノニシテ敵ハ如何ナル企圖ノ準備ニアルヤ知ル能ハス守者ヲシテ再三ノ反撃ヲ企テシムルモノ多クハ後線ヲ攻略スルノ後ルルニ基因ス故ニ攻者前線ニ於テ足場ヲ得ハ直チニ後線ノ攻略ヲ實行セサルヘカラス

六、高地全部ノ占領ヲ終ラハ追撃射撃ヲ以テ敵ヲ織滅スルコトヲ計ラサルヘカラス而シテ占領セル高地ニハ直ニ防禦設備ヲ加ヘ敵ノ回復攻撃ニ備フルヲ要ス而シテ戰場

外ノ追撃ヲ行フノ必要ハ一般ノ場合ト異ナルコトナシ然レハ高地ヲ棄テテ全部前進ニツクハ全ク回復攻撃ノ顧慮ナキ時ニ限ル若シ此ノ顧慮アラハ少ナクモ一部隊ヲ高地上ニ止メ只高地ノ側方ヨリ追撃ニ前進スルコト必要ナリトス

第六節 攻撃點撰定要旨

攻撃點ノ撰定ハ攻撃計畫ノ主部ニ屬シ成功ノ爲メ頗ル多大ノ關係ヲ有ス故ニ時間ト力ノ許ス限リ方法ヲ盡シテ敵狀及地形ノ偵察ヲ行ヒ然ル後之ヲ決定スルヲ要ス而シテ此偵察ハ常ニ指揮官ノ満足スヘキ結果ヲ與フルモノニ非ラス又步兵操典第五ニ云ヘル如ク地形ノ不利ト敵狀ノ不明トヲ以テ決心ノ遂行ヲ躊躇スヘキモノニ非ラス故ニ任務上攻撃ヲ要スル場合ニ於テハ諸種ノ手段ヲ盡シテモ尙不明ナル狀況ヲ知ラント苦心スルハ避ケサルヘカラス而シテ斯クノ如キ場合ニ於テハ自己ノ兵力ヲ用ユルニ便利ナル方面ヲ擇テ其攻撃ヲ計畫スヘキモノナリ即チ敵ニ比シ我兵力ヲ最モ多ク用ヒ得ヘキ突出部ニ向クルヲ可トス而シテ若シ此處ニ達スル爲ニ蔭蔽物ヲ利用シ得ルトキハ更ニ便利

ナリトス然ルニ斯ル事ニ注意セスシテ徒ニ敵ノ薄弱部或ハ蔽蔽物ヲ利用スルコトノミヲ考ヘ奇利ヲ博スルコトニ焦慮スルモ實ハ斯ノ如キ部分ハ敵モ又相當ノ設備ヲ加フルヲ以テ敵ニ優ルノ兵力ヲ用ヒサレハ遂ニ敵ノ抵抗ヲ打破スル能サルモノナリ要スルニ此種ノ考案ノ基礎ハ畢竟僅ニ働イテ多大ノ報酬ヲ得ントスル奇計ニ近シ元ヨリ此ノ如キ奇計ト雖モ之ニ依テ利益ヲ收メ得ル時ハ決シテ之ヲ利用スルニ躊躇スルヲ要セサルヘシ然レトモ之ハ多クハ小部隊ノ爲メニ利用セラレ又持久戰ヲ爲ス部隊ニ於テ奇行ヲ奏スルコトアルニ過キス大部隊ノ戰鬪ニ於テ互ニ實力ノ争ヲ以テ勝敗ヲ決セントスル場合ニ於テハ斯ル奇計ハ多クハ其功ヲ見サルモノトス換言スレハ大部隊ノ主攻擊ニ在リテハ地形及天候等ニ特別ノ援助ナキ限リハ實力ヲ以テ効果ヲ收ムルノ覺悟ナカルヘカラス故ニ本攻撃點ハ敵ニ優ルノ兵力ヲ用ヒ得ヘク我優勢ヲ以テ敵ヲ包圍シ得ヘキ突出部ニ撰定シ敵カ如何ニ兵力ヲ用ヒントスルモ遂ニ我兵力優ルモノヲ展開シ得スシテ我實力ニ壓倒セラルル如キ地點ヲ以テ有利ナル攻撃點トス

第七節 攻撃開始時期ノ決定

拂曉攻撃
合ヲ行フ場

攻撃ヲ如何ナル時期ニ開始セシムルカハ攻撃點ノ撰擇ニ關聯シ攻撃計畫ニ重要ノ關係ヲ有スルモノナリ而シテ通常敵狀地形及敵砲兵陣地等ノ偵察ノ結果ニ基キ決定スヘキモノナリ併シ步兵操典第五ニ云ヘル如ク任務ノ遂行ハ敵狀地形ノ不平等ノタメニ躊躇スヘキモノニ非サルヲ以テ攻撃時期ノ撰定モ亦自然敵狀及地形ニ依テノミ決定スル能ハス任務及友軍一般ノ狀況ヨリ餘義ナクセララルル場合少カラス特ニ持久戰ニ任スル部隊ノ攻撃ハ本軍ノ關係ヨリ其時期ヲ左右セラルルコト多シ是其目的自己ノ便否ヨリモ專ラ本軍ノ勝利ヲ得ルニ勉ムルヲ必要トスルニ因ル然レトモ決戰攻撃ヲ行ハントスルモノハ戰術上ノ成果ヲ得サレハ獨リ其目的ヲ達セサルノミナラス爾後ニ於ケル戰略的動作ヲ妨害スルヲ以テ此場合ノ第一要義ハ勝利ヲ得ルニ非ラサルヘカラス故ニ狀況多少ノ猶豫ヲ與フル時ハ勝利ノ獲得ニ便ナル時期ヲ撰擇スルコト極メテ緊要ナリ之ヲ以テ狀況之ヲ許シ諸偵察ノ結果左ノ如キ場合ニ於テハ夜暗ヲ利用シテ攻撃準備陣地ニツキ拂曉ヨリ攻撃實行ニ移ル場合多シトス

- 一、攻撃ノ爲メ長距離ノ間敵火ノ掃射ヲ受ケ晝攻撃ヲ企ツルモ其奏功ノ確信ヲ欠

ク場合

一四〇

二、攻撃前進間逐次占領スヘキ地形ヲ欠キ而モ其攻撃間優勢ナル敵ノ逆襲ヲ受クルノ顧慮アルモ之ヲ支ヘ得サルノ恐アル場合

三、我砲兵ヲ適當ノ位置ニ配置センニハ夜間ニアラサレハ敵火ノ爲メニ進入シ難キ時

四、敵前ニ障害物アリ夜間ニ於テ其通過法ヲ講シ置カサレハ攻撃ヲ遂行シ能ハサルトキ

第一ノ如キ場合ニ在テハ假令我兵力優勢ナル時ニ於テモ白晝攻撃ヲ企ツレハ忽チ其優勢ヲ失フニ至ル而シテ攻撃ヲ中止シ現状ヲ維持セントスルモ或ハ困難トナリ遂ニ退却ノ餘儀ナキニ至ルコトナシトセス故ニ斯クノ如キ場合ニ在テハ夜暗ヲ利用シテ敵陣地ニ接近シ此ニ至ル間ニ於ケル死傷ヲ免ルルハ其後ニ於ケル攻撃奏功主因タルヘシ

第二ノ如キ場合ニアリテハ夜暗ヲ利用シテ適當ノ距離ニ前進シ此ニ攻撃ノ據點ヲ作り攻撃ノ準備ニ備フルト共ニ敵ノ逆襲ニ對スル抵抗線或ハ餘儀ナキ退却ノ收容ニ利用ス

ルノ基礎ニ充ツルヲ要ス

第三ノ如キ場合ニ於テ我砲兵カ損害ヲ蒙ルコトナク有利ノ陣地ニ進入シ且ツ其陣地ニ必要ナル掩護設備ヲ施サシメ以テ砲兵戦ヲ開始セシムルハ攻撃成功ノ基礎タルヘシ若シ我砲兵白晝陣地ニ進入スルカ爲メ餘儀ナク遠距離ニ於テ不適當ノ位置ヲ占メ且ツ曝露シテ開戦セサルヲ得サルトキハ假令防楯ヲ有スルモ自然敵ニ制壓セラレ我威力ヲ充分發揚シ難カルヘシ假ニ敵砲兵ニ對シ若干ノ成果ヲ得ルモ攻撃歩兵ト適當ナル協同動作ヲ行フ爲ニハ陣地變換ノ必要ヲ生スルニ至ル然ルニ陣地ニツキシ砲兵カ敵火ノ下ニ陣地變換ヲ行フコトハ決シテ容易ナラサルヘシ何トナレハ我ハ注意シテ梯次ニ行ヒ敵ハ其火力衰ヘタリトスルモ我砲兵カ前車ヲ接續スルヲ見テハ全力ヲ盡シテ猛火ヲ加ヘサルコトアルナシ從テ其損害ハ決シテ少カラサレハナリ故ニ敵火ノ下ニ於ケル陣地變換ハ特ニ地形ノ援助アルカ敵砲兵ノ殆ント沈黙シタル場合ニアラサレハ行ヒ難キコト多シ此ヲ以テ陣地變換ノ困難ヲ顧慮シ初メヨリ適當ノ位置ニツキ最後ノ時期ニ至ル迄最モ有利ノ砲戦ヲ希望セハ夜暗ヲ利用シテ進入セシムルヲ必要トス

第四ノ如キ場合ニシテ敵壘前ニアル副防禦ノ如キ障害物ハ我砲兵ヲ以テ尙之ヲ破壊シ得ルトスルモ河川沼澤ノ如キ地障ハ決シテ勇氣ヲ以テ跋涉シ得ルモノニ非ラス是非特別ノ設備ヲ加フルニアラサレハ攻撃部隊ヲ進マシムル能ハサルモノトス此種ノ設備ハ夜暗ヲ利用シ得ルコトニ依テ完成シ得ルモノナリ

第八節 攻撃計畫ノ要旨

攻撃計畫トハ攻撃ニ關スル判斷ノ處置ニ外ナラス從テ此計畫ハ攻撃ニ關スル諸命令ノ基礎ヲナスノミナラス戰闘指導ノ策定案ナリ而シテ其計畫ノ繁簡ハ攻撃軍ノ大小及當時ノ狀況ニ關スルノミナラス計畫書トシテ常ニ之ヲ作爲スルモノトハ限ラス小部隊ニ在テハ勿論大部隊ニ在テモ時期ノ逼迫シタルトキハ是等書類ヲ調製スル事ヲ要セス其要ハ其腹案ヲ有スルノミヲ以テ足レリトス故ニ之ヲ調製スル場合ニ於テモ元ヨリ一定ノ形式ナルモノアルコトナシ只簡明ニシテ遺漏ナク一讀了解シ得ルニ在リトス
 攻撃計畫ハ作戰命令ト異リ變化スヘキ諸種狀況ヲ判斷シテ遠キ將來ノ希望ヲモ如何ナ

ル順序ト方法トヲ以テ果シ得ヘキカノ考案ヲ詳細ニ考定シ必要ナル事項ヲ擧テ準備ノ基礎ニ充ツルモノトス否ラサレハ戰闘開始後ニ於テ往々失態ヲ發見スルコトアリ而シテ急ニ之ヲ處置セントスルモ困難澁滞欠乏ヲ免ルル能ハス只此ニ特ニ注意スヘキハ希望及手段ハ將來戰況ノ變遷ニ應シ殆ント確實ニ實施シ得ラルルノ理由ヲ有セサルヘカラス狀況ニ適合セス實施シ得ヘキ成算ヲモ有セサル希望及手段ハ如何ナル明案ト雖モ徒ニ煩勞セシムルノミ又判斷シ得ラレサル事項ハ決シテ掲クヘキモノニ非ス
 計畫書ノ性質如上ナルヲ以テ計畫書ヲ調製シタル時ニ於テモ必スシモ之ヲ部下ニ示スヘキモノニ非ラス或ハ却テ之ヲ示シタルカ爲ニ弊害アルコトアリ或ハ之カ爲ニ計畫ヲ漏洩スルコトアリ然レトモ大軍ノ會戰ニシテ連續數日ニ亘ルヘキ狀態ニ在リテハ尙適時ニ適當ノ命令及通報ヲ發シ難ク而モ各團隊ノ連繫緊密ナランコトヲ希望スルトキハ之ヲ次級指揮官ニ内示シ以テ共同動作ヲ便宜ナラシムル場合アリ只此場合ニ於テモ各團隊ニハ必要ナル事項ノミヲ示スニ止マルヲ良シトス計畫ヲ部下ニ示ストキハ大ニ命令ヲ簡單ニスルノ利益ヲ有ス攻撃計畫ヲ定ムル時ニ於テハ之ヲ腹案ニ止ムルト書式ニ

計上スルトニ論ナク考定スルヲ要スル項目概ネ次ノ如シ

一四四

- 一、目的
- 二、攻撃方面ノ指示(即チ本攻助攻ヲ企圖スル方面ノ大要)
- 三、攻撃部署 軍隊區分及其任務ノ大要)
- 四、各隊ノ運動發起點運動地域占領スヘキ位置及到着時刻並ニ連絡ノ方法要スレハ
歩砲連繫ノ要旨
- 五、攻撃進涉ノ豫定(多ハ數日ニ亘ル場合ニ於テ必要トス)
- 六、兵站設備ノ計畫
- 七、交通路ノ設備破壊ニ關スル計畫
- 八、通信網ノ設備及連絡ニ關スル件
- 九、彈藥ニ關スル件
- 十、衛生ニ關スル件
- 十一、給養及大行李輜重縱列ニ關スル件

十二、若シアレハ注意スヘキ事項

大軍ニ在テ其攻撃數日ニ亘ルトキハ以上ノ指示ヲ確實ニ區分シ之ニ各團隊ノ宿營ノ爲ニ使用スヘキ區域等ヲ計畫豫定スルモノトス
攻撃ニ關スル第一ノ命令ハ計畫事項中差當リ各隊ニ必要ナルモノヲ計畫ニ適合スル如ク作爲シテ發令セラルルモノトス而シテ通常軍隊區分ニ基ク任務ト攻撃準備陣地ノ占領迄ヲ先ツ命スルモノトス

第九節 戰鬪間ノ協同動作

協同動作ニハ各部隊間ト各兵種間ノ區別アリト雖モ共ニ各兵種各隊一定ノ目的ニ向ヒカヲ合セテ之ヲ達成セントスルノ動作ニ外ナラス
各兵種ハ戰鬪動作ノ専門的分業者ナルヲ以テ戰鬪ニ於テ是等各兵種カ協同動作スルノ必要及其協同動作ノ結果戰鬪ニ如何ナル影響ヲ與フルカハ茲ニ論スルノ必要ナシ是ヲ換言スレハ諸兵種ノ協同セサル戰鬪ハ完全ナル戰鬪動作ニ非ラスシテ敗ヲ取ルハ自然

一四五

ナリ又各部隊間ノ協同動作ハ衆力ヲ完全ニ一目的ニ集注スル爲メノ必然ノ結果ニ過キ
ス要スルニ戰鬪ニ於ケル協同動作ノ要否ハ既ニ問題ニアラス如何ニセハ最モ有效ナル
協同動作ヲ爲シ得ヘキカハ今日ノ研究事項ナリ

協同動作ハ戰勝ニ向テスル意志ノ現實ナリ苟モ主將ノ定メタル目的ニ向ヒ部下全隊カ
各力ノ有ラン限リヲ盡シテ働ク有形ノ行爲ナリ是ヲ以テ協同動作ヲ研究スルニ一ノ狀
況ヲモ想定セスシテ行フ具体的ナラサル議論ハ如何ニ縷々ト陳述スルモ其價值甚タ少
シ又戰鬪經過ノ研究ハ自然戰鬪間ニ於ケル協同動作ノ大部分ヲ占ム

先ツ協同動作ヲ爲スニ必要ナル基礎條件即チ連繫ト獨斷專行ニ就テ左ニ詳述セントス
連繫トハ其意義互ニ相提携スルニ在リテ各隊互ニ手ヲ携ヘテ行動スルト云フ協同動作
ナリ換言スレハ連繫ノ結果ハ協同動作ニシテ協同動作ヲ爲スタメニ連繫スレト云ヒ得
シ而シテ其連繫ヲ全フスル爲ニ必要ナル手段ハ概ネ次ノ如シ

- 一、如何ナル場合ニ於テモ自己ノ全力ヲ擧テ諸種ノ障害物ヲ排除シテ其任務ヲ達成
スルコト

二、自己ノ方面ニ於ケル諸狀況ニシテ比隣部隊若シクハ全隊ノ爲メニ必要ナル事項

ハ互ニ通報シ以テ全般ノ狀況ニ精通シアルコト

命令ヲ墨守スルノミニテハ狀況ノ變化ニ應ジ適當ニ行動スル能ハス狀況ハ命令ニ示ス
如ク變遷セサルモノニ非ラス又命令ハ諸般ノ狀況ノ變化ニ共通スル如ク適當ニ下サル
ヘキモノニ非ラス狀況ノ一變スル毎ニ命令サルヘキモノニ非ラス要スルニ命令ハ諸般
ノ狀況ニ適合セス其際自己ノ所置ヲ適當ニ定ムルハ獨斷專行ニシテ其結果ハ自然全体
ノ一致トナリ完全ナル共同動作トナリ最モ有效ナル獨斷專行ハ決シテ容易ノモノニ非
ラス自ラ專恣ナラスト信シテ斷行シタル事ニテモ時ニ獨斷專行ノ範圍ヲ超越スルコト
ナキニ非ラス其之ヲ誤ラサランニハ常ニ全体ノ狀況ニ通曉シ特ニ上級指揮官ノ意圖ヲ
明知シアラサルヘカラス

要スルニ指揮官ノ意圖ヲ知ルハ有效ナル獨斷專行ノ基礎ニシテ其意圖ヲ知ルニハ時ト
シテ豫メ指揮官ニ就テ詳細ニ告知セラルルコトアリト雖モ通常ハ受ケタル命令ニ基キ
之ヲ判定セサル可ラス命令ニハ通常必要ナル狀況ト指揮官ノ目的トヲ前置シ次ニ各隊

ノ任務ヲ示サルルモノナリ其意義ハ此狀況ト目的トニヨリ貴官ニ何カヲ爲スヘク命令スト云フ意ナリ故ニ若シ命令中ニアル狀況カ其後變化シタル時ハ同時ニ受命者ノ任務ハ其若十或ハ全部ハ變更セサルヲ得サル状態ニ至ルモノナリ其際ニ臨ミ指揮官ノ意圖ニ從ヒ適當ノ所置ヲ發見スルハ先ノ命令ヲ繰返シツツ先ツ左ノ如ク考定セサル可ラス指揮官ハ此目的ヲ達センカ爲メ此狀況ニ於テ余ニ斯ク命セリ而シテ目下ノ狀況ニ於テ指揮官ノ目的ヲ達センニハ我ハ如何ニ爲ササル可ラサルカト云フニ在リ

此ノ如クシテ得タル結果ハ即チ指揮官ノ意圖ニ合スルモノニシテ戦闘ヨリ生スル自然ノ任務ナリ此任務ニ向テ進ムコトカ所謂有效ナル獨斷專行ニシテ其結果ハ豫期スル協同動作ニ合一スルモノナリ即チ指揮官ノ意圖ニ從フト云フコトヲ知テ其意圖ヲ知ル方法ヲ盡ササレハ專恣ノ誤用ニ陥ラサラント欲スルモ能ハサルナリ

戦闘ハ之ニ關スル指揮官ノ命令ニヨリ開始セラル其命令ハ指揮官ノ目的主力ノ向フ處各隊各自ノ爲スヘキ動作ヲ示サルヘシ此命令ニ依リテ自己ノ爲スヘキコト並ニ他隊ノ爲スヘキコトヲ詳知シ得ルモノナリ

第二章 不期戰

第一節 不期戰ノ要領

戦闘動作ハ人智ノ及フ限り之ヲ準備スルヲ得ルトモ場合ニ依リ尙不慮ノ事變アリ如何ナル明將モ先見ニハ限リアルモノナレバ判斷ニモ又過誤ナキ事ヲ期セス即チ敵ノ退却ヲシト信シ居ルニ意外ニ是ニ反シテ攻撃シ來ルコトアリ我側面ハ山地ニ托シテ決シテ敵ノ潛入スルコトナシト信シタルトキニ意外ニモ敵ノ攻撃ヲ受クルコトナシトモ限ラヌ又搜索警戒ノ不充分命令報告並ニ通報等ノ不達遲達或ハ天候ノ激變驟雨濃霧等ノ爲ニ意外ノ件ノ生スルコトアリ是等總テノ現象ハ軍隊ヲシテ全く不意ノ衝突ヲ起サシムルコトアリ是等不意ノ衝突ヲ稱シテ通常不期戰ト云フ而シテ不規戰ハ小部隊ノ衝突ニ止マルコト多シ何トナレハ大部隊ニアリテハ通常搜索通信等ノ爲ニ諸種ノ設備ヲ施シアルヲ以テ一二ノ手段ヲ欠クモ他ニ一般ノ關係ヲ知ルノ道ヲ存スレハナリ

不期戰ハ敵ノ停止セルモノニ遭遇スルト運動中ニアルモノニ遭遇スルニツノ場合アリ何レノ場合ニ於テモ不意ノ衝突ハ意外ノ念ニ驅ラレ沈靜ヲ欠キ疑懼ノ爲ニ敵ヲ過大視スルハ自然ノ結果ナリ通視充分ナル晝間ニアリテハ平然タルヲ得ヘキ状態モ夜暗ニアリテハ疑心ヲ生スルト相等シキナリ故ニ衝突ノ際軍隊トシテハ沈靜ヲ保持シ團結ヲ鞏固ニシ指揮官ノ決心ニハ多クハ略モ術モ是ヲ要セス現在ノ隊形ヲ以テ猛烈果敢ニ突撃スルノ一方アルノミ地形ヲ利用シ隊形ヲ變換スルヨリモ寧ロ拙速ノ動作ヲ緊要トス特ニ熟考シテ防禦ニ立チ又敵ノ優勢ヲ恐レテ退却ヲ企ツルカ如キハ殲滅ヲ計畫スルニ等シキモノナリ成功ハ勇膽ノ内ニ存シ迅速ナル攻撃ハ成功ノ半ヲナスト云フ事ハ不期戰ニ於テ最モ能ク適用セラルル語ナリ故ニ敵ノ兵力ノ多寡ノ如キハ勿論顧慮スルヲ要セス彼ヲシテ其優勢ノ利用ヲ得サル如ク迅速ニ攻撃スレハ毫モ恐ルルニ足ラス又斯ノ如キ勇舉ニ出ツルトキハ例令敗戦スルモ軍人タルノ資格ヲ傷ケサルヘシ

不期戰ヲ惹起スル顧慮アルトキハ之ニ適當ナル隊形ヲ以テ行軍ヲ實施シアルヲ便トス故ニ爲シ得レハ初メヨリ陰蔽地ノ戰闘ニ準シタル隊形並ニ區分ヲ撰用シアルヲ可トス

即チ各隊ハ密集隊形ヲ作リ前方及側方ニ斥候若クハ僅少ノ散兵ヲ出シ而シテ狀況ニヨリ二線若クハ三線ニ區分シ其距離ヲ短縮シ以テ第一線ノ突撃ニ際シ直ニ支援シ得ルヲ要ス又最初ハ強大ナル豫備隊ヲ設ケ不時ノ事變ニ應スルコトヲ顧慮セサルヘカラス而シテ第一線ノ突撃ニ對シテハ其側面ヲ警戒スルト同時ニ第一線ノ勝利ヲ全フセントスルノ必要ニ備フ各線ハ中隊縱隊ノ側面向トスルカ或ハ「バルク」ノ所謂小隊ヲ齊頭若クハ雁行ニ併ヘ尙各小隊ハ分隊毎ニ側面向ニアル橫隊隊形ヲ用ユルハ頗ル便利ノ隊形ナルヘシ即チ運動射撃突撃共ニ便ナルヘシ若シ小隊ノ側面向ヲ以テ前進シ突撃ニ際シ銃數ヲ多クハ排列セントセハ自然隣形交換ヲ要スルノ不利アリ然レトモ途上縱隊ニアリテモ不意ノ衝突ヲ生スルコトアルヘシ此場合ニアリテ前方部隊ハ一時其位置ニアリテ射撃ヲ以テ後方部隊ノ準備ヲ掩護シ後方部隊ハ嘯歩ヲ以テ前進シ地形ト狀況ニ應スル兵力ト隊形トヲ以テ直ニ突撃ニ移ルヲ要ス之ヲ要スルニ不期戰ニアリテハ自カラ停止セルト運動中ニアルトヲ問ハス又敵カ如何ナル隊形ニアルヲ論セス我突撃準備隊形ヲ整フル間猛烈ナル射撃ヲ以テ相對シ直ニ猛烈果敢ニ突撃スルモノトス其隊形ノ良否兵

力ノ大小ヨリモ迅速ヲ以テ決勝ノ要訣トス

第二節 遭遇戦ノ要領

現今ノ進歩セル搜索及通信ノ機關ヲ適當ニ使用スルトキハ敵ト不意ノ衝突ヲ起ス如キコトハ殆ント稀有ナリ殊ニ大部隊ノ大會戰ニ於テハ衝突以前ニ遭遇スルノ時機ト地點トヲ豫知シ難キコト多クハアルコトナシ故ニ普通唱フル遭遇戦トハ敵力停止スル場合ニアラスジテ互ニ行軍縦隊ヲ以テ前進スル場合ニ於ケル衝突ヲ稱ス

遭遇ヲ豫期シテ前進スル軍隊ハ攻勢ヲ取ルノ企圖ヲ有ス某地點ニ於テ防禦陣地ヲ占領セント欲シテ前進スル際衝突スル場合ニ於テモ所期ノ地點ニ達センコトヲ遂行スルニハ是非衝突ノ際ニ攻勢ヲ取ラサルヲ得ス故ニ多クノ場合ニ於テハ彼此互ニ攻勢ヲ取ルノ企圖アルモノト云フヘシ故ニ遭遇戦ニ於テ第一ニ求ムル處ハ敵ヲシテ防禦ニ立タシムルニアリ先制ノ利益換言セバ敵ヲ防勢ニ陥ラシムルト云フニアリ

各指揮官ノ努力スル處モ亦此趣旨ニ依ラサルヘカラス敵ヲ防禦ニ立タシムルノ利益ハ

指揮官ノ
決心

彼ハ既ニ攻者ノ利益ヲ失フノミナラス同時ニ又守者ノ利益ノ大部分ヲモ享有シ能ハサルモノトス其理由ハ守者ノ利益ノ大部分ハ陣地ノ撰定及其陣地ニ設備ヲ爲シ之ヲ利用スルニアリ然ルニ遭遇ノ地點ハ常ニ必スシモ豫メ撰定スル如キ價值アル陣地タラス其設備ニ至リテハ全然之ヲ欠ケハナリ之ヲ以テ攻者ノ攻撃ハ甚タ容易ナルヘシ

敵ヲ防禦ニ立タシムル利益ハ之ヲ認ムルコトハ易キモ其茲ニ至ラシムルノ手段ハ決シテ容易ナラス若シ其手段ヲ誤ルトキハ反對ノ態勢ニ陥ルモノトス故ニ遭遇戦ニアリテハ攻撃動作ハ容易ナルモ指揮ハ甚タ困難ナルモノトス左ニ先制ヲ得ヘキ手段ノ要領ヲ概説セントス

一、指揮官ハ決心ヲ適時ニ早ク行フコト

此場合ノ決心ハ攻撃スヘキヤ否ヤノ決心ニアラスシテ主力ヲ何レノ方面ニ用ヒテ攻撃スヘキヤヲ決心スル即チ攻撃面ヲ決定スルモノナリ而シテ此決心ノ基礎ハ敵ヲ防禦ニ立タシムル第一ノ主眼トナスヘキヲ以テ任務ヨリモ寧ロ敵狀（兵數ヨリモ状態）殊ニ地形ノ關係ニアリ而シテ敵ノ状態地形ノ關係等ハ悉ク指揮官自カラ目視シ

得ヘキモノニ非ラス又他ノモノヲ以テ偵察セシムルモ通常機宜ニ適セサルヘシ然ルニ敵狀及地形ノ偵察ヲナシ決心セントセハ常ニ敵ニ先制ノ利ヲ與フルニ至ルヘキヲ以テ指揮官ハ既ニ得タル情報ニ基キ敵狀ヲ判斷シ地圖ニヨリテ地形ノ關係ヲ看破シ直ニ攻撃方面ヲ決定シ軍隊ヲシテ一步モ歩ヲ止メ又迂路ヲ經由セシムルコトナク迅速ニ展開セシムルヲ緊要ナリトス而シテ一旦決心シ既ニ着手シタル展開ハ爾後狀況ニ若干ノ變化ヲ生スルモ最早遂行ニ務メサルヘカラス然ラサレハ敵ノ動作ニ從フニ至ルナリ

命令

二、敵ニ近ツクニ至レハ指揮官ハ務メテ前方ニ位置シ且ツ各直屬隊長（戦闘開始ニ任スルモノヲ除ク）ヲ自己ノ身邊ニ招致シ其決心ヲ直ニ且ツ速ニ命令スルヲ要ス決心ヲ速ニスル所以ハ實施ノ迅速ヲ切望スルヨリ出ツ之カ爲ニハ決心スルト同時ニ之ヲ實施者ニ示シ得ルヲ最モ便トス又各隊長自己ノ身邊ニアラハ合同命令ヲ與フルヲ得ヘク（多クハ各個命令トナルヘシ然レトモ爲シ得レハ合同命令ヲ可トス）然ルトキハ各隊ノ連繫ヲ容易ニシ指揮ノ統一更ニ便ナリ遭遇戦ニ於テ指揮上ノ困難ト稱

前衛ノ動作

スルハ各隊ヲ自由ニ行動セシメ而モ各個ニ擊破セラレサル如ク連繫セシムルニアリ然ルニ合同命令（必スシモ全部ニアラス）ヲ用ユルトキハ各部隊ニ協同動作ノ基礎ヲ與フルヲ以テ指揮ト連繫トヲ著シク容易ナラシム

三、前衛ノ動作ハ要點ノ占領カ必要ナルト同時ニ常ニ攻撃準備ニヨリテ敵ヲ制スルヲ要ス若シ敵ノ攻撃ヲ受クルニ當テハ獨力ヲ以テ極端ノ抵抗ヲ行ヒ決シテ本隊ノ援助ヲ受クル等ノ事アルヘカラス若シ夫レ本隊ノ一部ニテモ前衛ヲ救援スルカ如キコトアラハ夫レ丈ケ指揮官ノ計畫ヲ牽束ス前衛ノ砲兵ヲ陣地ニ着カシムルニ於テハ之カ爲メ指揮官ノ意圖ノ自由ヲ妨ケサルヲ要ス故ニ前衛砲兵ヲ陣地ニ着カシムルニハ之ニ依リテ敵ヲ制シ彼ヲ不利ノ状態ニ陥ラシメ以テ前衛ノ動作ヲ容易ナラシメ且ツ指揮官ノ計畫ヲ妨ケサルニ注意スヘシ然レトモ甚タシク其使用ヲ制限スルトキハ前衛ニ砲兵ヲ附セサルト何等ノ撰フ處ナキニ至ル

四、前衛ノ諸隊ハ敵ニ衝突セハ直ニ停止スルモ本隊ノ各隊ハ決シテ停止スヘキモノニ非ラス又之ヲ止メントスル如キハ遭遇戦ノ指揮其當ヲ得サルモノトス即チ停止セシ

メタル丈ケ先制ノ利ヲ敵ニ讓ルニ至ルベシ故ニ本隊ハ寧ロ駈歩ヲ以テ展開ノ爲メ分進セシムル如ク指導セサルヘカラス遭遇戦ニ於テ開進ヲ行フヲ原則トセル所以モ亦迅速ナル展開ヲ要スルニアルヘシ

五、最後ノ戰闘實行ノ爲メ攻撃準備ノ姿勢ヲ整フルコトハ展開ヲ急速ニ施行シタル各部隊ヲシテ同時ニ齊一ニ戰闘セシムル爲メ極メテ緊要ナリ故ニ展開スル部隊ヲシテ一旦攻撃準備陣地ニ着カシムルヲ要ス其位置ハ彼我ノ展開進捗ノ程度ヲ考ヘ我前衛ノ占領セル線ト同線若クハ其前後ニ於テ定ムルモノトス此線ハ前方ニ出ス丈敵ヲ制スルヲ得ヘキモ我展開ノ完了ヲ遅クシ反テ敵ノ充分展開シタル兵力ヨリ乗セラル、ニ至ル又餘リ後方ニ其線ヲ撰定スルトキハ前衛ヲ孤立セシメ且ツ爾後ノ攻撃ノ距離カ遠大ニシテ敵ニ自由行動ヲ取ラシムル時間ト距離トヲ大ナラシムル不利アリ故ニ普通ノ狀況ニアリテハ前衛ノ所在地ノ近傍ヲ適當トスルカ如シ然ルニ敵ノ展開我ニ先チタル狀況ニアリテハ前衛ノ後方ニ展開シ前衛ヲシテ退カシムルヲ適當トスルコトアルヘシ

六、指揮官ノ命令ニ基キ各隊ハ捷路ヲ經テ迅速ノ運動ヲ以テ示サレタル地點ニ展開ヲ終リ攻撃前進ノ命令ヲ待ツモノトス砲兵ハ多時ヲ要シテ理想ノ陣地ヲ求ムルヨリモ最モ迅速ニ放列ヲ布置シ得ヘキ陣地ヲ撰定シ尙運動及試射ノ迅速ヲ以テ機先ヲ制スルモノトス

七、展開ニ當テ總豫備隊ハ初メ比較的大ナルヲ要ス之レ此戰闘ニ於テハ不時ノ事變比較的多キニヨル

之ヲ要スルニ指揮官ノ決心及各隊ノ運動ノ迅速ハ勝利ノ必要條件ニシテ兵力ノ優劣ハ深ク論スルニ足ラス何トナレハ假令優勢ノ敵ニ對スルモ我運動ノ迅速ヲ以テ彼ノ優勢ヲ利用シ得サルニ先チ反テ我優勢ヲ以テ彼ヲ擊破シ得レハナリ故ニ遭遇戦ノ眞味ハ敵ニ先チ展開ヲ完了スルニアリト云フヲ得ヘシ而シテ敵ヲシテ止ヲ得ス防禦ニ立タシムル如ク先制ヲ占ムル要訣ノ重心ハ指揮官適時ノ決心ニ歸スヘシ軍隊各個ノ速度ノ如キハ彼我相同シク僅ニ先制ノ一部ヲ爲スノミ

第三章 諸種ノ手段ヲ盡シテ堅固ニ構成セル陣地ノ攻撃

諸種ノ手段ヲ盡シテ構成セル堅固ナル陣地ハ通常設堡陣地ト稱ス設堡陣地ノ攻撃ニ於ケル攻撃前ノ諸偵察攻撃計畫等ハ普通ノ攻撃計畫ト粗密ノ點ニ於テハ若干ノ差アリト雖モ其要領ハ異ナル所ナシ戰闘實行ヲ爲スニ當リ敵陣地ニ接近スル方法ト突撃ノ方法トハ其主ナル部分ナリ今其要領ニ就テ述ベントス

第一節 敵陣地ニ接近スル方法

敵陣地ニ接近スルニハ先ツ敵ノ前進部隊ヲ其本陣地内ニ壓迫シ步兵ノ掩護下ニ於テ野砲及重砲ヲ適當ノ陣地ニ就カシメ其掩護ニ依テ攻撃步兵ハ敵陣地ニ向テ前進ス其要領概ネ次ノ如シ

- 一、敵砲兵ヲ制壓シ得ルトキハ晝間ニ於テ敵ノ步兵ノ有効地帯迄達スルコトヲ得ヘシト雖モ敵ノ砲兵尙勇猛ニ對戦スルニ於テハ夜暗ヲ利用シ或ハ總テノ地區地物ヲ利用シテ可成敵陣地ニ接近シ此處ニ普通ノ攻撃法ニ於ケル所謂攻撃準備陣地ヲ占領ス而シテ其位置ニハ通常防禦工事ヲ構築シ爾後ノ立脚點トナス
- 二、爾後ノ前進ニ於テモ我砲兵力優勢ナルトキハ其援助ニ依テ大距離ノ前進ヲ企ツルヲ得ヘキモ然ラサルトキハ夜暗ヲ利用シテ爾後ノ立脚點ヲ更ニ其前方ニ作爲ス之カ爲ニハ日没後敵ノ目視ヲ避ケ得ルニ從ツテ極メテ稀薄ノ散兵線ヲ逐次ニ前方ニ推進ス而シテ敵陣地ト初メノ立脚點トノ略中央位ニ於テ新ニ占ムヘキ基點ヲ占領ス此占領ニツ、イテ攻撃ニ充テタル部隊ヲ基線上ニ配布シ茲ニ散兵壕ヲ構築ス此散兵壕ハ拂曉迄ニ完了スルヲ要シ尙爲シ得レハ後方連絡線ノ一部モ同夜暗ニ堀開シ得ルトキハ更ニ良好ノ景況ナリトス而シテ翌日晝間ニ於テハ敵ニ蔭蔽シツ、後方ノ連絡線ヲ完成ス
- 三、翌日没ニ至レハ前夜ノ要領ニ基キ更ニ彼我ノ中央ニ步兵陣地ヲ進メ晝間又交通

路ヲ作ル所ノ如ク逐次陣地ヲ構成シ立脚點ヲ占領シツ、突撃距離ニ接近ス

四、突撃ヲ準備スヘキ最後ノ

歩兵陣地ハ敵

ニ接近シ得ル

丈突撃ヲ容易

ニシテ且ツ奏

功ヲ確實ナラ

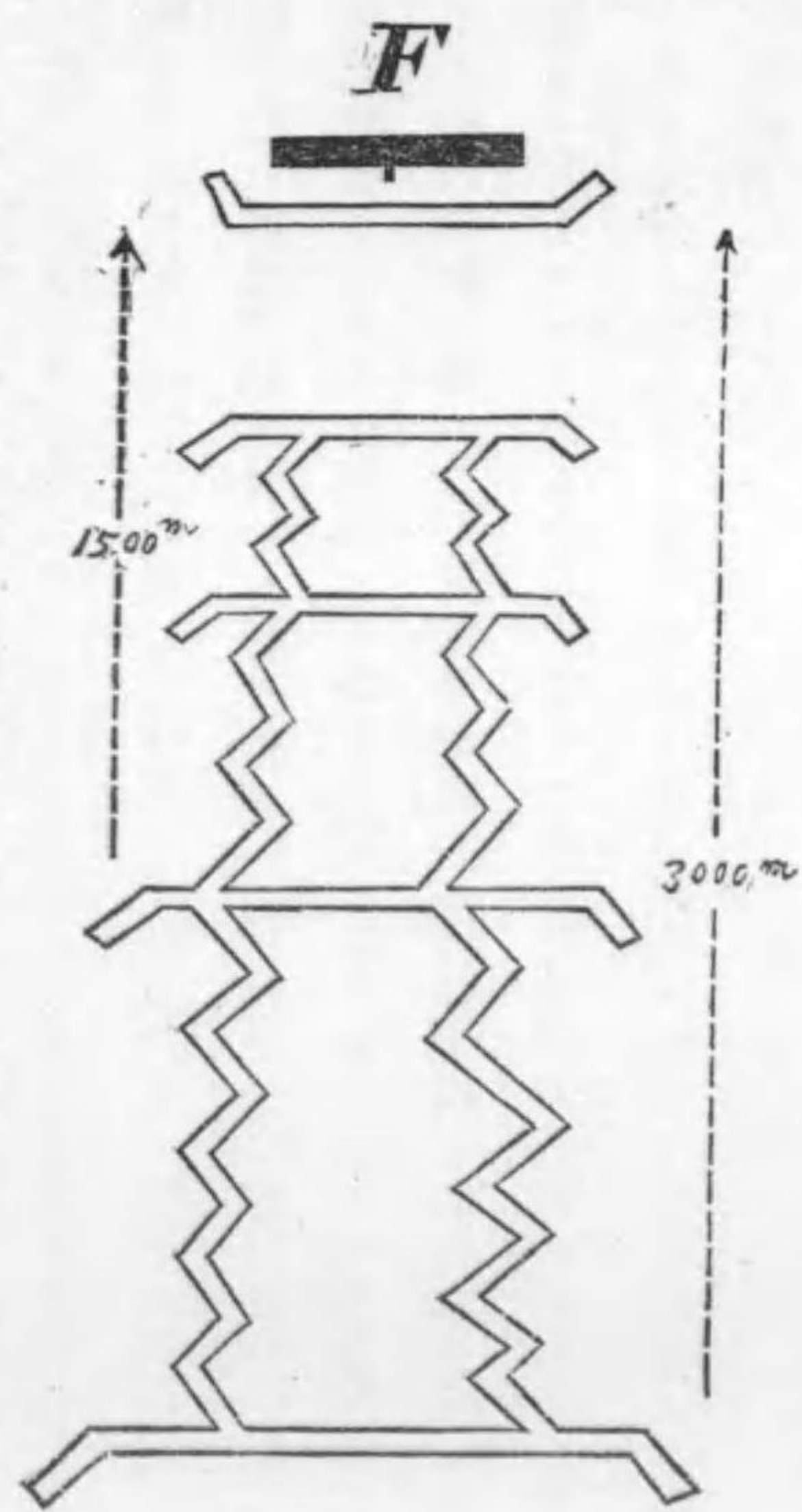
シム故ニ砲兵

ノ効力充分ナラスシテ突撃ニ於ケル敵壘ノ破墻孔カ希望ヲ充ス能ハサルトキハ突

撃陣地ハ敵壘ノ外岸ニ接シテ構成スルコトアリ然レトモ普通ノ狀況ニアリテハ百

米突乃至百五十米突ニ達セハ己ニ充分接近シタルモノト云フヘシ

五、毎回構築スル歩兵陣地一般ノ經始ハ野戰築城ノ要領ト異ナラス而シテ敵陣地ニ



接近スルニ從ヒ側射斜射ヲ受クルヲ以テ自然横墻ノ如キ設備ヲ多ク用ユルコト又
前面ニ對シテハ銃眼ノ設備掩蔽部ノ構築等ヲ必要ナリトス

六、後方ノ連絡ハ凸稜ヨリモ凹線ニ設ケ縦方面ニ對スルノ敵目視ヲ避ケ且ツ凹地谷

地ニアル地隙等ヲ利用シ以テ土工作業ヲ輕減シ而モ安全ヲ得ルニ便ナラシムルヲ

要ス其一般ノ經始ハ通常電光形ト爲シ或ハ横墻若クハ帽墻ノ如キ設備ニヨリ各方

面ニ對シ通行ノ安全ヲ完フセサルヘカラス

以上ノ如キ逐次前進ハ大ニ時間ヲ要ス然レトモ敵壘堅固ニシテ而モ我砲兵火ノ優勢
ヲ得難ク爲ニ守者ヲ其防禦物ヨリ露出スルコト困難ナルトキハ同時ニ我歩兵火ノ優勢
ヲ占ムルモノトモ亦決シテ容易ナラズ然ルニキハ自然逐次ニ攻撃陣地ヲ作り地部ノ占領
ヲ務メ漸次敵陣ニ接近スル方法ニ依ラサルヘカラス而シテ其新ニ占領スヘキ歩兵陣地
ヲ略彼我ノ中央ニ定ムルモノハ此新陣地ト後方陣地トノ連絡ヲ確實ニシ不時ノ事變ニ
際シテモ應急ノ備ヲ欠サルカ爲ナリ此顧慮ハ敵陣地ニ接近スルニ從ヒ益々必要ナリ何
トナレハ守者ハ攻者ノ近接動作ヲ妨害スル爲メ屢々小出撃ヲ企ツルモノトナリヘク若シ

之カ爲ニ新陣地ヲ奪取セラル、ニ至レハ其奪還ノ爲ニ通常多クノ時間ト損傷トヲ以テセサルヘカラス然ルトキハ雷ニ急カントシテ反テ遅ル、ノミナラス攻撃ノ鋭鋒ヲ鈍ラスノ恐アリ

第二節 突撃方法

突撃ヲ準備サルヘキ敵壘ハ通常障碍物ニ依テ隔絶セラル、カ故ニ突撃ニ先チ障碍物ノ通過法ヲ講セサルヘカラス而シテ障碍物ノ除去ハ専ラ工兵之ニ任スルモ工兵ハ只指揮官ノ指示セル地點ニ於テ所望ノ幅員ト員數トノ通路ノ開設作業ニ任スルモノニシテ工兵ハ指揮官ニ使用セラレ指揮官ハ工兵ヲ使用シテ自ラ突撃路ヲ作ルモノナルコトヲ誤ラサルヲ要ス

除去作業ヲ行ハシムヘキ位置ハ元ヨリ戦術上ノ要旨ニ基クヘキモ同時ニ又作業上ノ便宜ヲモ願慮スルコトハ頗ル重要ナルヲ以テ能ク之等ノ關係ヲ熟慮シ其位置ヲ決定セサルヘカラス作業上ノ便宜ニ就テハ我砲彈ノ爲ニ若干破壊セラレアルカ或ハ攻道堅固ナラサルカ或ハ近接容易ナル地ヲ可トス通路ハナルヘク廣ク且ツ多數ナルヲ可トスルモ

障碍物除去

廣クシテ其數ノ少キヨリモ寧ろ廣カラサルモ數ノ多キヲ有利ナリトス

障碍物ノ除去ト通過トハ相關連シアリ而シテ又敵狀並ニ障碍物ノ種類及強度ニモ關係スルヲ以テ一定ノ方法ヲ以テ示シ難キモ大體ノ要領ハ概ネ次ノ如クナラサルヘカラス

- 一、簡易ナル障碍物ハ多クハ強行通過ヲナシ得ヘシ此時ニ當リ散兵ハ一意自己ノ正面ニ向ヒ邁進シ速ニ之ヲ通過シ敵陣地ニ突入ス此際後續部隊ノ前進ヲ容易ナラシムル爲メ散兵線ノ後方ニ歩工兵ノ作業班ヲ前進セシメテ障害物ヲ除去スルヲ可トスルコトアリ

- 二、障害物ノ強度稍々大ナルモ我火力敵ヲ制壓シ得ハ晝間之ヲ除去シツ、突撃ヲ實施シ得ル事アリ此除去作業班ハ散兵線ノ後方ニ接シテ前進シ遂ニ散兵ト同時ニ障碍物ニ達シ散兵ノ猛烈ナル射撃掩護ノ下ニ専心作業ニ従事シ速ニ通路ヲ設クルモノナリ
- 三、障碍物ノ強度大ニシテ散兵強頑ナル場合ニアリテハ突撃實施前ニ作業ヲ完了セサルヘカラス此作業ハ主トシテ工兵ニ任スル所ニシテ濃霧又ハ夜暗等ヲ利用シ或ハ陽動ヲ以テ敵ヲ欺騙シ以テ敵ノ不意ニ乘シ我火力ニヨリ敵ヲ制壓シタル時等ヲ利用シ

之ヲ實施スルモノナリ

四、豫メ除去作業ヲ完了シタル場合ニアリテモ尙突撃ニ工兵ノ小部隊ヲ附スルコト必要ナリ此工兵ハ突撃ニ先シテ邁進シ尙未タ除去シ能ハサリシ障碍物或ハ除去作業ノ充分ナラサル部分若クハ敵ノ補修シタルモノヲ排除シ突撃隊ノ前進ヲ容易ナラシムルモノナリ

障碍物破壊

障碍物破壊ノ最モ適當ナル方法ハ爆破ナリトス

障碍物ノ除去作業ト同時ニ突撃ノ爲メ準備スヘキハ突撃間ニ受クヘキ敵ノ側防機關ノ破壊ナリ之カ爲ニハ適當ナル地點ニ進メタル砲兵ヲ以テスルヲ可トス野砲兵操典草案第四十九ニ機關銃ノ破壊若クハ掩蔽物ニ據ルヲ驅逐スル等ノ目的ヲ以テ若干門ノ砲ヲ散兵線附近ニ進マシムルヲ要ストアルハ斯クノ如キ任務ニ備ヘンカ爲ナルヘシ突撃ニ關スル諸準備即チ障碍物ノ通過法及側防機關ノ破壊ヲ終レハ突撃ハ晝夜ヲ論セス實施スルヲ得ヘシ

夜間突撃

夜間突撃

ヲ滅シ得ルニアリ然レトモ突撃陣地ヲ占領スル如ク攻者ノ接近シタル場合ニ於テハ全然敵ノ集中火ヲ免ル、コト能ハス殊ニ突撃正面ノ猛火ハ恐ラクハ避ケ得ラレサルヘシ加之尙此突撃ハ障碍物通過ノ關係ヨリ少數ノ突撃縱隊ヲ逐次ニ進ムルニ至ルヘキヲ以テ交戦ノ指揮困難ナル敵陣ニ到着シタル當初ニ於テ敵ノ反撃ヲ繰返サル、コト多シ此際後方ヨリ火力及部隊ヲ以テ援助スルハ頗ル困難ナリ故ニ一般ノ狀況ニ於テ夜襲ヲ要求セラル、カ或ハ晝間攻撃ニ於テ我砲火ヲ以テ敵ノ制壓スルニ足ラサル時等ニ限リ夜間ノ攻撃ヲ行フヲ可トス而シテ其原因ノ何レニアルニ拘ラス夜間ノ突撃ニ任スル部隊ハ最モ精練ニシテ爲シ得レハ堡壘突撃ノ經驗ヲ有スル勇敢者ヲ撰用スルヲ可トス然レトモ其編成ハ固有ノ編成ヲ破ラサルコトニ特ニ注意セサルヘカラス

我砲火ヲ以テ制壓シ得ル胸算アル時ハ突撃ハ晝間施行スルヲ可トス殊ニ數度ノ難戰ヲ經軍隊ノ素質低下シタルトキハ特別ノ狀況ニ迫ラサル限リ晝間ヲ撰用スルヲ可トス此突撃ニ於テモ亦夜間ニ於テ諸般ノ準備ヲ完了シ天明ト共ニ猛烈ナル火戰ヲ開キ其爆煙ヲ潜リテ突撃スルモノトス

突撃縦隊ノ編成ハ開設セル破塙孔ノ數及其開口ノ幅ニ從テ適當ニ之ヲ定メ尙各縦隊ノ大サハ障礙物ヲ通過シタル後ニ於テ占領スル地幅ニ適合スルヲ要ス過多ノ兵力ヲ用ユルモ多クハ敵火ノ害ヲ大ニシ各個ノ運動ヲ妨害スルニ至ルヘシ而シテ各縦隊ニハ敵陣ニ突入シタル場合ニ於ケル任務即チ向フヘキ方向爲スヘキ工事等ヲ豫メ指示シ各縦隊内ニアリテハ手投彈投擲者障礙物除去者等必要ナル專任者ヲ豫定シ置クコト必要ナリ各突撃縦隊ハ障害物通過後ハ互ニ相接近シ協同シテ敵陣ニ突入シ爲シ得レハ一舉ニ堡壘ノ咽喉部ニ到着スルヲ要ス而シテ咽喉部ヲ越テ前進スルコトハ通常此ニ立脚點ヲ堅固ニ編成シタル後ナリトス若シ一舉ニ咽喉部ニ達シ得サル時ハ其達シタル地點ニ立脚ノ據點ヲ構成シ敵ノ逆襲ニ對シ一旦占領シタル地點ヲ失フコトアルヘカラス

突撃隊ノ前進ヲ始ムルヤ我砲兵ノ主力ハ咽喉部ニ射彈ヲ集中シ敵ノ増援及堡壘ヨリ退却スルモノヲ殲滅スルヲ要ス之ト同時ニ其一部ハ堡壘ニ進入シタル友軍ヲ猛射スル敵砲兵ヲ充分ニ制壓スルコトニ勉メサルヘカラス旅順攻撃ノ末期ニ於ケル突撃隊長ノ砲撃ニ關スル希望ハ突撃前ノ準備砲火ニアラスシテ敵壘ニ達シタル時ニ於ケル各方面ヨ

リ集射スル敵砲ノ兵制壓ニアリシナリ又敵壘ニ達スル迄ハ突撃準備ノ陣地ヲ前方ニ設クルトキハ各方面ノ敵砲カ其射撃準備ヲ終ラサルニ先チ敵壘ニ達シ得ルヲ以テ其被害ハ全ク大ナラサルモ敵壘ニ到着シ此處ニ據點ヲ編成スル間ハ敵砲ハ全力ヲ盡シテ其砲撃ヲ加フルヲ以テ突撃隊カ數多ノ損傷ヲ蒙ルハ全ク此時期ニアリトス

突撃隊ニ隨伴シテ機關銃ヲ奪取セル敵壘内撃速カニ配備スルトキハ其位置ノ確保及爾後ノ進捗ニ多大ノ効果ヲ呈スルモノニシテ此必要ハ通常攻撃ノ場合ヨリモ更ニ其度ヲ加フルモノナリ

第四章 決戦ト持久戦ノ區別

決戦ト稱スルモ持久戦ト云フモ皆之其戦闘ノ目的ヨリ區分セラレタル名稱ニシテ戦闘ノ目的ハ之ヲ大別シ二種トスル事ヲ得ヘシ即チ一ハ敵ヲ殲滅スヘキ一般ノ目的ニシテ他ハ偵察掩護警戒又ハ陽攻等ノ特別任務ヲ果ス所ノ特別目的ナリ其一般目的ヲ達スル爲メニ力ヲ加ヘテ交戦スルモノヲ決戦ト稱ス多クハ主力ノ衝突ニシテ又同時ニ本戦ナリ又持久戦ヲ爲ス所ノ部隊ト雖モ場合ニヨリ決戦ヲ行フコトアリ是レ其任務ヲ達成セントスルニ當リ若シ敵カ極力妨害スルトキハ終ニ我ハ任務ノ遂行上勝敗ヲ賭シテモ決戦ヲ行ハサルヘカラス併シ此時ニ於ケル決戦ハ其隊固有ノ目的ニアラスシテ任務ヲ遂行スルノ手段トシテ止ムヲ得ス行フモノナリ然レトモ決戦セント決シタル時ハ其隊長ノ決心ハ一般ノ決戦ヲ行フ時ト毫モ差違ナシ即チ勝敗ヲ賭シテ行フモノニシテ敵ヲ殲滅スルカ或ハ敵ニ撃退セラル、カハ夫ハ期スヘカラサルモ兎ニ角此處ニ結末ヲツケサルヘカラス而シテ敵ヲ殲滅スルコトヲ得ハ元ヨリ特別目的ト一般目的トヲ同時ニ果シ

得ラルヘシ然レトモ一旦此戦闘カ結了セシ後尙極度ニ追撃スルカ或ハ其儘戦闘ヲ中止スルカニ依テ區分セラル、ナリ決戦セントスルモノハ何處迄モ追撃スルモ持久戦ヲ爲サントスルモノハ其特別任務ニ依テ決セサルヘカラス而シテ持久戦ヲ爲ス隊カ戦勝ノ後追撃ヲ止ムルノハ自己ノ有スル特別任務ヲ主トスルカ故ナリ故ニ決戦ハ持久戦ニ任スル部隊カ行フコトナシト斷言スル能ハス又人ニ依リテハ決戦ヲ區別スルニ戦略上ノ決戦ト戦術上ノ決戦ト云フモノアリ其戦略上ノ決戦トハ一般目的ノ爲メニ行フ決戦ニシテ戦術上ノ決戦トハ持久戦ヲ行フモノカ其任務遂行上ノ手段トシテ行フ處ノ決戦ヲ稱スルナリ

決戦ハ敵ヲ殲滅スルカ目的ナリ故ニ其動作ハ自然攻撃ニアラサルヘカラス假令防禦ヲ爲ス場合ニ於テモ必ス攻撃ニ轉セサルヘカラス
持久戦トハ戦闘特別ノ目的ヲ達セントスル所謂屬戰ニシテ決戦ヲ除キタル他ノ總テノ戦闘ヲ總稱ス多クハ本軍ヨリ差遣セラル、特別任務ヲ有スル支隊ノ戦闘即チ支戰ニ屬スルモノニシテ奉天戰ニ於ケル鴨綠江軍ノ動作ハ一ノ持久戦ト稱スルヲ得ヘシ

持久戦ハ決戦ノ如ク單純ノモノニ非ラス其受クル所ノ任務ニ依リ其趣ヲ異ニス即チ任務ニ依リテ或ハ戦ヲ挑ムコトアリ避クルコトアリ又防戦スルコトアリ攻戦スルコトアリ又ハ單ニ時間ノ余裕ヲ得ントスルコトモアリ而シテ何レノ方法ヲ取ルカハ全ク任務ト敵狀トニ基ツク故ニ持久戦ニ任シタル鴨綠江軍ノ如ク又得利寺ニ出テ來リシ露軍ノ如ク自己ノ任務ヲ遂行セン爲ニハ敵力之ヲ妨クルトキハ決戦ヲ行フハ當然ナリ只其決戦ハ最後ノ目的ニハ非スシテ途中ノ手段ナリ其戰鬪ノ程度ハ本戦ノ決戦トハ毫モ異ナラサルモ途中ニテ決戦セサルヘカラサルニ至リシノミニシテ只任務遂行中ノ一時ノ現象ナリ我任務ト敵ノ衝突ヨリ來ル余儀ナキ動作ナリ故ニ此支隊ハ決戦スルコトアルモ全体ヨリ云フ時ハ一種ノ持久戦ナリ又前衛後衛掩護隊ノ如ク只單ニ時間ノ余裕ヲ得ル爲メノ持久戦アリ此際ニ於テ敵力激シク攻撃シ來リ我任務交戦ヲ要スルトキハ敵ハ愈決戦的ニ前進シ而シテ我モ亦任務上其決戦ヲ避クル能ハサルニ至ルナリ而シテ起ル所ノ決戦ハ元ヨリ根本ノ目的ニアラス任務ノ遂行上已ムヲ得サル手段ナリ故ニ持久戦ニ任セラレタル部隊カ決戦ヲ行ハサルヘカラサル場合屢々アリ然レトモ決戦ヲ避ケテ任

務ヲ果スコトヲ得ハ元ヨリ其策ニ出テサルヘカラス

持久戦モ亦戰略上ノ持久戦ト戰術上ノ持久戦ニ區別シテ研究スルヲ便トスルコトアリ只單ニ時間ノ余裕ヲ得ントスルモノヲ稱シテ戰術上ノ持久戦ト稱シ其他ノ持久戦ヲ稱シテ戰略上ノ持久戦ト稱スルカ如シ

持久戦ノ方法ハ任務ト敵狀トニ依リ攻撃スルコトモ防禦スルコトモアリテ一定スル能ハス何レノ場合ニテモ決戦ヲ行フコトハ他ニ手段ノ存スル限りハ避ケサルヘカラス併シナカラ有利ノ形勢ニ於テ之ニ乗スルコトヲ得テ敵ヲ殲滅スルコトヲ得ハ任務ノ妨ケナキ限り之ニ乗セサルヘカラス

第一節 決戦ノ要領

決戦ヲ行フニハ可成多クノ兵力ヲ用ユルコト必要ニシテ兵力ノ多キカ爲メニ困難ヲ感スルカ如キコトナシ故ニ決戦セントセハ豫メ其地點ト時刻トヲ正シク撰定シ且ツ軍隊ノ能力ニ應シテ之ヲ集中スルニ要スル時間ト距離ヲ確算シテ誤ラサルヲ要ス而シテ其

時間ト地點トヲ決定スル爲ニハ搜索勤務ト牒報勤務トニ依ラサルヘカラサルモ時トシテハ又不意ノ衝突アルヲ以テ下級指揮官ノ詭智ト決斷トヲ以テ互ニ相應援シ以テ敵ニ優ルノ兵力ヲ集中スルコト必要ナリ斯ノ如ク分離シタル兵力ヲ集中スルコトハ困難ナルモノニシテ又集中シタル軍隊ヲ悉ク之ヲ決戦ニ用ユルニモ及ハサルナリ乃チ決戦ニ用ヒサル部分ニ於テハ可成兵力ヲ減少シテ決戦スヘキ方面ニ兵力ヲ集メサルヘカラス然ルトキハ例令全體ノ兵力ハ敵ニ劣ル時ト雖モ攻撃正面ニ於ケル優勢ヲ以テ敵ヲ突破スルコトヲ得ヘシ而シテ軍隊ノ堅確ヲ失ヒ志氣ヲ沮喪スルハ其比隣ニ交戦スル部隊ノ退却スル時ニ於テ最モ甚シ是レ其比隣部隊ノ一部破ルルトキハ我ハ正面及側面ニ於テ猛烈ナル敵ノ攻撃ヲ蒙ラサルヘカラサルニ至ルヘキヲ以テナリ故ニ大兵團ノ會戦ニ於テハ展開ハ敵ノ全部ヲ撃退スルコトハ必スシモ必要ナラス蓋シ其ノ線ノ一部ヲ突破セハ從テ全線壓倒セラルヘケレハナリ此ノ戰鬪持續ニ必要ナル條件ハ軍隊ノ精良ニシテ損傷少ナク指揮優越ニシテ配備上ヨリ節約セシ援隊豫備隊ヲ適宜ニ使用スルコトニアリ

第二節 持久戦ノ要領

持久戦ハ敵カ希望ヲ棄ツルカ或ハ我策按ニ從ハサル間ハ未タ目的ヲ達セサルナリ而シテ或ハ敵ニ決戦ヲ促スコトアリ或ハ自ラ決戦ヲ求ムルコトアリ或ハ一定ノ時間優勢ノ敵ヲ一地ヨリ離隔シ若シクハ之ヲ一地ニ繋留スルコトアリ或ハ單ニ敵ヲ支エントスルコトモアラン又機ヲ逸セス巧ミニ戰鬪ヲ中止シテ速カニ戰場ヨリ離脱スルヲ要スルコトモアラン故ニ持久戦ノ爲ニハ一定ノ方式ヲ定ムル能ハサルナリ要ハ敵狀ト地形トヲ判斷シ自己ノ任務ヲ果ス爲ニ百般ノ手段ヲ盡スコトニアリ

持久戦ニ用ユル兵力編組ハ敵ノ兵力ト我部隊ノ動作ニ對シ敵カ如何ナル程度ニ力ヲ用ユルカノ判斷並ニ地形ノ關係ヲ顧慮シ任務ヲ果シ得ル如ク之ヲ定メサルヘカラス而シテ多クノ場合ニ於テハ騎兵砲兵ノ少數ナラサルコトヲ必要トス又戰鬪ニ際シ歩兵ヲ參與セシムルハ眞面目ニ勝敗ヲ争フ時地形他兵ノ使用ニ便ナラサル時等ニシテ可成多ク用ヒサルヲ有利トス又豫備隊ハ可成長ク之ヲ保存スルコト必要ナリ(持久戦ハ任務カ

永ク繼續スルカ故ニ豫備隊ノ全部ヲ過早ニ使用シ盡ストキハ爾後任務ヲ果シ能ハサルヘシ）機關銃ハ殊ニ此戰鬪ニ於テ其必要ヲ見ルコト多シ

持久戦ニ任スル爲ニ決戦ニ必要ナル兵力ヲ分割スルコトハ避ケサルヘカラス同時ニ又持久戦ヲ爲スニ當リ決戦ニ任スル部隊ノ増援ヲ要スルカ如キコトハ絶對ニ之ヲ避ケサルヘカラス又本軍トシテハ其増援ノ要求アルモ之ヲ増援スヘキモノニ非ス故ニ持久戦ニ任スル部隊ハ飽迄モ其獨立ヲ以テ任務ノ遂行ヲ圖ルハ勿論我動作ノ爲ニ或ル意外ナル敵ノ出動ニ依リ猛烈ナル敵ノ本攻ヲ受クルニ當リ我又之ニ抵抗スルコトハ之ヲ以テ目的ヲ達シ得ル場合ニハ例令殲滅ニ陷ユルモ可ナリ支隊ハ全滅ニ陷ユルモ爲ニ本軍ノ決戦ヲ有利ナラシメ得シナラハ完全ニ任務ヲ盡シ得タルモノト云ヒ得ヘシ

持久戦ハ方ノ爭ヒト云フヨリモ術ノ爭ナリ故ニ地形ノ利用ヲ必要トスル戰鬪ナリ地形ヲ巧ミニ利用スルコトニ依テ多クハ其目的ヲ達シ得ルナリ若シ平坦開闊地ニ於テ陽攻若シクハ戰鬪ヲ持續セントスルモノハ直ニ我兵力及目的ヲ看破シ爾後ノ動作ヲ困難ナラシムルニ至ルナラン

第五章 攻勢ト守勢

第一節 攻勢守勢ト攻撃防禦ノ區別

攻撃防禦ニハ戰略上ト戰術上トノ區別アリ而シテ通常戰略ニ屬スルモノヲ攻勢守勢（攻勢作戰守勢作戰）ト云ヒ戰術ニ屬スルモノヲ攻撃防禦（戰鬪ノ形式）ト稱ス斯ノ如ク極大ト極少トニ於ケル區分ハ明瞭ナルモ其相接近スル地點ニ於テハ兩者ノ區別判然分割シ難キコトアリ即チ戰略上ノ攻勢ハ其勝敗ノ決ヲ戰術上ノ攻撃ニ求ムルカ故ニ交戦ノ時期ヲ適當ト定メ其目的ヲ達スルニ必要ナル兵力ヲ適當ノ時期ニ適當ノ地點ニ集合スル等戰術上ノ結果ヲ左右スル戰略上ノ業務ハ戰術上ノ攻撃動作ト密接シ其限界ハ明瞭ニ定メ難シ然レトモ大體ヨリ之ヲ云フトキハ攻撃防禦ハ現ニ交戦スル方式ニシテ戰鬪ノ動作ナリ攻勢守勢ハ戰鬪動作ヲ除キ其他戰爭ノ全體ニ亘リ間斷ナク作用スル戰略上ノ形式諸動作ト見ルヲ得ヘシ尙交戦ニ關スル戰略戰術ノ目的ヲ示シ之ヲ區別スルノ

戰略ノ目的ハ戰鬪ヲ準備シ又之ヲ利用スルニ在リ戰術ノ目的ハ戰勝ヲ得ルニ在リ戰略上ノ準備愈完全ナレハ戰術上ノ成果モ亦愈確實ナルヘク又ハ戰略ハ戰勝後ノ計畫ニ於テ愈良ク戰勝後ノ事物ヲ利用スレハ戰術ノ結果モ亦愈大ナルヘシ此戰略ト戰術ノ目的上ノ區別ハ自然又攻勢守勢ト攻撃防禦ノ大體ノ區別ヲモ明瞭ナラシムルモノトス防禦陣地ニ於テ守勢地區(地帶)攻勢地區ト稱シ防禦ヨリ攻撃ニ轉スルヲ攻勢移轉ト稱スルハ一般ニ行ハルルカ如シ其守勢地區ト稱スルモノハ土地其モノヲ據點トシ其モノノ助ニ依テ交戦シ戰鬪ヲ有利ニ導カントスル考案ヨリ出テタル名稱ナリ等シク土地ヲ利用スルモ其目的カ我兵力ノ集結ヲ得ル迄時間ヲ得ントスル考案ヨリ出ル時ハ其利用ノ精神カ時間ヲ主トシ地形ノ價值ヲ從トスルヲ以テ地形ハ只不利ナラサレハ可ナリ必スシモ其助ニ依テ勝利ヲ得ルヲ要セス故ニ守勢地區ト云フ守勢ノ意義モ一般ノ守勢ノ意義ト同シク其土地ノ助ニ依テ優勢ナル敵ニ對シ戰術上ノ成果ヲ收メントスル精神ニ基クナリ

防禦ヨリ攻撃ニ轉スル動作ヲ攻勢移轉(攻撃移轉)ト稱スルハ只單ニ攻撃スルノミナラス其成果ニ乗シテ飽ク迄モ追撃ヲ行ヒ戰鬪一般ノ目的ヲ達セントスル意思ヲ有スルコトヲ意味スルモノナリ日露戰役ニ就テ概説スレハ日本軍ハ攻勢ニシテ露軍ハ初メ攻勢ヲ取リシカ戰術上ノ不成功ヨリ自然ニ守勢ヲ取ルニ至リタルモノニシテ而シテ其守勢攻勢間ニ於テ幾多ノ攻撃及防禦アリタルコトヲ知ルヘシ又攻勢戰ニ於テモ各部隊カ常ニ攻撃ヲ爲スモノニ非ラス守勢戰ニ於テモ亦各部隊カ常ニ防禦ヲ爲スモノニ非ラス

第二節 攻勢守勢ノ利害

攻撃ト防禦ト利害アル如ク攻勢ト守勢ニモ亦各利害アリ其攻撃ト防禦利害ハ士官學校教程ニ詳細シシアルヲ以テ之ヲ省略シ攻勢ト守勢トノ利害ノ大要ヲ左ニ述ヘントス

- 一、攻勢ハ殲滅主義ニシテ積極的ナリ守勢ハ保守主義ニシテ消極的ナリ
- 二、攻勢ハ先制ノ諸利益ヲ有ス故ニ攻勢ヲ取ルトキハ敵ヲシテ多クハ守勢ヲ取ルニ至ラシムルモノナリ(敵モ亦攻勢ヲ取ルコトアリ)而シテ攻撃目標決戰ノ時期及地

點ヲ自由ニ撰擇シ尙希望スル兵力ヲ以テ交戦スルコトヲ得守勢ニアリテハ敵ノ動作ニ由テ決スルヲ以テ全ク之ト反ス

三、先制ヲ占ムルモノ即チ攻勢ニ在テハ例令失敗スルモ其計畫ノ實施ヲ推演シ或ハ他ノ方法ヲ以テ其害ヲ避クルコトヲ得守勢ヲ取ルモノハ同一事故ニ遭遇セハ之カ爲ニ危害ヲ免ルルヲ得ス又攻勢ニ在リテハ敵ノ過ニ乘シテ積極的ノ效ヲ收ムルヲ得ルモ守勢ニ在リテハ只之ニ依テ其害ヲ免レ得ルノミ

四、攻勢ハ戰爭ヲ自國內ヨリ敵國內ニ移シ之ニ依テ我人民ノ煩累ヲ除キ且ツ自國ノ資源ヲ節約シ敵國ノ資源ヲ利用スルコトヲ得守勢ニ在リテハ全ク之ニ相反ス

五、速ニ戰爭ニ終局ヲ與ヘ得ルモノハ只攻勢アルノミ守勢ニ在リテハ自働力ヲ欠クヲ以テ只敵ノ爲ス所ニ應スルノミ而シテ敵ノ進入ハ永遠ニ防護スル能ハス

六、攻勢ノ成果ハ指揮官軍隊及國民ノ志氣ヲ發揚シ其氣力ヲ増進ス守勢ニ在テハ之等ノ志氣甚タ微弱ニシテ其軍ハ勝利ニ乘スルノ氣力ニ乏シキコト多シ

七、攻勢ニ於ケル不利ハ前進スルニ從ヒ後方守備等ノ爲ニ大兵ヲ要シ大決戦ニ用フ

ル兵力ヲ減少シ且人馬諸材料ノ補充ニ困難スルニ至ル之カ爲ニ勝利ヲ或ル程度ニ止メサルヘカラサルニ至ルヘシ守勢ニ在リテハ全ク之ニ相反シ總テノ補充ニ便ニシテ全兵力ヲ決戦ニ用ヒ得ヘク尙國民及要塞等ノ直接援助ヲ受クルノ利益ヲ有ス

八、攻勢防禦ニ在リテハ攻勢ノ利ヲ收ムルニ近シ故ニ理論上ニ於テハ巧ミニ此戦法ヲ指導セハ有利ナルカ如キモ攻勢ニ轉スヘキ機ノ到ルコトアルモ運動ノ自由ヲ失ヒ多クハ初志ヲ果シ能ハス之ヲ要スルニ守勢ハ戰爭ノ主宰權ヲ敵ニ與ヘタルモノナリ且ツ守勢ヲ用ヒサレハ最後ノ目的ヲ達スル能ハス故ニ守勢ヲ取ル場合ニ在テモ攻勢ヲ取り得ルニ至レハ必ス攻勢ニ轉セサルヘカラス

前述ヘタル所ニ依レハ攻勢ノ不利ハ只タ第七ノ一項ノミニシテ數ヨリ云フトキハ甚タ少ナキカ如シト雖モ第七項ノ利害ハ有形上非常ニ大ナルモノニシテ而モ其關係スル所又頗ル大ナルコトヲ記憶セサルヘカラス則チ後方ノ守備及要塞ニ夥多ノ兵力ヲ要スルハ戦史ノ證スル所ニシテ何處迄モ攻勢ヲ取り得ルモノニアラス故ニ攻勢ハ何處取ルヘキカヲ定メテ戰爭ヲ開始セサルヘカラサルモノトス

第六章 防禦

第一款

第一節 總則

防禦トハ止テ敵ヲ待チ之ニ抵抗スルコトヲ云フ而シテ防禦ハ戰ヲ求メサルモ避クル能ハサルカ或ハ決戰ヲ爲スニ自己ノ利益ヲ加ヘントスル時等ニ起ルモノナリ防禦ノ目的ハ特別ノ任務ヲ達スルカ或ハ決戰ノ手段トシテ行フカニアリ防禦戰ヲ行フ者ハ自カラ防禦スルノ目的ヲ了解シテ之ニ任セサルヘカラス防者ハ戰鬪激烈ナルニ及ンテハ只其戰鬪ニ意ヲ奪ハレ本來ノ目的ヲ忘却スルコトナシトモ限ラス此ノ目的ヲ忘レタル者ハ勝利ヲ忘レタルモノト同シ防禦セントスル本來ノ目的ハ何レニアルニモセヨ防禦ト決シタル防者ノ直接目的ハ戰鬪ヲ持久スヘキカ決戰スヘキカニ歸ス此目的ニ從テ陣地ノ撰定占領ノ方法及戰鬪上ノ指揮ニ於テ其趣ヲ異ニス之等ニ關スル大要ハ已ニ承知セラ

レアルヲ以テ重複ノ嫌アラシム尙左ニ其概要ヲ述ヘントス

第二節 防禦陣地

防禦陣地ハ戰略戰術上ノ要旨ニ合スルコト必要ナリ之ニ合セサルモノハ如何ニ善良ナルモ其用ヲ爲サス戰略上ノ要旨ヨリ云ヘハ陣地ノ位置一般ノ動作ト有利ノ關係ヲ保チ防禦軍隊カ之ニ據リ以テ若干ノ威力ヲ添ヘラレサルヘカラス又戰術上ノ要旨ヨリ云フ時ハ陣地ノ地勢カ防禦軍隊ニ有形的ノ支援ヲ與ヘ其勢力ヲ増加スルヲ要ス若シ兩者ノ要旨相一致セザルトキハ先ツ戰術上ノ要旨ニ從ハサルヘカラス之レ戰術上ノ成果ヲ得サレハ戰略上ノ要求ヲ充タス能ハサレハナリ是ヲ以テ陣地ハ自然某區域内ニ撰定セサルヘカラサルニ至ル從テ防禦ニ適スル地形ハ悉ク陣地ニ採用セラルヘキモノニ非ス又戰ハント欲スレハ敵ノ到達シ得ルコトヲ要ス尙ホ戰鬪目的及兵力ニ適應スルコトヲ要ス之等總テノ要求ヲ充足スヘキ陣地ハ多クハ得ラルヘキモノニ非ス故ニ其目的ヲ達スルニ比較的便利ナルモノヲ撰定シ爾余ハ之ヲ有利ニ利用スルコトカ緊要ナリ其レ故ニ

實際ニ陣地ヲ選定スルニ望ミテハ戰路上ノ要旨ニ基キ大體ノ關係位置ヲ定メ其範圍内ニ於テ戰術上ノ要旨ヲ充タスニ比較的有利ナル陣地ヲ撰定シ其後目的ヲ達スルニ充分ナル如ク利用ノ方法ヲ講究セサルヘカラス

一般ニ決戰ヲ行ハントスルカ或ハ敵ヲ詭譎セントスル如キ時ハ其陣地ハ堅固ナルヨリモ爾後ノ運動ニ便ナルヲ要ス殊ニ敵カ陣地ニ近ツクニ望ミ直ニ攻撃ニ前進セントスル場合ノ如キハ余リ有利ノ陣地ヲ取ラサルヲ可トス是レ良好ナル陣地ヨリ前進スルハ不良ナル陣地ヲ棄テテ前進スルニ比シ容易ナラサルハ人情ノ常ナリ併シ志氣ノ旺盛、軍紀ノ嚴肅ナル軍ニ在テハ此事ハ餘リ大ナル價值ナシ然レトモ時間ノ餘裕ヲ得ントスル時或ハ優勢ノ敵ヲ一地ニ拒止セントスル時ニ於テハ陣地ノ堅固ナルヲ要ス殊ニ敵コ迂回セシメテ時間ノ餘裕ヲ得ントヲ望ム時ハ特ニ陣地ノ堅固ヲ必要トス何トナレハ戰ハスシテ目的ヲ達シ得レハナリ

第二節 防禦戰闘

防禦ニ關スル部署ハ可成速カニ決定シ敵ノ現出ニ先チ防禦配備ノ完成ヲ期セサルヘカ

砲兵射擊
開始

ラス併シ守兵ヲ陣地ニ配附スルコトハ決シテ過早ナルヘカラス是一旦配附スルトキハ最早之ヲ他ニ使用スルコト困難ナレハナリ又夥多ノ兵員ヲ過早ニ第一線ニ用ユルトキハ之ニ準シテ多クノ損傷ヲ生スルコトハ免ルヘカラス故ニ其配備ハ敵狀ヲ適當ニ看破シ敵ニ後レサルヲ以テ程度トスルヲ要ス

射擊ノ開始ハ通常砲兵ノ任スル所ニシテ多クハ總指揮官ノ命令ニヨル一般ニ持久戰闘ニ於テ可成敵ヲ遠距離ニ支エントスル時ハ我有效射距離ニ達セハ通常開射セシムルモノトス(有效射距離又ハ有效射擊ニ就テ標準ヲ明瞭ニ示シ難シ恰モ天候ノ如ク種々變化スルモノナリ併シ普通ノ場合ニ於テハ $\frac{50}{100}$ ノ命中ヲ以テ標準トスト云ヘリ又有效射距離ハ實際ノ問題ニシテ陣地ノ位置等ニ依テ變化スルモノナリ)

攻勢防禦ニ於テ敵ヲ近距離ニ引寄セテ俄然猛火ヲ集注シ其機ニ乘シ攻勢ニ轉セントスルトキハ可成近距離ニ達スル迄陰匿シ好機ニ乘シ開射スルヲ要ス而シテ敵ノ砲兵ノ進出ニ應シ有利ナル射擊ヲ行フ爲メ砲兵ノ一部ヲ最初ノ砲兵戰ニ參與セシメサルコトアリ此意義ハ砲兵戰術ノ趨勢ニ於テ述ヘタル所ナリ

歩兵ノ射撃開始モ亦其要領ハ砲兵ノ開射ト同シ併シ多クハ指揮官ノ命令ニ基ツクコトナシ一般ニ攻撃時ヨリモ早く開射スルヲ通常トス而シテ此場合ニ於テハ可成稀薄ナル散兵ヲ用ヒ銃ノ不足ハ彈藥ヲ以テ之ヲ補フヲ可トス元來守者唯一ノ戰鬪手段ハ火戰ニシテ其效力ヲ充分ニ發揚スルニハ遠距離ヨリモ近距離ニ於テスルコトヲ以テ有利ナルカ如シト雖モ是レ守者ノ心理上ノ状態ヲ除キタル議論ニシテ既ニ守者ハ攻者ニ志氣ニ於テ一步ヲ譲リ且ツ常ニ不悞ノ念ヲ抱キ實際攻者ノ現出セサル方面ニ於テモ亦疑悞ヲ抱キ是等精神上ノ感動ハ攻者ノ近接スルニ從ヒ益昇上シ全身不安ノ念ニ滿タサレ手足ノ動作ハ意思ノ指導ニ出テツシテ多クハ器械的ニ變スルヲ以テ射撃ノ效力ハ益々敵ノ接近スルニ從ヒ減少スルニ至ル故ニ攻勢防禦ニ在テ是等精神上ノ感動少ク早晚敵ヲ擊破スルノ確信ヲ有スルトキノ外ハ敵ヲ遠距離ニ支沮スルコト必要ナリトス

防禦線ノ全體ハ至ル處攻撃ノ戰況ヲ現サス如何ナル場合ニ於テモ各地區ノ守備隊ハ全ク獨力ヲ以テ戰鬪ヲ持續シ總指揮官ノ命アル迄ハ増援ヲ求メサルハ勿論其位置ヲ確保シ例令敵ノ突入ヲ受クルモ決シテ其位置ヲ失フヘカラス比隣地區ノ守備兵ハ此場合ニ

於テ極力共同敵ヲ拒止スルヲ要ス斯ノ如ク勇敢ニシテ確實ニ地區ノ守備ヲ全フスルコトニ依テ總指揮官ハ指揮ノ自由ヲ保チ自己ノ欲スル如ク戰鬪ヲ指導シ有利ノ結ヲ收ムルヲ得ヘシ若シ地區ノ守備隊其位置ヲ確保シ能サルカ或ハ増援ヲ請求スル如キコトアラハ攻勢防禦ニ在テハ攻勢移轉ノ成功ヲ傷ケ持久防禦ニアリテハ退却ノ困難ヲ増スコトナキニシモアラス故ニ總指揮官トシテハ決シテ地區守備隊ノ請求ニ應スルコトナク如何ナル悲惨ノ戰況ニ陥ルモ之ニ顧慮セス自己ノ豫定ヲ斷乎トシテ實行スルコト極メテ必要ナリ然ルトキハ或ハ一時第一線ノ一部ヲ敵ニ奪ハルコトアルモ小部隊ノ不利ハ爾後ノ大部ノ成功ニ依テ回復スルコトハ容易ナリ然ルニ若シ小部隊ノ爲ニ兵力ヲ分ツ時ハ遂ニ豫定計畫ノ實行ヲ爲シ能サルニ至リ全軍ノ全敗ヲ來タスニ至ルヘシ防禦線ニ於ケル指揮ノ要領ハ蓋シ此ニツニアラン即チ地區ノ守備隊ハ如何ナル場合ニ於テモ其位置ヲ確實ニ保持スルコト及總指揮官ハ決シテ増援ノ請求ニ應スルコトナク豫定計畫ニ基キ戰鬪ヲ指導スルコト是ナリ

持久防禦ニ於テ退却スヘキカ尙戰鬪ヲ持續スヘキカハ元ヨリ自己ノ任務ニ基ツキ尙當